



**第143号**

# Web Fairy Paradise

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第121回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第122回 WFP 作品展
- ・ Fairy of the Forest #63
- ・ 推理将棋第128回出題

結果発表 45

- ・ 第120回 WFP 作品展
- ・ 推理将棋第126回解答
- ・ 東京オリンピック開催? 記念作品展
- ・ 第5回 神無太郎の氾濫 解答編
- ・ カピタン展示室 No.31 解答

読み物

- ・ レトロプロブレム入門(5) by 高坂研
- ・ 臨時① 神無太郎の氾濫 問題編
- ・ FairyTopIX2019 お気に入り投票結果

(改訂:2020/5/24)



**2020/5**

## はじめに

---



### AbemaTV トーナメント

3ヶ月連続でやはりコロナウイルスの話題となってしまいます。今年のゴールデンウィークですが、通常、仕事か四国をうろうろ遊びに行くのですが、今年は仕事は休みで尚且つ全て家にいるという事になりました。家の庭がきれいになったのはよかったです。家にずーっと居るという事は詰将棋の創作や解答がさぞかし進むと思いましたが、そちらはさっぱり。何ででしょう？時間が有り過ぎるといつでも出来ると余裕こいてしまうのでしょうか（笑）忙しいくらいの時のほうがいいのかもかもしれません。

コロナが流行りだして家に居る事が多くなり、楽しみがテレビを見たりネットをしたりということになりましたが、テレビは再放送物が多くなりイマイチという感じになりましたが、ここで救世主が現れました。第3回 AbemaTV トーナメントです。詳細は皆さんもご存知でしょうから省きますが、将棋の団体戦でチーム構成もドラフト制というこれまでのプロ棋界ではありえないものですね。予選トーナメントが始まり、短い持ち時間のフィッシャールールで控室の様子も見られて楽しめる内容になっていますね。

これは本当に面白い。私は生で見た後、もう一度ビデオで見たりしています。やはり企画のおかげでしょうねえ。棋士の人間味が垣間見えるようにしたので成功の要因です。

WFP も面白い企画を考える必要がありますね。何か面白い企画はないでしょうかねえ。

でもとりあえずは、がんばろう！日本！打倒！コロナウイルス！

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第143号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々の HP アドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

#### 占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

# 第121回WFP作品展(再掲)及び 第122回WFP作品展

担当：神無七郎

## ルールの手順前後と不協和音



唐突ですが、サイコロを転がす問題について考えてみましょう。写真のサイコロを●の目を上、■の目を正面にします。それを「前に1回」「右に1回」の順で転がしたとき、「右に1回」「前に1回」の順で転がしたとき、それぞれ上に来る目は何になるのでしょうか？

前者は■、後者は●になります。

個々の操作は同じなのに、操作の順番を入れ替えただけで、結果が変わりました。いわゆる「交換法則」が成り立たない例の一つです。

詰将棋では「手順前後」がこれに相当し、実際に事欠かないわけですが、フェアリーでは詰手順だけではなく、ルールの「手順前後」が問題になることがあります。例として「マキシ」と「強欲」の合成について考えてみましょう。

強欲マキシ または マキシ強欲

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一	
								歩	王	二
								桂		三
								科		四
										五
										六
									香	七
										八
										九

持駒 なし  
(※受方の手番)

「強欲」は駒を取る手を優先するルールであり、「マキシ」は受方が最長距離の着手を選ぶルールです。

まず、「強欲」「マキシ」の順にルールを適用してみましょう。「強欲」で受方の合法手は「22玉」「23玉」の二つ。この二つに「マキシ」を

適用すると「23玉」が生き残ります。

次は「マキシ」「強欲」の順にルールを適用してみます。「マキシ」により受方の合法手は「16桂」のみ。他に選択肢はないので、「強欲」を適用しても、「16桂」が生き残ります。

「強欲」と「マキシ」の適用順で指せる手が変わってしまいました。

「強欲」と「マキシ」には共通した性質があります。どちらも、全合法手から一定の基準で指せる着手を絞り込むルールだということです。筆者はこれを「フィルター系ルール」と呼んでいます。同系統のルールは競合を起こしやすいので、その併用には慎重な考慮が必要です。

以上は、フィルター系ルールを直列に適用する場合の話ですが、本作品展では過去に「同時適用」をしたルールが登場したことがあります。時風瑞季氏の「強欲禁欲協力詰」(WFP60-3)です。

### 【参考】フィルター系ルールの同時適用例

WFP60-3 時風瑞季氏作

強欲禁欲協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
								科	桂	二
										三
										四
								科		五
									香	六
										七
										八
										九

持駒 金2 桂 香

14 香 21 玉 31 金 同玉 43 桂 41 玉

51 金 まで 7手

「強欲禁欲」は「駒を取る手と駒を取らない手がどちらも存在する局面を避ける」というルールです。言い換えれば「強欲」で抽出された合法手の集合と「禁欲」で抽出された合法手の集合の積集合が、「強欲禁欲」の合法手の集合となるわけですが(ただしこれは「詰」の判定には適用されません)。協力詰なので「詰」の状態以外で合法手の集合が空集合になると失敗です。

ルールの合成に合法手の積集合を使う事例があるなら、和集合を使う流儀があってもおか

しくありません。最初の例図だと「強欲」の合法手が{22 玉、23 玉}、「マキシ」の合法手が{16 桂}なので、「強欲+マキシ」の合法手は{22 玉、23 玉、16 桂}となります。

これはフィルター系ルールの並列適用と考えても良いでしょう。同様に、ルールの合成に補集合や差集合を使うことも考えられますが、筆者はその実例を知りません。

このようなことを考えるきっかけになったのは、「マキシ」の機械検討の要望があったことでした。筆者の Worst1.exe に「マキシ」を追加することは容易だったのですが、既に実装している「強欲」や「禁欲」との関係が問題でした。結局「ルールの合成について考えるときりが無い」という常識的な理由から「強欲」「禁欲」「マキシ」のようなフィルター系ルールは、排他的に1つしか指定できないようにしています。フィルター系ルールに限らず、互いに干渉し合うルールの組み合わせも同様です。

現実的かどうかはさておいて、互いに干渉や衝突を起こすルールの合成が今後流行しないとは言えません。不協和音を使って曲に独特な味わいや深みを与える手法はクラシック音楽でもよく使われてきました。不協和音を多用する前衛音楽のように、奇抜さを尊ぶフェアリーでも、ルール同士の不協和音を楽しむ人が出てくる可能性はあります。そのような合成ルールでも、ルールが適切に定義され、解答者を困らせる曖昧さや矛盾を排除できていれば、フェアリーとして出題可能です。

尤も、そのようなルールだと、作品がどうこう言う前に、ルールに起因する困難によって、作者自身が力尽きてしまうかもしれませんが…

では今月の出題です。今回は第 121 回の再掲載分と第 122 回の新規出題です。

第 122 回は投稿が多く、複数解物も含むため、8 題（実質 10 題）の作品の出題が繰り越しとなりました。繰り越しとなった方には、お待たせして申し訳ありません。本作品展では登場回数（回数は今年からカウントしています）の少ない作者の作品を優先して出題する方式を採っています。どうかご了承ください。

#### 〔第 121 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 121 回の出題は 12 題。今回登場する作者は神無太郎氏、占魚亭氏、上田吉一氏、真 T 氏、高坂研氏、青木裕一氏、馬屋原剛氏、変寝夢氏の 8 名です。作家数が多いので多彩な作品が楽しめそうですね。馬屋原氏は本作品展初登場。こうして新しい方の参加や、久々に復帰される方が増えると担当としても嬉しいです。

**121-1** は神無太郎氏の中立駒 & Imitator 作品。氏からは同じルールでもう一作投稿をいただいているのですが、出題数及び難易度の関係で繰越しとさせていただきます。難しいと思いますのでヒントを出します。「Imitator は盤端に」を強く意識して解いてください。

**121-2** は占魚亭氏による中立 NightRider を使った作品。例によって Imitator との組み合わせです。こちらにも「Imitator は盤端に」を強く意識して解いてください。

**121-3** 及び **121-4** は上田吉一氏のフェアリー駒作品。第 119 回、120 回で出題された作品と共通する要素があるので、ヤマを張ると意外と早く解けるかもしれません。なお、元の投稿では受方のフェアリー駒の数は「n 枚」と書かれていましたが、ここでは使用可能な枚数の上限である「手数 ÷ 2」枚としました。

**121-5** 及び **121-6** は真 T 氏お得意の最悪詰。華麗な手順を楽しめると思います。前回登場時は入院中で病床からの投稿でしたが、今回は無事退院されたとのことなので、ぜひ解答でお祝いしましょう。

**121-7** 及び **121-8** は高坂研氏の透明駒作品。今回は「キルケ」との組み合わせです。逆算可能性について考慮する必要はありませんが、初形が不正な配置でないことは考慮してください。以下に改めて本作品展で出題される初形に対する省略時条件を示します。

#### 〔初形に対する省略時条件〕

- 1) 攻方手番であること
- 2) 標準の駒種、駒数であること
- 3) 二歩・行き所のない駒がないこと
- 4) 相手番の玉に王手が掛かっていないこと

**121-9** は青木裕一氏の安南詰。「連続王手の千日手禁止」を宣言していることから、内容を予想できる人もいると思いますが、もちろん、例

の作を安南に仕立て直したわけではありません。なお、千日手の成立条件は将棋の実戦と同じく「同一局面4回」とします。フェアリーで実戦と同じ設定を採ることに意味があるかどうかは議論の余地がありますが、本局はそのルール設定で解いてください。また、「利き二歩有効」は本作品展のデフォルトのルール設定ですが、誤解を防ぐため明示しました。

**121-10** 及び **121-11** は本作品展初登場となる馬屋原剛氏の透明駒作品。これも逆算可能性を考慮する必要はありません。

**121-12** は変寝夢氏の「駒全マネ禁」。玉から遠い所に成桂がありますが、これは大きなヒントですね。もしかしたら今回の作品展で一番易しい作かもしれません。

【第 122 回作品展各題への補足説明】

第 122 回の出題は 10 題。複数解を求める作品を含むので実質 12 題です。今回登場する作者は神無太郎氏、上田吉一氏、上谷直希氏、真 T 氏、青木裕一氏、馬屋原剛氏、変寝夢氏の 7 名です。透明駒作品が多いのは珍しくなくなりましたが、今回は最悪詰が多いのが特徴的です。

また、今回はいつもより解答募集期間が一ヶ月長くなっています。腕に自信のある方は、ぜひ全題正解を狙ってください。

**122-1** は神無太郎氏の中立駒 & Imitator 作品。前回出題分と同時に投稿いただいた作なので、それらと共通する要素があります。第 120 回の作品も参考になると思います。

**122-2** は上田吉一氏の Pao (包) を使った短編。包の持つある性質をクローズアップした作品と言えるでしょう。その性質は何でしょう？

**122-3** と **122-4** は上谷直希氏の「禁欲」2 題。**122-3** は「最善」指定がないので、攻方最短は義務化されていません。それでも、余詰はないはずですが。**122-4** は「禁欲」と「透明駒」の組み合わせ。協力自玉詰なのに攻方玉がありませんが、これは攻方の透明駒の 1 つが玉だということです。また、受方の透明駒が大量にあります。これにはもちろん意味があります。なお、「禁欲」と「透明駒」の組み合わせは初めてなので、作者から投稿作の一つを例題として使って良いとの申し出をいただきました。解答は本稿の末尾に掲載しますので、まずはこの例題で肩慣らしをしてください。

【例題】 上谷直希氏作

禁欲最善詰 3 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
	角								二
									三
									四
									五
									六
							歩		七
									八
									九

持駒 金

※透明駒:攻方0枚、受方1枚

【最善詰】 攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。

**122-5** と **122-6** は真 T 氏の最悪詰 2 題。**122-6** は「受先」なので、初手の選択が重要です。

**122-7** は青木裕一氏の最悪詰。余詰防止のため受方持駒制限があるので、解きやすくなっていると思います。

**122-8** と **122-9** は馬屋原剛氏の透明駒作品。どちらもルールは「協力自玉詰」です。**122-8** は 2 解問題なので、なるべく両方の解を求めてください。**122-9** には受方の玉がありませんが、これは誤植ではありません。受方の 2 枚の透明駒のうち、1 枚が玉ということです。

**122-10** にも玉がありませんが、こちらも誤植ではありません。変寝夢氏による「リパブリカン」作品です。特徴は中立駒を使用していること。詰めにくい中立駒でどうやって詰めるかを考えると早く解けるとと思います。「リパブリカン」では玉は最終手で出現するので、もちろん攻方王手義務はありません。本局も 2 解問題なので、なるべく両方の解を求めてください。

解答要項

第 121 回分解答締切:2020 年 6 月 15 日(月)

第 122 回分解答締切:2020 年 8 月 15 日(土)

宛先: [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

**作品投稿について**

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12 題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。

宛先は解答と同じ **k7ro.ts@gmail.com** へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

**WFP 作品展：今後の予定**

7 月は「氾濫」結果稿の作成と重なるため、6 月号の新規出題と 7 月の結果稿はお休みさせていただきます。今後の予定は以下のようになっていますので、あらかじめご承知ください。

	6 月	7 月	8 月
第121回	結果		
第 122 回	再掲	再掲	結果
第 123 回		出題	再掲
第 124 回			出題

**ルール説明**

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule112.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

**【協力自玉詰】**

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

**【中立駒】** (「」あるいは「n 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる (利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。

6) 中立駒は行き所ない駒にならない。

7) 中立駒でも **自玉への王手は反則**。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照：WFP61 号「中立駒の紹介」

**【Imitator】** (■または I)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

(補足)

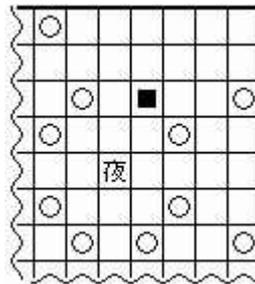
- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照：WFP75 号「Imitator の紹介」

**【NightRider】** (夜)

フェアリーチェスの NightRider。

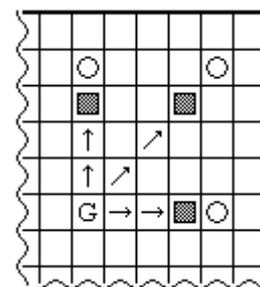
ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

**【Grasshopper】** (G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○が G の利き)

(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- ・成ることはできない。
- ・2 つ以上の駒は飛び越せない。

**【最悪詰】**

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように

応じる。

(補足)

- ・「詰める側」と「詰みを防ぐ側」が通常とは逆になっている。このため用語も逆になっており、「紛れ」を受方に、「変化」を攻方に使う。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【キルケ】

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 成駒は生駒になって戻る。
- 2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩になったりする場合は戻れない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香(成駒も含む)が5筋で取られ、複数の戻り先候補がある場合、戻り位置を選択できる。

【透明駒】

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性がある、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→参照：WFP83号「透明駒の紹介」

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

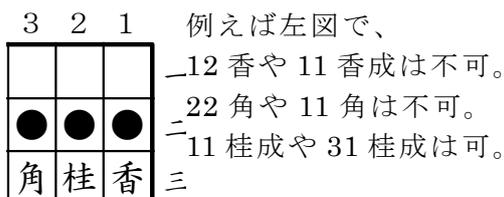
(補足) 二歩について

性能変化ルールで「玉を取ったとき、二歩になる手を有効とするか否か」でルール設定が分かれる。これを有効とするのが「利き二歩有効」、無効とするのが「利き二歩無効」。何も書いていなければ、WFP 作品展では前者の設定を適用する。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

跳び越すことは可能。



【駒全マネ禁】

直前の指し手の駒種と同じ駒での着手を禁止する。

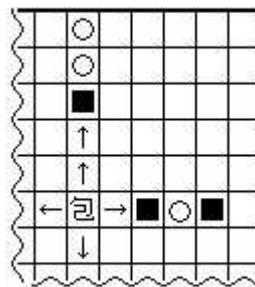
(補足)

- ・直前の指し手と同じ種類の駒を動かす手でしか詰みを回避するしかない場合や、玉を取る手にもこれを適用する。
- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する。また、直前の手が「成」だった場合、成る前の駒種で判定する。

→参照：WFP132号「駒全マネ禁詰の紹介」

【Pao】(包)

中国象棋の駒。動くときは飛車と同じ。駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る。



(■は敵か味方の駒。○は取るときに動ける場所。矢印は駒を取らないときに動ける場所。)

(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・グラスホッパーと違って着地場所は飛び越えた駒の隣でなくてもよい。
- ・成ることはできない。
- ・2つ以上の駒は飛び越せない。

【禁欲】

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

【受先】

受方から指し始める。

【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。

(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

→参照：WFP92号「リパブリカン詰の紹介」



■ 121-7 高坂研氏作

キルケ協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
	飛								四
									五
									六
			王						七
									八
									九

持駒 金銀

※透明駒：攻方 1 枚、受方 0 枚

■ 121-8 高坂研氏作

キルケ協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
皇									九
王	飛								九

持駒 なし

※透明駒：攻方 1 枚、受方 0 枚

■ 121-9 青木裕一氏作

安南詰 67手 ※利き二歩有効

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		銀		香	皇	龍			一
			歩		香				二
			歩	王	歩				三
									四
						王			五
				歩	香	馬			六
			香	桂	香				七
			龍						八
									九

持駒 歩4

※連続王手の千日手 (同一局面 4 回) は禁手

■ 121-10 馬屋原剛氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王	飛		一
						飛			二
			王						三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角銀

※透明駒：攻方 0 枚、受方 2 枚

■ 121-11 馬屋原剛氏作

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			王	龍					一
							王		二
			龍			龍			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

※透明駒：攻方 0 枚、受方 3 枚

■ 121-12 変寝夢氏作

駒全マネ禁協力詰 19手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

●									一
王									二
●									三
									四
									五
									六
									七
									八
	手		歩						九

持駒 桂

※●:着手不可、不透過

<第 122 回>解答締切:2020 年 8 月 15 日(土)

■ 122-1 神無太郎氏作

協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
■								
							王	
								王

持駒 n飛  
 ※■:Imitator  
 玉以外はすべて中立駒

■ 122-2 上田吉一氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				馬				
			王	包				
	龍							
			王					

持駒 なし  
 ※包:Pao

■ 122-3 上谷直希氏作

禁欲詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								馬
			龍	歩				
			金	王	桂			
			飛					

持駒 角

■ 122-4 上谷直希氏作

禁欲協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						王	香	
							香	

持駒 なし  
 ※透明駒:攻方3枚、受方12枚

■ 122-5 真T氏作

最悪詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
						王	王	
							歩	角
					角			
						龍	香	

持駒 なし

■ 122-6 真T氏作

最悪詰 26手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	
歩	王			歩				

持駒 歩6

■ 122-7 青木裕一氏作

最悪詰 47手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
					歩	歩		角	三
			歩						四
				歩				香	五
					歩			歩	六
						王			七
							香	桂	八
							角	金	九

攻方持駒 歩6  
受方持駒 なし

■ 122-8 馬屋原剛氏作

協力白玉詰 4手 (2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
									八
		馬		王					九

持駒 角  
※透明駒:攻方0枚、受方1枚

■ 122-9 馬屋原剛氏作

協力白玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
				王	歩				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角  
※透明駒:攻方1枚、受方2枚

■ 122-10 変寝夢氏作

リパブリカン協力詰 3手 (2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
						歩			四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 n角  
受方持駒 なし  
※角と香は中立駒

以上



〔例題解答〕 上谷直希氏作

禁欲最善詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
角									二
									三
									四
									五
									六
							歩		七
									八
									九

持駒 金

※透明駒:攻方0枚、受方1枚

【解答】(※判明した透明駒を括弧内に記述)

28角生 - X 26金 (16玉) まで 3手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
							金	王	六
							歩		七
							角		八
									九

持駒 なし

〔紛れ〕 初手 28角成は、同 X (=玉) で不詰

【作者のコメント】

禁欲と透明駒の組み合わせは多分初めてなので例題級を。

初手角生とすれば玉位置がどこであろうと角が取り返される心配はありません。

なお、禁欲詰ではなく禁欲最善詰なのは余詰対策(いくらでも手順が挙げられるので手順は省略)。盤面の自由度が高い構図の場合、禁欲ルールは余詰の宝庫といえるでしょうね。

【解説】

盤上に玉がありませんが、これは誤植ではありません。受方の1枚の透明駒は玉だということです。駒の種類は判明していますが、位置が分からないので透明性は失っていません。

初手の選択肢はかなり広く、王手にならない手を探す方が難しいくらいです。敢えて王手にならない着手を挙げると、「19角生」「91角生」「81金」の3つです。

一方、いきなり玉位置を判明させてしまう着手もいくつかあります。例えば初手 26歩とすると、これが王手であることから 25玉が確定します。ただ、そうすると2手目どこに玉が逃げても詰みません。受方が協力しても詰まないのですから、「最善詰」だとなおさらです。詰みやすい形になるか、詰んだ状態で玉位置を判明させるのが、対抗系(協力系でない)ルールで透明玉を詰めるときのコツです。

本局ではそれを初手 28角生と3手目 26金の組み合わせで実現します。初手 28角生が王手であることから、透明玉は 17か 39にいたことになりませんが、3手目 26金により、17玉が 16へ逃げたことが確定するわけです。

同じようでも初手 28角成とすると、2手目に同 X (=玉) とされます。「実は 18(あるいは 29)に玉がいたので、禁欲だけど取るしかなかった」と主張されてしまうわけですね。対抗系ルールでは常に変化に気を配らねばなりません。

なお、本局に「最善」指定がある理由は、長手数之余詰を防ぐためです。これがないと、以下のような余詰が成立します。

19角成 - X 18馬(17玉) 16玉 26金 まで  
72金 - X 93角成(92玉) 91玉 82金 まで

:

他にも無数の長手数の詰手順が存在します。それらをすべて潰すことは、不可能でないにしても、あまり建設的な結果を生まないでしょう。禁欲詰は余詰を生じやすいルールなので、必要ならば「最善」指定で攻方最短を義務化し、狙いをスッキリと表現することが望ましいと思います。

以上

# Fairy of the Forest #63 出題

- 2020年03月20日：課題発表：(協力詰)  
「自由課題」
- 2020年05月15日：投稿締切
- 2020年05月20日：出題
- 2020年06月15日：解答締切
- 2020年06月20日：結果発表

## ■ 出題

今回は5題と、近頃では最も多い出題数となりました。作者の皆様には感謝いたします。特に、初投稿で2題も出品いただいた馬屋原さんには今後のご投稿も期待したいところです。さて、作品の方は短編から(短めの)長編まで、バランスがとれています。楽しんでご解答いただけたらと思う次第です。03.04は受方持駒制限にご注意ください。

(解答先)  
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

## ■ 63-01 馬屋原剛

協力詰 7手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂

## ■ 63-02 馬屋原剛 協力詰 11手

協力詰 11手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂歩

## ■ 63-03 たくぼん

協力詰 53手

持駒 なし

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

■ 63-04 青木裕一

協力詰 63手

持駒 なし

										一
										二
										三
						銀				四
皇	歩				と		歩	皇		五
							飛			六
								王		七
飛					桂		歩	王		八
玉						香				九

持駒 なし

■ 63-05 小林看空

協力詰 77手

										一
										二
										三
										四
										五
金	銀	金	飛	飛	銀	玉	銀	金		六
香		香	金	香	桂	桂		香		七
	角		銀			と	と			八
		桂	王	桂	又	歩	と			九

持駒 角歩2



## 推理将棋第128回出題

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第128回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2020年6月10日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第128回解答」でお願いします。

### 推理将棋第128回出題 担当 Pontamon

前は余詰出題2問でした。第128回は余詰なしで行きます。(行きたい) 解答者増のために127回よりは難度を下げたつもりです。今回の選題のテーマは…。

初級は、けいたんさんからの9手詰。駒を取って、打って、動かす、忙しい作品。

中級は、担当からの10手詰。7手詰29手順のおさらいが必要かも。

上級は、ミニベロさんからの11手詰。両王手を明かしているのはサービス？

#### ■本出題

**128-1 初級 けいたん作**  
9筋に打った駒を動かして詰み 9手  
5手目までに入手した駒を9筋へ打ちますが、詰みに効果的な駒と取り場所は？

**128-2 中級 Pontamon 作**  
8手で負けない初手 10手  
連立条件の初手を解くことから始めるか、詰み形を考えるのが先なのか。

**128-3 上級 ミニベロ 作**  
11手目の初王手の両王手 11手  
8手目の角尻までの手順を考えるか詰み形を考えるか。手掛かりが少ない難問です。



### 128-1 初級 けいたん 作 9筋に打った駒を動かして詰み 9手

「9筋に打った駒を動かして9手で詰みか」  
「3手目と5手目は生の同じ駒の着手だったな」  
「後手は2回玉を動かしたね」

(条件)

- ・9手で詰み
- ・最終手は9筋に打った駒を動かした
- ・3手目と5手目は生の同じ駒の着手だった
- ・後手は2回玉を動かした

### 128-2 中級 Pontamon 作 8手で負けない初手 10手

「8手で負けてばかりで悔しくて、研究したら8手では負けない初手を発見したよ」  
「8手では負けない初手？初手で何を指しても7手詰め手順で詰むと思うけど…」  
「その初手を指しても59地点の駒成りの10手で負けちゃった」

(条件)

- ・10手目に59への駒成で詰んだ
- ・初手は8手では負けない手

### 128-3 上級 ミニベロ 作 11手目の初王手の両王手 11手

「両手でとどめとか、8本の手で尻を搔くとか、恐ろしい話だな」  
「違うよ。とどめは両王手、8手目は打った角の尻という意味だよ」  
「それなんの話？」  
「11手目の初王手の両王手で詰んだ推理将棋の話」

(条件)

- ・11手目の初王手の両王手で詰んだ
- ・8手目は打った角の尻

## 第120回WFP作品展結果 担当：神無七郎

第120回WFP作品展の結果を報告します。  
 今回の出題は全10題（ツインや複数解を求める作品があるので実質12題）。解答者数7名。  
 全題正解者なし。解答の内訳は以下の通りです。

### 【第120回WFP作品展成績】（敬称略）

○：正解・余詰解 ×：誤解 -：無解

解答者名	1	2	3 <sub>1</sub>	3 <sub>2</sub>	4	5	6	7a	7b	8	9	10	計
占魚亭	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	8
真T	○	○	-	-	-	×	-	○	○	○	○	○	7
はなさかしろう	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	7
たくぼん	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	5
k z	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	3
変寝夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	2
一乗谷酔象	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1

ご覧の通り解答成績は低調。120-3 と 120-4 の正解者は作者のみとなってしまいました。

k z氏は本作品展初解答。フェアリーからしばらく離れていたそうですが、早く勘を取り戻して、大いに活躍してください。

### ■ 120-1 高坂研氏作（正解2名）

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
			角						四
									五
						香			六
								王	七
									八
									九

持駒なし

※透明駒：攻方0枚、受方2枚

#### 【ルール】

#### • 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方玉を詰める。

#### • 透明駒

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして

手順を進めることができる。

→参照：WFP83号「透明駒の紹介」

【解答】（※判明した情報を括弧内に記述）

21 香成 28 玉 -X 88 角(X=98 飛)

17 角 同X(X=17 飛または龍) まで 6手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								杏	王	一
										二
										三
										四
										五
										六
									X	七
飛	馬							王		八
										九

持駒なし

※17Xは飛または龍

#### 【作者のコメント】

思いっきり線駒が目立つ構成にしてみました。

4、5手目の応酬を見れば、(2)と同じことを意図していることが明らか。

#### 【解説】

玉同士が遠く、見えている駒だけだと駒不足。何とか透明駒が大駒であることを証明し、遠隔操作で攻方玉を詰めねばいけません。

初手 21 香成は妥当な手ですが、次の 28 玉は指しにくい手。合駒を早く出したい心理に反する好手です。

注目は 3 手目。攻方が持っていないはずの透明駒を打つ手です。実は初形で 21 に透明駒があって、初手はそれを取った手だったと主張するわけです。

ここで待望の合駒を出現させます。

それが 4 手目 88 角。これにより 3 手目の透明駒は飛だったことが確定します。

5 手目は本局最大のハイライト 17 角！

まるで反則のような手ですが、88 角が 11 玉を睨んでいるのに 44 角が動けるということは、何か遮蔽駒があるということを意味します。初

手で 22 を香が通過したことから、その場所は 33、55、66、77 のどこかになります。

最終手は 17 角を透明駒で取ることにより、同龍または同飛が確定。将棋の駒で 33、55、66、77 のどこかから 17 に移動できるのは、77 から飛か龍が来るケースしかありません。飛か龍か確定はしないものの、どちらでも両王手で攻方玉が詰んでいるので、自玉の「詰」という目的は達成されました。もちろん透明駒は、それが透明である限り、種類が確定しなくても、非限定とはみなしません。

作者のコメントにもあるように、本局の狙いは 4 手目と 5 手目の応酬。WFP118-4 (作者のコメントで(2)とあるのはこの作のこと)と同様、下準備を整えてからの擬似反則手です。本局はこの狙いを中心に、盤面を駒が大きく飛び回り、最後は皆大好きな両王手。とても爽快な解後感を味わえる作品だと思います。

【短評】

真Tさん

楽しい両王手もの。

たくぼんさん (※無解)

21 香成、26 飛、-X、・・・から 1,2 筋に飛並べる形だと思うけど、ギブアップです。

はなさかしろうさん

21 香成、28 玉、-X、88 角、17 角、+17 まで (3 手目の王手を 88 角で解除したので、初手 21 香成で受方の透明飛 (龍) を取り、3 手目に 98 飛と打ったことが確定。5 手目の 17 角が反則でないので、最終手は 77 にいた受方の透明飛 (龍) が 17 の角を取ったことが確定し、両王手で攻方玉の詰みが確定。)

透明駒は楽しいので真っ先に飛びついています。初手から逆王手、決め手は逆両王手。豪快。



■ 120-2 高坂研氏作 (正解 3 名)

協力自玉詰 4 手

					銀	王			一
					歩			王	二
									三
							桂		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

※透明駒：攻方1枚、受方1枚  
逆算可能性を要請

【解答】

—X —X —X —X まで 4 手

(詰上り)

					銀	王			一
					歩		X	王	二
									三
							桂		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

※22Xは龍または馬

【作者のコメント及び解説】

X, X, X, X 迄 4 手詰。

これを満たす着手は、33 龍、32 合、22 龍、同 X しかない。だが、もし 2 手目の合駒が飛または金なら 4 手目で詰んでいないが、大丈夫なのだろうか？しかし、実はこの合駒はありえないことが、簡単なレトロ解析によって判明する。

もし 2 手目が飛 (金) だった場合、これは移動合ではありえないので、出題図は次のような局面だったことになる。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					銀	王			一
					歩			玉	二 ▲
									三 なし
					龍		桂		四 なし
									五
									六
									七
									八
									九

しかし、これは illegal である。何故なら、現在先手番ということは直前の着手は後手だった筈だが、そのような合法的な逆算手は存在しないからだ。

以上より、2 手目の合駒は打合ではなく移動合だったことになり、該当するのは龍か馬しかない。従って、たしかに 4 手目の局面は詰んでいることが証明された。

【解説】

着手は全部透明駒。盤上は何も変化しません。でも、なぜか詰んでいます。詰上りでは、22 に何か居る気配がしますが、それが何かは分かりません。まるで幽霊です。

幽霊の正体は分かりませんが、それが龍か馬かどちらかであるということは証明できます。透明駒ばかりの手順と初形が逆算可能であるという条件を利用すれば、それが可能なのです。

まずは透明駒ばかりの手順について。

この狭い構図で形を崩さずに王手と応手を続けるのは難しいことです。透明駒は攻守各 1 枚ずつしかありませんから、それぞれが 2 回動いたこととなります。最終手が透明駒の着手だったことにより攻方が受方の駒を取った可能性は排除され、同じ方向からの王手が連続して行われた可能性も排除されます。唯一残るのは攻方の透明駒が龍で、33 龍と 22 龍という縦と斜めの 2 方向から王手した可能性です。受方も王手放置は許されないので、横に動ける駒で 22 龍を取ったこととなります。つまり、透明駒の 4 連続着手は「33 龍 32 X 22 龍 同 X」（2 手目と 4 手目は同じ駒）と判明します。

ただし、手順によって限定できるのはここまです。限定できるのは、X が横に動ける駒だったことまで。X が金である可能性はこれだけでは排除できません。

X が金でないことは、初形が逆算可能であることを使って証明します。

初形をもう一度見てみましょう。

受方玉が狭いところに閉じ込められているため、玉を動かす逆算はできません。逆算可能であるためには盤上に玉以外の駒がないといけません。でも、盤上には「見える」受方駒はありません。つまり受方の透明駒は駒台ではなく、盤上にあったこととなります。すると、手順の 2 手目は移動合で 32 に透明駒が動いたこととなりますが、金ではこれはできません。21 金が初形にあったとしたら、移動合をする前に 33 龍が王手放置の反則だったことになってしまいます。このため、受方の透明駒は斜め下にも動け、横にも動ける龍か馬しかなくなるというわけです。

何もせずに 4 手待つと詰んでいる（ように見える）不思議な作品でした。

念のために付け加えると、初形で 24 桂がないと 32 玉の逆算が可能になります。

例えば後手玉の逆算を考えた時、玉の戻し先を潰す手段としては、戻し先に

1. 先手駒を置く
2. 先手駒を多重に利かせる  
(両王手できない駒の組み合わせで)
3. 先手玉を利かせる

という 3 つの方法が考えられますが、本局ではこの 3 つが全部使われています。

もう一つ、作者の解説に出てくる illegal という用語について私見を述べておきます。

実戦初形から到達できない形はチェスプロブレムでは illegal と呼ばれます。しかし透明駒は実戦初形に存在しません。元々、詰将棋では実戦初形に戻せない作品も多い（単玉作品は全て該当します）ので、初形が illegal でないことを解図の要件に加える場合、この用語の再定義が必要だと思えます。

当面、本作品展では逆算可能（これも本当はきちんとした定義が必要ですが）という表現を使っていこうと思えます。

【短評】

真工さん

答えだけ見たら、わけわかりませんね。

たくぼんさん

先手が1,3手目連続して王手が可能なのは33龍~22龍。2手目32金は移動では無理で打ちしかないがそうすると初形の1手前の後手の手がないということです。

はなさかしろうさん

-X、-X、-X、-Xまで

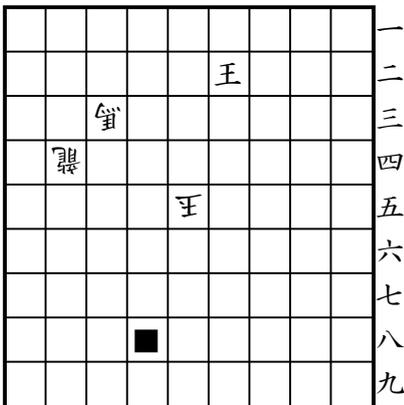
(図に至る受方の最終手は透明駒の手しかあり得ないので、図で受方の透明駒は盤上にあることが確定。-X、-X、-X、-Xという手順から、3手目までに透明駒を取る手はないことが確定。この場合、3手目は龍を33か11から22に動かす手しかあり得ず、初手11龍は不可能なので、最初の3手が33飛成 or 龍、32移動合、22龍であることが確定、更に最終手は22同透明駒であることが確定する。受方の透明駒は32に移動合ができるので銀、角、馬、龍のいずれかであり、最終手で寄れることから馬か龍であることが確定し、最終図での攻方玉の詰みが確定。)

棋譜がカッコイイ。ただ、24の桂の役割がわからず、何か間違っているかも。解説を楽しみにしています。

■ 120-3 占魚亭氏作 (正解1名) ※実質正解者なし

AntiAndernach協力詰7手 (※2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 駱

受方持駒 なし

※■:Imitator、駱:Camel

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰める。

• AntiAndernach

玉以外の駒は、駒を取らない盤上の移動を行うと、着手後に相手の駒となる。

(補足)

- 細則は Andernach と同様で「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。
- 1)駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合、相手の駒にならない。
- 2)相手の駒になるのは成生の選択後。
- 3)駒を取らない盤上の移動では、相手陣二段目への桂の不成、一段目への桂香歩の不成が可能(二歩の例外を除く)。

→初出：第60回 WFP 作品展 (WFP68号)

• Imitator (■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

(補足)

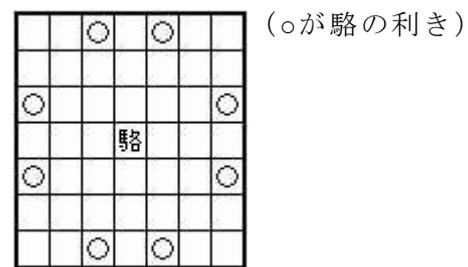
- 駒を打ったときは動かない。
- Imitator は元の駒と同時に動く

→参照：WFP75号「Imitatorの紹介」

• Camel (駱)

Camel はフェアリーチェスの駒。

3対1の方向に跳ぶ八方桂。



【解答】

- 1)24 駱 64 馬転[I59] 31 駱転[I66] 87 龍転[I69]  
31 王[I58] 66 玉[I69] 59 駱 まで 7手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
									二
			馬						三
									四
			王						五
									六
	龍								七
									八
			■	駱					九

持駒 なし

2)48 駱 82 馬転[I77] 17 駱転[I46] 64 龍転[I26]  
92 馬転[I36] 44 玉[I25] 33 王[I16] まで 7 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
龍									二
						王			三
			龍	王					四
									五
								■	六
								龍	七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

『WFP』100号が発行された頃に「Imitator+AntiAndernachにLeaper駒も併せてみよう」と思い作った試作品で、4解にできずお蔵入りさせていたものです。

バラしたりツインにできなくはないですが、紛れが増えるので手を加えずこのまま蔵出しします。

【解説】

協力詰なのに盤上に自玉以外の攻方駒がない初形。Camelの王手には合駒ができないので、合駒の入手も期待できません。

そこで考えられるのが、AntiAndernachの効果を使って盤上の受方駒を攻方駒に変える展開です。Camelの王手に対し、Imitatorの壁になるように受方の駒を動かしましょう。

作意は初手Camelをどこに打つかで2つに分かれます。しかし、2手目の受けはもっと重

要です。2解どちらも馬を動かす受けですが、王手を防ぐどころか、むしろ王手を増やしているように見えます。もちろん、どちらの場合もImitatorのおかげで反則になりません。

この後の展開はCamelと馬の位置が異なるため、大きく異なります。

解1)は途中でCamelが消えて再生するのが特徴です。一度盤上に打ってしまった駒を再び持駒にするのは、通常ならかなり手間が掛かる作業ですが、AntiAndernachなら1回動かだけで相手の駒になるので、取り返せばすぐ持駒に戻すことができます。詰上りではImitatorの横に打ったCamelが壁としても働いています。

解2)は4手目龍を受方玉に利かせるのが大きな特徴です。王手する駒を馬から龍に交替させるような奇妙な応手です。締めくくりは攻方玉による王手。Imitatorを使えば玉による王手も可能です。しかもこれは両王手ではありません。龍の王手はImitatorでブロックされています。ただし、玉が左辺に逃げると龍の王手が有効化されるので、龍は立派に役割を果たしています。Imitatorを最大限に活用した幕切れですね。

本局は2つの解に関連や対比が感じられませんが、元々は4解のセットを目指していたのでしょう。作者はAntiAndernachとImitatorを絡めた作を今までいくつも発表してきました。今回Camelを使ったのは、更に変わった組み合わせと、それによって生じる効果を試すためであり、面白い手順が得られれば、それで良かったのだと思います。

【短評】

たくぼんさん (※無解)

AntiAndernachに■付いて、フェアリー駒ありで7手となると解ける気がしません。

変寝夢さん (※無解)

駱を転させてから取るのが不思議な味。

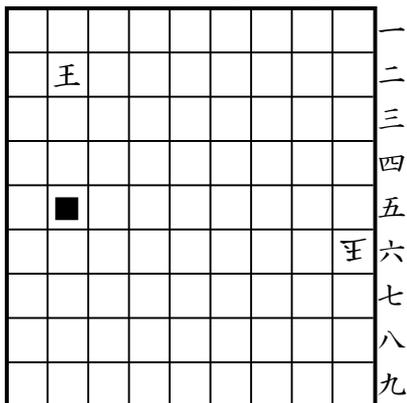
占魚亭さん

「Imitator+AntiAndernach+駱」はまだあるので、下半期に投稿したいと思っています。

■ 120-4 占魚亭氏作（正解1名）※実質正解者なし

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 夜

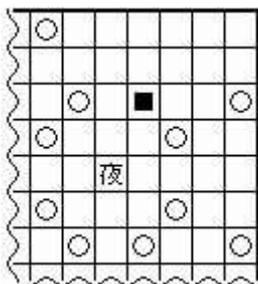
※■:Imitator、夜:Nightrider

【ルール】

• NightRider (夜)

フェアリーチェスの NightRider。

ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



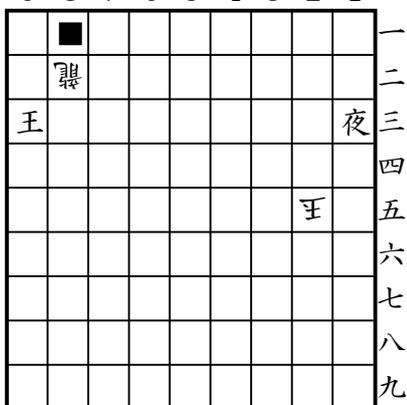
(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

【解答】

32 夜 25 玉 [I94] 13 夜 [I75] 87 飛  
93 王 [I86] 82 飛成 [I81] まで 6手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

【作者のコメント】

Imitator+Nightrider の試作品。

Nightrider らしさを感じられないのが難点ですね……。

【解説】

双裸玉+Imitator の簡素図式。注目は持駒の NightRider です。

玉同士が離れている場合、Imitator の壁駒として受方の駒を発生させ、その駒で詰めるのが基本です。そして持駒が NightRider であるということ を考慮すると、解図方針に「持駒が Knight ではなく NightRider なので、合駒を発生させるはず」とか「NightRider を大きく動かすだろう」という要素を加えたくくなります。しかし、盤外の情報を外挿して読む「メタ読み」を許さないのが、占魚亭氏の作品の怖さです。予断は排さねばなりません。

正解は普通に Imitator の壁駒を発生させる手順です。NightRider は初手こそ離して打ちますが、その後は小さくしか動かしません。

壁駒の種類は飛。Imitator を盤端に移動させるには大きな移動が必要なので、大きく動ける駒の助けを借りるわけです。終わってみれば、「Imitator は盤端に」という基本に忠実な作品でした。

「メタ読み」ができない作品は解くのに苦勞する割に、解けても不満が残ることがあります。本局の 4 手目以降は NightRider を Knight に置き換えても同じです。作者も自認していますが、NightRider の意味が冒頭 2 手だけというのは物足りないですね。

【短評】

たくぼんさん (※無解)

初手、2 手目からどれが筋かが分らない。

変寝夢さん (※無解)

前半は地味だが 8 7 飛からはスピード感があります。

占魚亭さん

例によって飛車です。

「Nightrider+Imitator」もまだあるので、こちらでも下半期に投稿できれば。

■ 120-5 神無太郎氏作 (正解1名!)

協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		王	■						三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 n銀

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

【ルール】

- 中立駒 (「 $n$ 」あるいは「 $n$ 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に  $n$  を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる (利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照：WFP61号「中立駒の紹介」

【解答】

92n 銀 64n 角 18 王 [I72] 19n 角生 [I27]

73n 角生 [I81] 72n 角打 まで 6手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	■								一
銀		角							二
	王	角							三
									四
									五
									六
									七
								王	八
									九

持駒 なし

【解説】

神無太郎氏は Imitator と中立駒を使って、駒を大きく移動させる作品を発表しています。直近では WFP116-9 がそれでした。

本局では 4 手目・5 手目で中立角が大きな往復運動をします。結果として、Imitator と中立角のペアが斜めに 1 つ移動しました。近くに行くのに、わざわざ遠い場所を経由しなければいけないのです。

経路地が遠隔地になる理由は玉同士が離れていること。攻方玉を Imitator の壁として利用するため、大移動の必要が生じるわけです。

でも、どこかを経由せずに直接移動してはいけなんでしょうか？ 壁を発生させるなら、駒を打っても良さそうです。

ところが、それでは壁として打った駒が最終手 72n 角の攻方玉への利きを遮断してしまいます。これが直接移動せずに、他地点を経由した移動を行う理由です。

最終手 72n 角打は、まるで受方玉を詰ましにしているように錯覚する手ですが、詰んでいるのはもちろん攻方玉の方。Imitator の斜め左下に中立銀がいるおかげで受方玉には王手が掛かっていません。しかもこれは解除不能の逆王手。実に奇妙な詰上りです。

本局には逆王手がたくさん出てきますが、初手と 4 手目は例外です。特に 4 手目は不成にしておかないと、後の 5 手目が両王手になり、最終手の 72n 角が打てません。

双裸玉 + Imitator の簡素図式に、中立駒の組み合わせ。解くのは大変ですが、その世界の豊穡さには驚かされます。

【短評】

真Tさん (※誤解)

74n 銀、85n 銀[184]、94n 銀[193]、93n 銀[192]、92n 銀生[191]、82n 角まで 6 手。

Imitator は解ける気がしないと思ったら、詰上がりが見えたためあっさりと解けました。

☆真Tさんは苦手な Imitator 物に果敢にチャレンジしましたが、中立駒の方で引っ掛けてしまいました。中立駒は手番側から見た動きをするので、4 手目「93n 銀」は指せません。小駒の中立駒は利きが上下対称ではないので、要注意です。

たくぼんさん (※無解)

大駒じゃないのでいけるかと思ったんですが・・・。

変寝夢さん (※無解)

1 9 n 角生から

占魚亭さん

鮮やかな n 角の往復大移動。

☆本局と次局の唯一の正解者は占魚亭氏。流石です。

■ 120-6 神無太郎氏作 (正解 1 名！)

協力自玉詰 6 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 n 飛

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

【解答】

19n 飛 29n 香 22n 香成[141] 71n 香 12n 杏[131] 79n 香成[139] まで 6 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

前局は 1 枚の中立駒が大移動する作品でしたが、本局は 2 枚の中立駒が大移動します。

主役の一つは 2 手目合駒として登場します。九段目の香ですが、中立香なので反則ではありません。この駒は直後に 7 マスの長距離移動を行います。Imitator のストッパーがあるので、この時点で可能な最長距離の移動です。目的はこれで攻方玉を詰めること。玉同士が遠いので、飛び道具の活用は必須です。

念のため付け加えると、初手 19n 飛は反則ではありません。Imitator のおかげで攻方玉には王手は掛かっていないのです。中立駒を使う時、王手放置はもっとも陥りがちな反則なので注意してください。

もう一方の主役は 4 手目に Imitator の壁駒として登場します。打場所は 71 限定。これより遠い 8・9 筋では 19n 飛の王手を防いでいませんし、これより近い 5・6 筋では次の 12n 杏が王手になりません。

5 手目 12n 杏は Imitator をずらして 19n 飛の王手を有効化する手。12n 杏の自玉への利きは Imitator のおかげでブロックされています。

最終手は満を持して、受方による中立香の最長距離移動が登場します。これは Imitator を合駒代わりに利用すると同時に、12n 杏の王手を有効化し逆王手し、更に受方玉を壁として攻方玉の 2 筋への逃走を阻止します。一石二鳥どころではない効率的な手ですね。この手が「成」であるのも抜け目のないところで、79n 香生だと 71n 香と「逆流」する受けが残ります。

作者は WFP112-2 で中立香と中立飛の大移動を見せてくれましたが、この作はまた別の味わいがありますね。

【短評】

たくぼんさん (※無解)

4手までかな・・・

変寝夢さん (※無解)

71n香にはびっくりした。

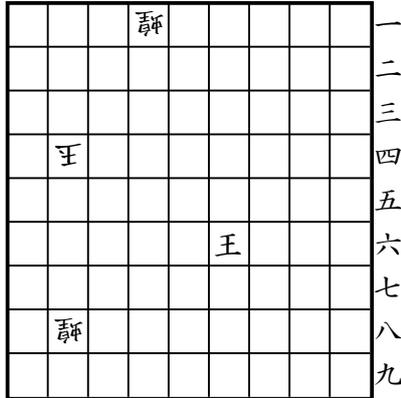
占魚亭さん

n香2枚の大移動ができるとは!

■ 120-7 上田吉一氏作 (正解5名)

a) 協力白玉詰4手

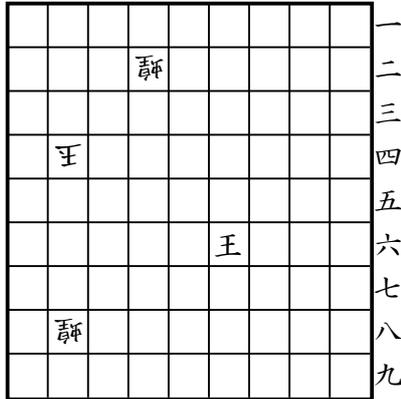
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛角  
※蝗:Locust

b) 協力白玉詰4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



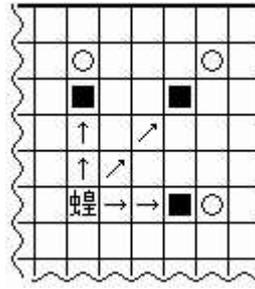
持駒 飛角  
※蝗:Locust

【ルール】

•Locust (蝗)

フェアリーチェスのLocust (蝗)。

Queen の利きの方向にある敵駒を跳び越えその1つ先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



(○が蝗の利き。

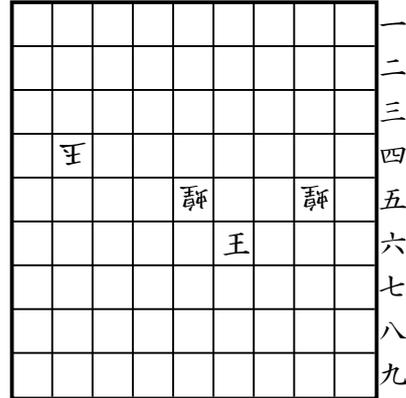
■は敵駒。これを取って○に移動する。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていたりすると跳べない。)

【解答】

a)34 飛 同-25 蝗 66 角 同-55 蝗 まで 4手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

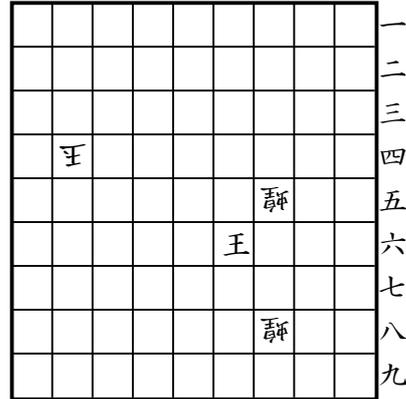


持駒 なし

b)48 角 同-38 蝗 44 飛 同-35 蝗 まで 4手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

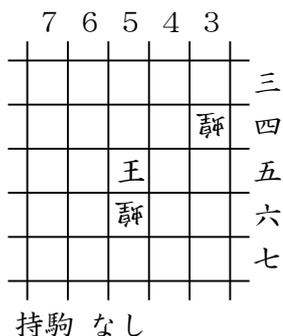


持駒 なし

【解説】

空中の玉を詰めるとき、Locust (蝗) はQに近い性能を持ちます。蝗の跳び先を埋める「裏合駒」や、玉を壁に寄って受ける手に注意しないといけませんが、本局の詰上りでは、蝗がQと同じ働きをしています。

ただし、Q 2 枚の詰上りがすべて蝗に置き換えられるわけではありません。以下の図をご覧ください。



この図の蝗がQならば詰みですが、蝗の場合は「45王」の受けがあります。2枚の蝗が互いの跳び先を塞いでいることを利用した受けは、見落としがちなので注意してください。

以上は一般的な蝗の性質についての話でしたが、本局で蝗がどう活用されているか見てみましょう。

本局の a)b) は、1枚の蝗の位置がたった1マス違うだけです。

このたった1マスの違いが、詰上りで蝗が横に並ぶか、縦に並ぶかの違いをもたらします。

119-10 は縦と斜めの対比だったわけですが、今回は横と縦の対比というわけです。

しかし対比はそれだけではありません。よく見ると、詰める蝗と支える蝗の役割も入れ替わっています。また、持駒の飛角を捨てる順序も入れ替わっています。

手順は決して難しくありませんが、僅かな違いで、多面的な対比を生み出す本局の構成は、組局（ツイン）を作るときのお手本と言えそうです。

### 【短評】

#### 真Tさん

2枚の蝗で詰む形を考えればいいので、考えやすかったです。

一マスの違いで蝗の働きが逆になるのがいいですね。きれいにできています。

#### たくぼんさん

これは例のQ2枚の詰上りを目指せばよかったので分かりやすい。

#### 変寝夢さん（※無解）

一路変わっただけで盤が90度回転したかのような印象を受けた。

#### 占魚亭さん

筋違いを上手く活用。

蝗入門にぴったりの作品ですね。

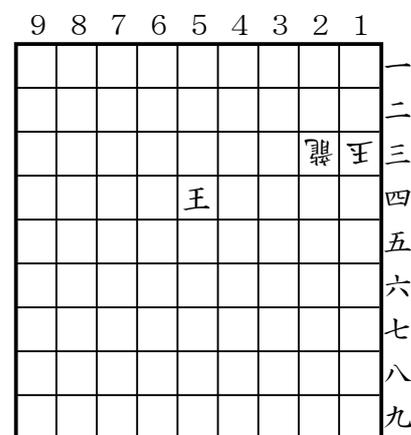
#### はなさかしろうさん

詰みか、でも2枚の間に入れば逃れか…と思ったらやはり詰みでした。

88の蝗が絶好の位置ですね。

### ■ 120-8 上田吉一氏作（正解5名）

#### 協力白玉詰 8手



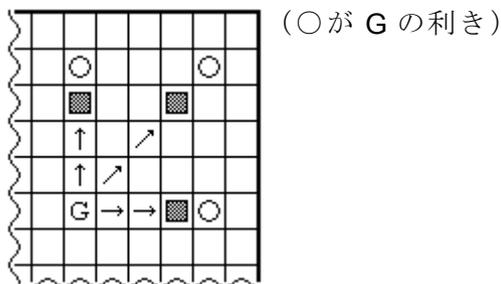
持駒 G

※G:Grasshopper

### 【ルール】

#### •Grasshopper (G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



### (補足)

- 飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。

- ・成ることはできない。
- ・2つ以上の駒は飛び越せない。

【解答】

93G 83角 73G 63桂 53G 43飛  
33G 34龍 まで 8手

(詰上り)

											一
											二
		馬		香		桂	G		王		三
				王		龍					四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

【解説】

119-10と同様、Grasshopper (G) で合駒を発生させながら一間跳びを繰り返す作品。しかし、本局は少し趣が違います。合駒の種類を「飛角角」と「飛香香」に抑え、統一性を持たせた119-10と異なり、本局は「角桂飛」という異なる3種の合駒の特性の違いを味わう作品です。

本局の解図はかなり論理的に行うことができます。

初形を見てください。王手は横からGを打つ手しかありません。それに対する応手も、龍を動かすか、合駒するかを選択しかありません。龍を四段目に動かせば逆王手になるので、この手を最終手に残し、合駒で攻方玉の上下を抑えるという解図方針が立てられます。

問題は合駒の種類と順序です。協力自玉詰では最も防ぎにくい逃走先の対処から考えるのが常道です。本局では飛合と34龍で多くの逃走先を押さえられるので、考えるべきは65地点と55地点の2つだけになります。Gは駒を1枚ずつ飛び越して動くので、合駒できる地点は83と63。ここから65と55に利かすことができるのは、角と桂の組み合わせしかありません。

合駒は協力自玉詰の魅力である反面、合駒選択の煩雑さが、解答者を辟易させてしまう危険もあります。本局は論理的に合駒の場所と種類を絞り込めるので、スッキリした印象です。

合駒で玉の包囲網を作った後は、跳躍台の龍

を活用して「開き応手」で締め。配置に無駄がないですね。これは「合駒」ではないのですが、連続合駒の直後に出てくるので、まるで「移動合」のように感じると思います。

【短評】

真Tさん

間駒(?)の23龍が最後とどめを刺すのが無駄駒なくいいですね。

☆筆者はホッパー系のフェアリー駒で使われるhurdleの訳として主に「跳躍台」という表現を使っているのですが、「間駒」の方がhurdleの持つ「障害物」のニュアンスに近いですね。ただ「間駒」は「合駒」の意味で使う人もいるので、本作品展では「跳躍台」や「台駒」という言葉を使っていこうと思います。

たくぼんさん

合駒の種類が異なるのがいい感じですよ。

変寝夢さん (※無解)

このGの動きはよく見ているのに、合駒が全く同じ物を見ないと奥が深い。

占魚亭さん

詰上りが予想しやすい易しさ。

はなさかしろうさん

119-10の解答発表を読んで、やってみれば良かった、と思ったので今度こそ。何を並べれば詰むのかな、という感じで楽しかったです。



■ 120-9 変寝夢氏作（正解3名）

全Andernach協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
				王					八
									九

持駒 金香2

【ルール】

• 全 Andernach

玉以外の駒は、盤上の移動を行うと、着手後に相手の駒となる。

(補足)

• 細則は Andernach と同様に「駒取り」を「盤上の移動」に読み替える。

- 1) 盤上の移動で二歩になる場合、相手の駒にならない。
- 2) 相手の駒になるのは成生の選択後。
- 3) 盤上の移動では、相手陣二段目への桂の不成、一段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）。

【解答】

59 香 47 玉 49 香 48 角 58 金 56 玉  
68 金転 57 角生転 68 角転 57 角生転  
66 金 まで 11 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
				金	王				六
					角				七
									八
				香	香				九

持駒 なし

【作者のコメント】

舞台装置を作るところまで戻せたのが気に入ってます。

【解説】

合駒を取るのではなく、合駒に取らせるという発想の転換が要求される作品。

駒不足気味なので、合駒を請求する冒頭4手は妥当なところですが、「全 Andernach」なので合駒を直接取る手は王手になりません。

当然考えるべきは開き王手で合駒を取る手です。そう考えて、次の手順に行き着いた方も多かったと思います。

59 香 47 玉 49 香 48 角 58 金 56 玉  
48 金転 66 玉 57 角 56 玉 48 角転 57 角生転  
66 金 まで 13 手

「やった、詰んだ！」と思った喜びも束の間、指定された手数より2手長いことに気付いて肩を落とすことになります。

しかし、気を取り直してください。これは「全 Andernach」です。合駒を取るだけが、攻方の駒を増やす方法ではありません。合駒自身に動いて貰えば、それが勝手に攻方の駒になってくれるのです。

これを利用するのが7手目68金転。取れる駒を取らずに開き王手する妙手です。これに対し角の移動合をすることにより、自然に角を攻方の駒にすることができました。

その後はこの角を使って、受方の駒になってしまった金を回収。再び、攻方の駒に戻して、回収した金でとどめを刺します。上に例示した手順と比べると、玉の移動の2手がない分、早く詰むわけです。

盤上に打った駒を回収する手順は、120-3でも Camel (駱) を回収する手順として登場していました。あちらは AntiAndernach でしたが、原理は同様です。駒の所属変更が頻繁に起こる Andernach 系のルールでは、その性質を活かした未発見の手筋が数多く存在しているのではないかと思います。

【短評】

真Tさん

角合が見えず大苦戦。

手は限られているのに、転は読みにくいです。

**たくぼんさん (※無解)**

59 香 47 玉 49 香 48 合 58 金 56 玉 48 金  
 転・・・ここから 4 手でいいのに解けない。  
 これ以外の筋だったら降参です。

**はなさかしろうさん**

4 手目の合駒を 7 手目に取りることばかり考えて  
 いました。相手に動かさせれば、取るより  
 速く盤上の戦力にできるんですね。



■ 120-10 真T氏作 (正解 4 名)

最悪詰 15手

	と	歩								
飛										
王	銀		飛							
	歩									
王	銀		飛							

持駒 桂 香

【ルール】

• 最悪詰

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王  
 手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように  
 応じる。

(補足)

・「詰める側」と「詰みを防ぐ側」が通常とは  
 逆になっている。このため用語も逆になっ  
 ており、「紛れ」を受方に、「変化」を攻方  
 に使う。

【解答】

95 銀 同角 86 桂 同角左 54 飛 64 角  
 同飛 84 角 83 角 同飛 84 飛 同飛  
 83 角 同飛 95 香 まで 15 手

(詰上り)

	と	歩								
	飛									
王										
香	歩									
王										

持駒 なし

【作者のコメント】

狙いは 2 枚角のスイッチバックです。  
 易しいですが、行って戻るまでを最短の 8 手  
 でできたので満足しています。

先手玉は使用駒数を減らすためだけの配置  
 です。

【解説】

分かりやすい原理で二枚角の往復を実現し  
 た、一筆書きのような作品。

95 香を打つとすぐ詰んでしまうので、攻方は  
 それを避け、受方はその状況に持ち込むよう  
 にして、攻方の息切れを待ちます。二枚角の移  
 動は 95 香で詰むように誘導するのが目的  
 です。

攻方は押し売りされた角を捨てて、何とか引  
 き伸ばしを図りますが、受方は捨駒の角を飛  
 で取り、95 香で詰む状態を維持します。攻  
 方は角が尽きると、95 香を打たざるを得  
 なくなります。

本局は作者の入院時に作られた作品だっ  
 たせいか、変化・紛れが少なく抑えられて  
 います。そのおかげで、易しく楽しい作品  
 を見ることができました。ご本人にとっ  
 て怪我は災難だったと思いますが、私  
 たち解答者、鑑賞者にとっては怪我の功  
 名でした。

【短評】

真Tさん

創作当初は全く違う狙いだったのに、うまく

まとまらないうちに気づいたらこうなっていたことを思い出しました。  
なんと安易な創作法(笑)

#### たくぼんさん

ときどきルールを忘れて4手目同角右が詰まないなあなんて勘違いしてしまいます。角2枚のスイッチバックは流石真Tさんですね。

#### 変寝夢さん

8手目普通に84角だったのが意外。

#### はなさかしろうさん

6手目に何でも取ってもらえる状況になって、さて何にしようかと。角が戻るのは顧みれば自然ですが、盲点でした。

#### 一乗谷酔象さん

持駒の香がなく桂のみなら6手目84角で簡単に詰むのに。角のやり取りがいい感触。



#### 【総評】

##### kzさん

お久しぶりです。「龍の顎」を解いたkzです。  
たぶんWFPは初解答です。  
たまたま立ち寄って、上田吉一さんの名前に惹かれて解いてみました。  
蝗やGの出る問題を初めて解けました。  
たしか初「汎濫」でG王の問題に手も足も出ず、それ以来Gアレルギーでした。  
自分は解答を見ずに自力で解く主義ですが、119-10・11の解答は見てしまいました。  
だいぶ助かりました。  
詰将棋からは随分離れて、解図力はガタ落ちです。  
以前はフェアリーならそこそこ頑張れていましたが、ルールについていけません。  
しかし、新しいルールで解けると特別な快感があるのもフェアリーですね。

☆私の作がGrasshopperアレルギーの原因になったとは申し訳ない限りです。現在のWFP作品展は百鬼夜行状態なので、解けそうなものだけでも解答をいただければ幸いです。新しいルールにも、そのうち慣れると思います。

##### たくぼんさん

何とも情けない解答です。不調だ。

##### 変寝夢さん

最悪詰が実に素直なルールに見える。  
透明駒がさっぱり見えなかった。まあ見えてれば解けてるし、そもそも透明駒でもないか。

##### 一乗谷酔象さん

情けないですが1問解答。  
テレワークも慣れず。

☆今回は皆さん苦戦されておりましたね。作品の難度が高いだけでなく、生活環境の変化が間接的に影響を与えているのかもしれませんが。新型コロナウイルスの流行は、黒船来航のようなものなので、私たちも新しい生活様式に適應していくしかないと思います。

以上

## 東京オリンピック開催？記念作品展解答発表

2020年東京オリンピック開催を記念して作品展を開催しましたが、東京オリンピック、パラリンピックがコロナウイルスの関係で1年延期となっていました。そのせいかどうか分かりませんが（解答期間も2ヶ月とりましたが）解答者数も5名でした。

解答者

橋本孝治、占魚亭、はなさかしろう、一乗谷酔象、たくぼん

### 第1番 神無太郎作

協力詰 23手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		王	王	王					四
									五
		歩	金						六
									七
									八
									九

持駒 なし

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

作者コメント：初形五輪マークのつもりです。

55金 53玉 64金 62玉 73金 53玉 63金  
54玉 64金 55玉 65金 56玉 66金 46玉  
56金 36玉 46金 26玉 36金 16玉 17歩  
15玉 25金 まで 23手



詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		玉				玉			四
							金	王	五
									六
								歩	七
									八
									九

★初形「五輪」です。カシオペア座のようでもあります。74王を除けば余詰多数で、他の駒だと早詰となります。34玉を除けば、45金、43玉～左辺に追って21手の早詰となります。配置は必然かつベストであることが分ります。

橋本孝治

簡潔な配置の金追い。自玉を複数使えば、たくさん駒を置かなくてもコース限定が簡単に行えるんですね。

★自玉をたくさん置いて囲いが創れそうですね。今度やってみよう1

はなさかしろう

シンプルで面白かったです。36で詰ますより端に押し付けた方が早いんですね。

一乗谷酔象

五輪記念に相応しい軽い手順の曲詰

### 第2番 Pontamon作

銅だった 9手×2

会話

「件名が『銅だった』の空メールが来たけどオリンピックの話？」

「9手で詰めた将棋の話なんだ」

「銅と言えば、銅将や酔象の駒がある中将棋の話かな？」

「いや、本将棋で同の付く手を先手から見て金の右隣へ指して詰めたんだ」

「なるほど、金へんに同で銅か。それなら僕も経験あるよ。王手2回だろ？」

「いや、僕は初王手で詰めたんだ」

共通条件

- ・9手で詰み
- ・最終手は同の付く手を先手から見て金の右隣へ指した

共通条件を満たす、王手1回と2回のそれぞれの手順を解答してください。

【王手1回】

76歩 52玉 33角生 51金右 同角生 42銀 72金 62銀 同角成 まで9手

詰上図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科				香		科	皇	一	
	飛	金	馬	王	香		皇		二	
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三	
									四	
									五	
		歩							六	
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七	
							飛		八	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九	

持駒 銀歩

〔王手2回〕

76歩 52金右 33角生 42金寄 同角生 52玉 61金 51金 同角成 まで9手

詰上図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	香	金	馬		香	科	皇	一	
	飛			王			皇		二	
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三	
									四	
									五	
		歩							六	
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七	
							飛		八	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九	

持駒 金歩

★ 一乗谷酔象さんの短評にもありますが、王手1回の手順は、76歩、52玉、33角生、51金右、同角生、72銀、62金 迄7手の順を元にした手順。単体では弱いかもしれませんが王手回数が異なる手順と姉妹作にしたのが良い判断で完成度がグッと上がりました。

橋本孝治

王手2回の方が先に見えました。銅だけに手順もちょっと地味ですね。

はなさかしろう

1段目と2段目の対比が感触良いツインですね。王手2回の金の動きが面白かったです。

一乗谷酔象

王手1回：7手詰の△72銀～△62金の変型。ちょっと考えさせられる。

★とこのまま問題なく終わるかと思いきや、一乗谷酔象さんよりこんな指摘が・・・

一乗谷酔象

王手2回：▲76歩 △52金右▲33角不成△42金寄▲同角不成△52玉▲61金 △51金 ▲同角成 まで9手。※どうしても王手3回になってしまう。2回にはどんなトリックがあるのだろうか。また、王手3回の手順も唯一手順と思われ、これを出題しなかったのも不思議。

作者

おもちゃ箱の年賀推理はオリンピックイヤーのネタで「後手着手が金銀同」の連続着手条件でしたが、WFPでもオリンピックに因んだ作品募集があったので、今度は3手連続での金銀同の着手を作ったのがこの1回王手の手順でした。作っている最中に、金へんに同で銅になるというアイデアが沸いたので、条件を変更したところ余詰手順がありました。「金へんに同」が気に入ったのでツインにしてみました。でも、王手2回の条件での詰みは無く王手3回の不詰み問題でした。申し訳ありません。1回王手の方の単品の条件は「9手目に金の右隣への同が付く手で銀を取って詰めた」でした。（「先手から見て」の語句も必要？）

★橋本さんも、はなさかしろうさんも作意の順を解答されていて3回と気付かれている気配がありません。一乗谷酔象さんに指摘されて私も気付いた次第。これは一体どんな錯覚なのだろう。摩訶不思議な体験です。

### 第3番 Pontamon 作

#### 金銀を取った

会話

「金を取った、銀も取った」  
 「オリンピックでメダルを取ったの？」  
 「いや、将棋だよ。銅は無いけど同の手で金銀を含む3つの駒を取ったんだ。五輪と言えば5筋の手と5段目の手もあったね」  
 「それで結果は？」  
 「駒成はなくて10手で詰めたよ」

条件

- ・駒成なく10手で詰み
- ・同の手で、金銀を含む3つの駒を取った
- ・5筋の着手と5段目の着手があった

76歩 34歩 55角 同角 88銀 同角不成 79金 同角不成 48銀 68金 迄 10手

詰上図

後手の持駒：角銀

香	桂	銀	玉	金	銀	桂	香			
	飛									
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
						歩				
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩		
			歩		銀	飛				
香	桂	銀		玉	金		桂	香		

持駒 なし

作者

一人何作でも投稿可なのがわかって作った作品です。五輪ネタは同じで金銀同ですが、この作品では同の着手で金と銀を取るといふものです。五輪へのこじ付け条件で5筋、5段目着手の条件は手順を限定するためのご愛敬。

★ 5筋5段目の条件が「五輪」をイメージできて上手い条件付けですね。金銀同も同様に好感が持てる作品です。

橋本孝治

餌を撒いて角をおびき寄せせる。取ったというより取らされた？

はなさかしろう

金銀同の3つで、実にオリンピック。難しく考えすぎて、結構悩みました。

一乗谷酔象

55着手2回で解決



### 第4番 Pontamon 作（正解者2名）

#### 五輪4回

会話

「僕は初めてですが、日本でのオリンピックは今回で4回目なんですね」

「64年東京、72年札幌、98年長野。五輪4回を見ることになるとは」

「おっと、成駒の着手がない11手で詰んじゃった」

「五輪4回なんて言ってたら、5段目着手が3～6筋の4回あった」

「5段目着手の次の5段目着手が一度も隣の筋にはならなかったですね」

条件

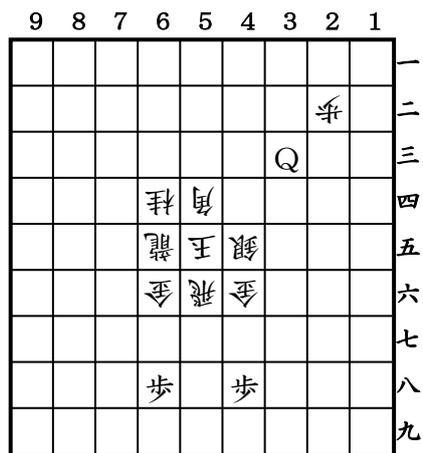
- ・成駒の着手は無く、11手で詰み
- ・3～6筋の5段目着手があり、その着手順が隣の筋にはならなかった



59Q 57 龍 19Q 46 飛 99Q 66 銀  
 95Q 65 金 51Q 54 角 15Q 45 飛  
 19Q 46 龍 59Q 57 銀生 99Q 66 龍  
 19Q 46 銀生 59Q 57 龍 99Q 66 金  
 95Q 65 角 51Q 54 金 33Q 44 飛  
 15Q 35 銀 19Q 37 龍 59Q 56 金  
 99Q 77 龍 19Q 46 銀 15Q 45 飛  
 33Q 44 金 51Q 54 角 95Q 75 龍  
 99Q 66 龍 95Q 65 龍 99Q 66 金  
 59Q 57 銀生 19Q 46 飛 15Q 45 角  
 51Q 54 龍 95Q 65 金 99Q 66 飛  
 19Q 46 銀生 59Q 56 飛 99Q 66 金  
 95Q 65 龍 51Q 54 角 15Q 35 銀  
 19Q 46 飛 59Q 56 金 99Q 66 龍  
 95Q 65 角 51Q 54 金 33Q 44 銀  
 15Q 45 金 51Q 54 角 95Q 65 龍  
 99Q 66 金 59Q 56 飛 19Q 46 金  
 15Q 45 銀 33Q 迄 117 手

詰上図

持駒：なし



持駒なし

★まずは詰上りを見てもらいます。玉の周りの地点（44）へ駒の利きを無くす配置を考えたらこの45銀54角型しかないことに気がきます。45角56銀型でも良さそうですが逆算が出来ませんね。ということでこの初形から45銀54角型を作るべく駒を入れ替えて行く事になります。角は45と65へしか動けませんので大切なのは銀をいかに45まで持って来るかです。初形から詰上りまでの銀の軌跡を書いてみますと65銀→66→75→66→57→46→35→46→57→46→35→44→45銀となります。

不思議なのは一旦35まで行っておきながらすぐに44→45へと行かずに57まで一旦戻ると

ころです。44手目35銀とした局面を見てみますと、

44手目の局面

持駒：なし



持駒なし

この後あれこれ駒を動かしてみると分りますが、この局面では54の地点に角が居て65の駒が66へ動けないとスムーズな位置変換が出来ないことが分ります。

作意90手目の局面

持駒：なし



持駒なし

44手目と90手目の違いは角の位置、龍の位置などですが、90手目からはQ玉を時計回りに回して王手を掛ければ玉の周囲の駒がスムーズに流れることがよく分かります。解後感良しですね。

論理的な解説はちょっと難しいのですが、過去にあった同様の位置変換を主題とした作品は玉の回り8箇所地点での位置変換だったが、本作では銀が75や57、35を通ることや龍が7段目をスライドするなどし、攻め方のQ玉が

3, 5, 7 (段、筋) だけではなく1, 9 (段、筋) を使用するなど幅が広い攻防を為している所が素晴らしいと思います。

橋本孝治

元々は不動玉の周りの駒の入替えパズルをやっていたのですが、入替えを捨駒で行うとすぐに駒が足りなくなるので、Queenを使うことにしました。そうすると複数段を使う入替えパズルができるので、当初の方針を変更して、今回のような複数段の入替えパズルになった次第です。

念のため、本メールに f m による検討結果を添付します。こんな作でも1秒で全検できてしまう f m の能力に驚きです。

★参考の為に。本作の検討結果を載せておきます。(図の部分は省略) 検討できるんですね。

fmp 2.71d (VC++) - Tue Nov 05 21:34:26 2013

/EFIXED\_FROM\_POS=55

/M9=52428800(1000MB), 10=26214400(500MB)

異王 (Q / 玉) 取禁協力詰 117 手

解析時間 : 0 秒 解析局面数 : 40158 検出解数 : 1

解析時間 : 1 秒 解析局面数 : 43327 検出解数 : 1 全検完了

たくぼん

これは苦勞しました。攻めも守るも複数段を使用するのでなかなか思うようにいかない。久しぶりにひたすら流で解きました。詰上がりの角と銀の位置関係は予想がつくのになかなかそこに辿り着けませんでした

★本作の投稿時に手順が未記入でしたので、私が解図して作者にメールにて解答いたしました。



## 第6番 たくぼん作 東京オリンピック組曲

6-1

強欲協力詰 101手

			香	香	香	香		龍	一
	と	香				と	と		二
	歩	香	香		桂				三
	香	香	香	角		香		科	四
香		ス		香	ス		金	ス	五
			金	桂	ス		と	ス	六
		銀		と		香	飛	ス	七
					桂			玉	八
					香	金			九

持駒 なし

17 飛 同玉 16 と 同玉 15 金 同玉  
14 龍 同玉 15 歩 同玉 16 歩 同玉  
28 桂 同馬 17 歩 同玉 28 金 同玉  
37 角 同玉 47 と 同玉 36 桂 同玉  
45 角 同玉 46 香 34 玉 33 と 同玉  
32 と 同玉 31 桂成 同玉 41 香成 同玉  
51 香成 同玉 61 香成 同玉 72 と 同玉  
64 桂 同銀 73 歩 83 玉 94 金 73 玉  
84 金 同玉 75 金 同玉 76 歩 85 玉  
86 歩 同銀 同銀 76 玉 77 銀打 65 玉  
66 歩 56 玉 57 歩 同玉 68 銀 66 玉  
67 歩 76 玉 77 銀引 65 玉 66 銀 56 玉  
57 銀引 55 玉 66 銀 46 玉 57 銀上 45 玉  
46 歩 54 玉 55 歩 同銀 同銀 同玉  
56 銀打 54 玉 45 銀 65 玉 66 歩 55 玉  
56 銀引 44 玉 45 歩 54 玉 55 歩 64 玉  
65 歩 同銀 同銀 55 玉 56 銀打 まで 101 手

詰上図

									一
									二
									三
									四
			銀	玉	歩				五
				銀					六
				銀					七
									八
									九

★組曲の1番「T」。今回の組曲の創作のきっかけは既に本作が在庫にあったという所からです。しかし結構難解なのではないかと思ひ出題をためらっておりました。で今回の企画で残り5作を急遽創りお披露目となりました。しかし一番の難解作が1番初めでしたので解答者には厳しかったかなと反省しております。

52手目の局面

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			馬	馬					四
馬		王							五
									六
		銀							七
									八
									九

持駒 歩8

★この局面から 50 手近く銀と歩のやり取りが続くと言う解答者泣かせの作品

橋本孝治

詰上り「T」。45手目からが本番。52手目で盤上が銀一色になり、筋に入ったと思いましたが、そこからが結構大変でした。銀歩のパズルは強欲協力詰の華ですね。

占魚亭

中盤（終盤？）の銀練りが肝。トップから高い完成度で流石ですね。

一乗谷酔象（無解）

“T”の字を表せず。43手目に64桂で金を取るまではすすい進むが、銀2枚と歩で攻められると思われる後半の展開がわからなかった。



6-2

強欲協力詰 63手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				ス	ス	金			一
					歩	歩	歩		二
					と		歩		三
		銀				歩		桂	四
			馬	歩		香		桂	五
		銀	歩	香	香	馬		桂	六
		歩	ス	ス	歩			歩	七
王	角	歩	歩	馬	香	金	飛	馬	八
	歩					金	銀	桂	九

持駒 なし

- 87 銀 89 玉 78 銀 88 玉 89 銀 77 玉
- 78 銀 68 玉 69 歩 同金 同銀 同玉
- 59 金 同玉 49 金 同玉 39 金 同玉
- 38 飛 29 玉 28 飛 19 玉 18 飛 同玉
- 27 銀 17 玉 26 銀 16 玉 25 銀 15 玉
- 24 銀 14 玉 23 銀生 同玉 33 と 同玉
- 34 香 22 玉 21 金 同玉 31 歩成 同と
- 同香成 同玉 41 歩成 同と 同香成 同玉
- 47 香 同馬 42 歩 同玉 43 歩 同玉
- 44 歩 同玉 45 歩 同玉 46 歩 56 玉
- 65 銀 55 玉 45 飛 まで 63 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			銀	王	飛				五
			歩		歩				六
			ス	ス	馬				七
									八
									九

★特に見所はありません。詰上り時の駒が3枚も初形に配置されているのはちょっといただけですね。

橋本孝治

詰上り「O」。7手目手拍子で78歩としてし

まい2手長くなりました。詰上りが型崩れしているので変だと気付きましたが、危ないところでした。

占魚亭

一気の収束で「O」が完成。

一乗谷酔象

都で"O"。難しいところがない。

6-3

強欲協力詰 67手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王			ス	香	銀		と		一
			香	龍			香	と	二
		銀		金		桂		香	三
	歩					ス			四
					香	ス		ス	五
		ス	香	歩	歩	龍		香	六
		金	銀	と	ス	香	角		七
馬			と	と	銀	香	歩	桂	八
						桂		香	九

持駒 なし

- 61 龍 同金 92 歩 同玉 83 歩成 同玉
- 72 銀生 同玉 63 金 同玉 52 銀生 62 玉
- 61 銀成 同玉 51 金 同玉 41 桂成 同玉
- 45 龍 同と上 31 と 同玉 22 と 同玉
- 12 香成 同玉 45 角 同と 13 歩 同玉
- 14 歩 同玉 26 桂 同と 16 香 同と
- 15 歩 同玉 27 桂打 同金 同桂 同と
- 26 金 同玉 27 歩 同玉 28 歩 38 玉
- 47 銀 28 玉 29 歩 同玉 38 銀 同玉
- 48 と 同玉 47 と 同玉 57 と 同玉
- 66 銀 46 玉 47 歩 56 玉 67 金 同と
- 65 馬 まで 67 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			馬	ス					五
			銀	王					六
			ス	歩					七
									八
									九

★ 不動駒なしはまあまあでしょうが、ありきたりの筋が続くので考え所は少ないでしょう。

橋本孝治

詰上り「K」。59 手目 57 とが少し指しにくい手。詰上り「K」が分かっていなかったら、もっと苦戦したと思います。いつかは取ることになるだろうと思われた「76 と」が最後まで生き残ったのも意外でした。

58手目の局面

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						ス			五
			ス	香	歩	歩			六
			と	銀	王				七
馬			と						八
									九

持駒 なし

★この局面で少々紛れがあります。58 銀なら 56 玉、66 と、同と、65 馬、46 玉、64 馬、56 玉、57 と まで2手超。58 銀に対して 46 玉も 47 銀、同玉、58 と、同玉、76 馬、69 玉、87 馬、79 玉、78 馬 まで2手超。但し詰上りを予想すれば大丈夫だと思います。

占魚亭

気をつけるのは 40 手目の応手くらいでしょうか。綺麗な収束。

一乗谷酔象

59 手目以降の収束でちょっと考えさせられた。初形の馬が駒を取ることなく止めを刺して"K"



6-4

強欲協力詰 73手

	と	と	と	と	と	と	と	と	駒	一
金									と	二
									と	三
香									と	四
桂	銀		歩	科	歩				と	五
歩	歩		銀	角	歩	歩				六
	金	桂	香		馬	歩	歩			七
				桂	歩	香			歩	八
						王	銀		香	九

持駒 なし

28 銀 同玉 37 馬 同金 29 歩 同玉  
 37 香 56 飛 28 金 19 玉 18 金 同玉  
 17 金 同玉 16 と 同玉 15 と 同玉  
 14 と 同玉 13 と 同玉 12 と 同玉  
 11 と 同玉 12 歩 同玉 21 銀 同玉  
 31 と 同玉 41 と 同玉 51 と 同玉  
 61 と 同玉 71 と 同玉 82 金 同玉  
 83 桂成 同玉 74 銀 94 玉 95 歩 同玉  
 96 金 同玉 85 銀 86 玉 75 銀 77 玉  
 66 銀 67 玉 76 銀 58 玉 67 銀 48 玉  
 57 銀 37 玉 46 銀 36 玉 45 銀 同玉  
 56 銀 同玉 46 飛 65 玉 63 飛 54 玉  
 43 飛上成 まで 73 手

詰上図

										一
										二
			飛		龍					三
				王						四
				科						五
										六
										七
										八
										九

★2013年12月 WFP66号で発表した作品に同様の詰上がりがあります。(但し55玉型で全体が1つ上がった形) 終盤に飛2枚で迫るため余詰みやすくギリギリ最後に飛を取る必要があります。

す。

橋本孝治

詰上り「Y」。同様の詰上りは私も使ったことがあります。途中どうやっても詰みそうで意外と一本道。今回の組局では6-6の次に易しい作品でした。

★橋本さんの傑作はこちら

1982年7月 詰パラ フェアリーランド

協力詰 5手

										一
										二
										三
										四
						王				五
						王				六
										七
										八
										九

持駒 飛2

占魚亭

終盤での二枚銀の追跡が見事でした。

一乗谷酔象

73手で収めるのに悩んだ。銀は捌いてしまつて飛2枚で仕上げる“Y”

6-5

強欲協力詰 63手

										一	
			角	飛	歩	歩	歩	と	と	と	二
と			歩	歩	歩						三
と										香	四
				銀						王	五
				銀		歩	銀			王	六
王	歩	飛	入		香					香	七
歩			入	桂	王	歩				王	八
	王				王		歩	桂			九
				馬	香	桂					九

持駒 なし

78 飛 97 玉 98 飛 86 玉 96 飛 同玉  
 95 金 同玉 94 と 同玉 93 と 同玉

92角成 同玉 81飛成 同玉 71歩成 同玉  
 61歩成 同玉 51歩成 同玉 41と 同玉  
 31と 同玉 21と 同玉 12香成 同玉  
 13歩 同玉 24銀 同金 15香 同金  
 14歩 同玉 26桂 同金 15歩 同玉  
 27桂 同金 26金 同玉 27歩 同全  
 17金 37玉 27金 46玉 37銀 同金  
 48香 同角生 37金 同角生 55銀 同玉  
 46金 同角生 47桂 まで 63手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			銀	王	歩				五
			ス		馬				六
			ス	桂	桂				七
									八
									九

★最後の3つの角不成が見せ所。だが初形から最後まで5枚が不動はいただけいな。

橋本孝治

詰上り「〇」。収束の角不成の連続が鮮やか。詰上りが予想できるので、最後は逆算で解きました。そうでないと、53手目37銀は第一感では浮かびません。

占魚亭

金の誘導がポイントですね。

一乗谷酔象

都の「〇」の2局目でTOKYOの完成。これも63手に収めるのに苦戦。吊し桂が一番早いのか



6-6

強欲協力詰 45手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	馬	と				と			一
飛	飛	桂						香	二
	馬						香		三
			と		と	歩		ス	四
			歩	銀	歩		香	銀	五
金	歩			香			歩	歩	六
	桂	歩	歩	馬	と		歩	歩	七
金		馬			桂	ス	ス	馬	八
	ス					桂			九

持駒なし

81と 同飛 82銀 同玉 73と 同玉  
 64銀 同玉 54と 75玉 86金 同玉  
 87金 同馬 98桂 77玉 78歩 67玉  
 57と 同玉 46銀 48玉 37銀 39玉  
 28銀 同玉 29歩 17玉 26銀 同玉  
 17金 25玉 16金 34玉 25金 23玉  
 14金 12玉 13歩 22玉 23金 31玉  
 32歩 21玉 12歩成 まで 45手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	飛						王		一
飛		桂				歩		と	二
	馬						金		三
				と					四
			歩	歩					五
				香					六
	馬						歩		七
桂		歩				ス	馬		八
	ス						歩		九

★初形五輪から煙らすのならともかく、あぶり出しで五輪はやっぱりイマイチ消化不良の感がありますね。それと詰上りが五輪に見えない（笑）のは致命的かもしれない。

橋本孝治

詰上り五輪。これを45度傾けた感じの家紋を連想しました。オリンピックの五輪を描き出すには将棋盤は狭いですね。

占魚亭

盤上に浮かび上がった五輪マーク。来年、無事開催できるといいですね。

一乗谷酔象

駒を残しながらあっさり収束。あれと思ったらお見事、五輪の完成。6題セットで素晴らしい組曲。1番も解きたかったなあ。

【強欲】駒を取る手を優先して着手を選ぶ

【作者コメント】

お約束の強欲協力詰によるあぶり出し組曲です。中には手ごわいのもあるかと思いますがよろしくをお願いします。

【総評】

橋本孝治

作品数は充分ですが、作者数はちょっと少ないですね。来年再び同様の企画があったら「参加することに意義がある」の精神で、多くの作家に登場して欲しいと思います。全題を通してのお気に入りには6-1です。

★今回は予行演習みたいになってしまったので来年はもう一度チャレンジでたくさんさんの参加をお願いしたいと思います

カピタン展示室 No.31 占魚亭さん解答発表

All-in-Shogi協力詰 5手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
						飛	王			四								
									飛	五								
										六								
										七								
										八								
										九								

持駒 金2

All-in-Shogi :

双方とも、自分の手番のときに相手の駒を動かすこともできる。ただし、1手前の局面に戻す手は禁手。

協力詰 (ばか詰) :

先手後手協力して、最短手順で後手玉を詰ます。

相手の駒も動かすことができる All-in-Shogi。おもちゃ箱では年賀詰展示室で登場したことがあります。カピタン展示室では初めて。ということで、本作作者の占魚亭さんに All-in-Shogi 紹介を書いていただきました。

普通の協力詰なら、45金、24玉、34金、14玉、24金打まで詰みですが、All-in-Shogi では相手の駒も動かせるので、33金右とか王手をかわす手があって、この局面は詰んでいません。

では、いったいどうなれば詰みかというのを考えたときに重要なルールが「1手前の局面に戻す手は禁手」です。つまり、元に戻す手以外では王手をかわせないような詰上り局面を作ればよいわけです。

それって、どんな局面なの？と思われた方は、All-in-Shogi 紹介で具体的な例がありますので、参照してみてください。特に(1)の詰上り(左図)が、本作への大ヒントになっています。

これは最終手で相手方の12の玉を13に動かしたところ。したがってルールにより12玉と戻すことはできません。

また、馬を動かして逃げようとしても、どこに動いても香で玉を取られてしまいますから、これで詰上りというわけです。

本作では香も馬もありませんが、飛と金があるので、同じパターンを目指すことができそうです。

まずは飛をどう取るか。最終手35玉で詰ますことを考えると44の飛はそのままにしておきたいところ。15の飛を取りにいきましょう。これは25金、15v金の2手で可能。受方もこちらの駒を動かして手伝ってくれるのが大きいですね。

さあ、あと3手でこのパターンの詰上りを作るには、と考えれば、パッとひらめいた方も多いでしょう。

25金、15v金、37飛、36v金、35v玉 まで5手

詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					飛				四
						王		金	五
						金			六
						飛			七
									八
									九

持駒 なし

なお38飛や39飛は最後37v金があつて詰んでいません。37飛は限定打です。

作者「All-in-Shogiの入門作(のつもりです)。このルールらしさを感じられると思いますが、いかがでしょうか。」

ルールの特徴がよくでた手順。入門にもびったりなのですが、「相手の駒を動かす」という普通はない発想に敬遠した方も多かったようです。いろいろおもしろい作品を作れるルールだと思いますので、まずは本作でAll-in-Shogiの楽し

さを味わってみましょう。

それでは、みなさんの感想を。解答到着順です。

山下誠さん：このルールは攻め方の駒で合駒をするのがどうやら手筋みたい。

占魚亭さん（作者）：自作。「All-in-Shogi 入門」で紹介した変寝夢氏作(5手)が大ヒントだったのですが、気付いた方はいたのかなあ？

小山邦明さん：ルールを理解できていないように解けませんでした。

★初めてのルールはなかなかわからないですね。本作の解説などでわからないことがあれば、おもちゃ箱掲示板やメールで遠慮なくご質問を。

波多野賢太郎さん：このルールの作品は初めてで頭を使いました。多分あっているつもりですが。結構奥が深そうなので、解くのも作るのも楽しそうだなと思いました。

池田俊哉さん：二枚金の詰め上がりを考えたがどうやってもダメ。5手詰で駒取りが入るとは思わず大苦戦、紹介というには高度過ぎたかも

S.Kimuraさん：2手目までは予想できましたが、その後の詰み形が見当もつかず、自力では解けませんでした。最後に王手した駒を受方が動かしてしまうところが難しいですね。

# 推理将棋第126回出題解説

推理将棋第126回解説 担当 Pontamon

桂の着手がある3作品はいかがでしたでしょうか。126回は、初解答の方も居ましたが解答者数は少し減って19名でした。

在宅勤務や外出自粛なのでストレスも多いでしょうが、推理将棋で気分転換しましょう。

\*\*\*\*\*

## 126-1 初級 Pontamon 作

好手 36 桂 9 手

「たった9手で詰まされたよ」  
 「どんな将棋だった？」  
 「36桂の着手が好手だね」

(条件)

- ・9手で詰み
- ・36桂の着手があった

\*\*\*\*\*

出題のことば (担当 Pontamon)

先手が最速で桂を入手する手順は何通り？  
 締め切り前ヒント

21馬で入手した桂を36へ打ちます。後手玉は33で詰みます。

\*\*\*\*\*

推理将棋126-1 解答

▲76歩、△34歩、▲22角成、△42玉、▲21馬、△33玉、▲36桂、△42銀、▲22角まで9手

(条件)

- ・9手で詰み
- ・36桂の着手があった (7手目▲36桂)



詰上り図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	丞		丞		馬	皇	一
	遊				爵		角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	王	歩	歩	三
						歩			四
									五
		歩				桂			六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

桂を最速で入手できるのは4手目の1手順なので、先手は5手目で桂を入手できます。先手の場合は1手順ではなく、先後を逆にした33地点での入手の他、77や97での入手や▲22角成のあとの▲21馬での入手が可能です。桂を打つ場所は36とのことなので、73や93で桂を入手しても攻めることができそうにありません。なので33や21で桂を入手して36へ打つ手順を検討してみます。

もし36桂が最終手なのであれば、玉は24か44地点になるので5段目をカバーする必要があります。一気にカバーできるのは5段目の飛ですが、5手目に桂を入手しては飛の手を指すことはできません。

参考1図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	丞		丞	爵		皇	一
	遊			王					二
歩	歩	歩	歩	歩		馬	歩	歩	三
					桂	歩			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 角歩

となると、36に打った桂を44に跳ねて、2段

目の玉を詰める手順の可能性がありそうです。参考1図は初手から▲76歩、△34歩、▲22角成、△33桂、▲同馬で桂を入手して、その後△52玉、▲36桂、△44歩、▲同桂で王手を掛けた局面です。33の馬が良く働いていて殆ど詰みなのですが、△62銀や△62飛が間に合わず玉の退路が残っていて失敗です。

出題のことばだと先手は最速で桂を入手するのが当然なような言い方ですが、33地点で桂を入手するにしてもタイミングをずらせば違う詰み形がありそうです。つまり、▲36桂は33の玉が中段へ脱出する2地点を同時に抑える手で、▲25桂による吊るし桂の形です。参考2図は、この方針で手を進めたものですが、玉の退路として42が空いていますし、そもそも▲25桂は11手目なので手数をオーバーしてました。

参考2図

後手の持駒：角

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	駒	馬		馬	駒		皇	
二							飛	馬		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	王	歩	歩	
四							歩			
五								桂		
六			歩				桂		歩	
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩		
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀		香	

持駒なし

参考2図の手順：▲76歩、△42玉、▲16歩、△34歩、▲17桂、△33桂、▲同角不成、△同玉、▲36桂、△32飛、▲25桂まで11手

▲36桂が玉の中段への脱出を抑えるもの手というのは理にかなっているように思いますが、それには後手玉は33に居る必要があります。33地点で桂を入手する手順では参考2図のように失敗するので、残る桂の入手方法である▲21馬での桂入手を考えてみます。初手から▲76歩、△34歩、▲22角成、△何か、▲21馬、△何か、▲36桂の手順が浮かびます。前述のように▲36桂が玉の中段脱出を抑える手

なのであれば、4手目と6手目は後手玉が33地点へ向かう手、つまり、△42玉、△33玉のはずですが、先手は残り1手で21に馬と持ち駒が角です。33の玉は通って来た42地点が退路として残っているので42地点を埋める手になります。21の馬は22と32の玉の退路に利いているので、11馬で香を取っての王手だと32地点が空いてしまいます。15や55への角打ちでは歩を突く合いが可能なので、角打ちで王手にするには22地点になります。42地点を埋める駒が飛だと22に利いているし金だと銀が22に利いているので、8手目からは△42銀、▲22角で詰みとなります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

Pontamon (作者)「玉の退路の44地点は桂と角が利いているので、無駄の無い配置という観点なら16桂の方が好手と言えるのかも」

緑衾さん「4四桂で詰ませようとしてダメだったので3六桂は意味のない手かなと思ったのですが、4手じゃ詰みませんでした。」

■「4手」は後手の手数のことですね。参考1図のように62地点が空いています。44桂の最終手だと、33角成で桂を取る場合は先手に1手余って、必要なのは4手になりますが。

NAOさん「24への退路封鎖の筋。27-2や82-1の予備知識があって即詰みしました。」

■なるほど。手順ではなく、最低限必要な詰形とか退路封鎖の筋という観点で覚えるのか...

斧間徳子さん「やさし過ぎるきらいがないでもないが、客寄せにはちょうどいいかも。」

■新しい解答者の参加がありました。

RINTAROさん「瞬殺ですが、1着手条件のみは貴重。」

■条件数は少ないほど持っている情報が多かったり、縛りがきついはず。と言っても中々1条

件にまとめることができる手順を見つけるのは大変ですね。

ミニベロさん「16桂の順はあった気がするが、覚えておきたい形。やはり1条件は貴重品。」

■おもちゃ箱は誌面ではないので文字数を気にすることはありませんが、簡素な会話と条件だと取り組む意欲が出ますね。

ほっとさん「厳しいことを言うと、これは9手1条件「端に桂を打つ手があった」の劣化版。」

■どちらも1条件になるので、詰将棋の会合や研究会で話題になったり、個人のブログなどに掲載があるかもしれません。

S.Kimuraさん「条件から33玉からの収束が見えました。」

■中段には玉を逃さないという条件でした。

原岡望さん「基本の縛り」

■素人の指将棋だと、待ち駒を打ったと非難されるかもしれない手です。

ベベ&ペペさん「ヒントを見てようやく解けました。解けてみれば、なるほどといった印象です。」

■初解答でしょうか。今後も1問でも解けたら解答をお寄せください。感想だけでも結構です。よろしく願います。

神在月生さん「いつもながらの一条件に感心。」

■短手数の場合は縛りがきついで1条件は多いですね。ちなみに7手詰29手順は全て1条件にできますので推理将棋を創ってみようと思う方は試してみると勉強になります。(複数の1条件にすることができる手順もあります)

占魚亭さん「36桂が最大のヒント。初級なので、跳ねて仕留める可能性はなしと決め打ちしました(笑)」

■36桂を打ってから跳ねてもきわどい形にはできませんが...

飯山修さん「16桂でも問題成立かしら」

■はい、成立します。初級なので36桂を明かしていますが、6段目の桂着手はこの2手順だけです。

変寝夢さん「3六桂は遊び手かと思ったが、詰め上がりで大活躍でした。」

■8手詰+遊び手(後手の36桂とか?)も余詰検討には必要。

波多野賢太郎さん「これは素直で解き易かったです。3六桂はたしかに好手でした。」

■端の桂打ちの方がさらに上に行く好手なのかも。

リーグ戦ファンさん「36桂は56桂を消す限定効果も含むものかと思いきや。結果として難易度を増しました。」

■56桂でも詰む手順を考えると、玉は24へは行けないはずだから33で角成して桂を取るという推理。そこからは詰ませることができずに解図の道が閉ざされます。

D Jカートンさん「3六桂がダミー(詰みに影響のない手)だったら5分で投げた。」

■意味のある36桂だったので投げずに済みました。

はなさかしろうさん「36桂といえばこの形。桂を取って打つのは案外手がかかりますね。」

■おもちゃ箱や詰パラでは発表されていませんが、研究しておられるのですね。推理将棋研究のmixi99番には、本間だとまささん、端の桂打ちだとたくぼんさんの条件だけの掲示があります。

津久井康雄さん「条件の36桂から、33玉の形だと見当をつけたら割とアッサリ。」

■初級なのでアッサリと解いていただけて良かったです。

諏訪冬葉さん「最終手桂馬は玉が広いので退路封鎖と予想しました。」

■36 桂が退路封鎖だと予想できれば、あとは狭い後手陣での駒配置の検討になります。

\*\*\*\*\*

正解：19名

緑衾さん NAOさん 斧間徳子さん

RINTAROさん 諏訪冬葉さん ミニベロさん

ほっとさん S.Kimuraさん 原岡望さん

べ&ぺさん 神在月生さん 占魚亭さん

飯山修さん 変寝夢さん 波多野賢太郎さん

リーグ戦ファンさん DJカートンさん はな

さかしろうさん 津久井康雄さん

\*\*\*\*\*

### 126-2 上級 ミニベロ 作

#### 三捨利警部の推理・桂にまつわる 10 手詰

#### 10 手

「警部、10手詰の事件が発生しました。被害者は最初から逃げようとしたようです」

「凶器は何かね？」

「とどめは桂のようです。4手目・6手目にも使われていますね」

「久々なんだから、もっと証拠集めてよ」

「8手目は、桂の頭に痕跡がありますね」

「成る手もなしか。これは難事件だな。久々なんだから、もう少し簡単な事件にしてほしいよ」

(条件)

- ・10手詰
- ・初手は玉
- ・4手目も6手目も10手目も桂
- ・8手目は桂頭
- ・成る手なし

\*\*\*\*\*

出題のことば (担当 Pontamon)

桂成での詰みは多いですが、成る手なしの桂着手で詰む形を推理しましょう。

締め切り前ヒント

4手目は73地点へ、6手目は33地点へ桂を跳ねます。10手目は桂を打つ手ではありません。

\*\*\*\*\*

### 推理将棋 126-2 解答 担当 Pontamon

▲68 玉、△74 歩、▲76 歩、△73 桂、▲33 角不成、△同桂、▲77 玉、△34 角、▲66 玉、△25 桂 まで10手

(条件)

- ・10手詰
- ・初手は玉 (初手▲68 玉)
- ・4手目も6手目も10手目も桂 (4手目△73 桂、6手目△33 同桂、10手目△25 桂)
- ・8手目は桂頭 (6手目△33 同桂、8手目△34 角)
- ・成る手なし

詰上り図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香		銀	金	王	銀		香		
二		飛						桂		
三	歩	歩	桂	歩	歩	歩		歩	歩	
四			歩				桂			
五								桂		
六			歩	玉						
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	

持駒 歩

成る手が無い条件で最終手が桂となると、思い浮かぶのは吊るし桂の形ではないでしょうか。桂の着手条件は4手目、6手目と最終手ですが、この3回だけという条件ではないので、先手の桂も3手目と5手目で跳んで、6手目の後手の桂着手で桂を取り、10手目の桂打ちでの吊るし桂ができるでしょうか？

桂の着手中心で考えて、参考1図は▲36 歩、△34 歩、▲37 桂、△33 桂、▲45 桂、△同桂、▲46 歩、△57 桂成、▲16 歩、△47 桂 の手順の吊るし桂で詰ませたのですが、8手目は△57 桂成なので"成る手なし"をクリアできていません。それに桂頭の手は7手目でした。8手目で桂頭の手を指すなら△46 桂しかありません。この△46 桂で49の玉のこびんを抑えれば△37 桂不成での詰み形が見えますが、7手

目に▲48玉、9手目に▲59金右としても49玉と48飛の2手が間に合いません。

参考1図

後手の持駒：歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	王	王	爵		皇		
二		飛						皇		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六					歩	歩		歩		
七	歩	歩	歩	歩	王	科		歩		
八		角						飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀		香	

持駒 なし

4手目も6手目も桂の着手指定なので桂の2段跳ねで良さそうな手順を考えてみましたが、その手順では8手目の桂頭の着手が難関でした。初期配置の先手の桂頭への着手として△88角不成が手っ取り早そうです。参考2図はこの方針で指していき△57桂不成の吊るし桂で詰めた局面なのですが、実は12手目の局面なのでこれも手数オーバーです。

参考2図

後手の持駒：歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	王	王	爵		皇		
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六			歩	歩						
七	歩	歩		皇	科	歩	歩	歩	歩	
八		皇		飛						
九	香	桂	銀	玉	金	金	銀	桂	香	

持駒 なし

参考2図の手順：▲68玉、△34歩、▲76歩、△33桂、▲59金左、△45桂、▲69玉、△88角不成、▲66歩、△67角、▲68飛、△57桂不成 まで12手

桂頭への桂打ちも△88角不成での桂頭着手もうまく行かないので、他の手順を考える必要があります。▲76歩、△何か、▲33角不成を△同桂で取れば、取った角を8手目に桂頭へ打つことができます。地点は88、34の他に33の桂が6手目に跳ねれば、26、46の可能性もあります。しかし、6手目に△25桂や△45桂としてその桂頭の6段目に角を打っても最終手が桂跳ねであれば角の利きを生かしていません。4手目の△33同桂で8手目に△88角と打つ場合、6手目の桂着手は何でしょう？やはり△25桂や△45桂であれば△88角の手が無駄になりそうです。となると6手目の桂着手は81の桂が跳ねる手しかありません。幸い、2手目が決まっていなかったので、2手目に△74歩か△94歩を突いていけば81の桂を跳ねることができます。この場合は8手目に△34角と打つこともできます。もし、2手目が△74歩で6手目が△73桂なら、左右の桂が中央へ向けて跳ねて来ていて、これに△34角が加われば5段目のかなりの部分をカバーしていますし、33の桂の後ろには角が控えているので33の桂跳ねによる空き王手が見えてきます。手順を整理すると初手から▲76歩、△74歩、▲33角不成、△同桂、▲何か、△73桂、▲何か、△34角、▲何か、△25桂または△45桂です。先手の3手は玉が空き王手で詰まされる地点へ移動する協力手になるので、▲68玉、▲77玉、▲66玉の3手です。最終手△45桂では8手目に打った角の利きを遮るために56地点が玉の退路となるので最終手は△25桂で詰みとなります。

なお、本問の類作となるのはチャンプ作の「66-2 中級 大駒を越えて」です。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

ミニベロさん(作者)「昔流行った居角で4段目の玉を仕留める形のバリエーションの一つ。56をにらむ角は3箇所打てるが、65は最終手が非限定。45は最終手が25だけ。34なら両方飛べて片方は不詰という仕掛け。」

緑衾さん「すぐに解けましたが統一感のある条件が面白いです。出題用というより鑑賞用の問題なんでしょうね。」

■桂使いが得意だと手順が見えやすいのですかね。

NAOさん「詰パラ 425 で最近見た詰形で解きやすかった。そっぽに跳ねる桂が秀逸。」

■共通しているのは、先手の玉形と後手の居角での空き王手ですが最終手は異なります。桂の条件でこの詰形が思い浮かぶとは！

斧間徳子さん「おもちゃ箱 2013 年の#66-2 (チャンプ氏作) と同一手順かつ類似条件だが、完成度は前作の方が上と思う。」

■7年前の類似作品の条件も頭に入っているのですね。すばらしい記憶力。

RINTARO さん「条件より、桂をどんどん跳ねたくなりますが、中段玉で角の利きを活かして詰ますことを考えると正解にたどり着けます。条件が上手いですね。」

■4手目、6手目、10手目が桂と聞くと、4手目 33 桂、6手目 45 桂、8手目 66 角に 10 手目 57 桂成を考えてしまい、他の条件をクリアできなくてがっかり。

ほっとさん「34 角のおかげで最終手が 25 になるのがよい。」

S.Kimura さん「条件から中段玉を予想しました。最後の 25 桂がそっぽに飛んで面白いですね。」

原岡望さん「桂のそっぽ跳びで仕留める」

■桂がそっぽに跳ねるのが作者のねらいでした。

神在月生さん「8手目までの条件を満足する手順がごく少ないにもかかわらず、作意順はなかなか見つからなかった。両方の桂が跳ねるのがミソだった。それにしても、この見事な詰み形は初出なんだろうか。」

■おもちゃ箱では7年前の「66-2 中級 大駒を越えて」にあります。

占魚亭さん「桂跳ねで詰ますのは予想がつき、8手目桂頭の手で詰み形が見えたので、意外と易しかったです。」

■△88 角と打つと▲86 玉なので詰まないところでした。

飯山修さん「詰上がりを見ると 66-2 と同じであるが私が解答を始めたのが 70 回あたりなので既視感がないのに納得」

■担当が参戦したのは 74 回から。当時、過去作品を一気に見たのですが、今は記憶力低下により既視感なしです。

変寝夢さん「ナイスな締め切り前ヒントでした。調子に乗って4五桂とすると失敗ですね」

■「25 へしか桂を跳ねることができなかった」という条件を入れて、17 桂からの 25 桂とか 13 桂からの 25 桂へ誘導しようとした作品を作ったことがあります。△34 角ではなく△45 角になります。

波多野賢太郎さん「これは桂の条件をよく考えてみたら、この詰上がりが思い浮かびました。三捨利警部シリーズ、また楽しみにしています。」

■担当は「さんじゃり警部」と誤読してました。断捨離(だんしゃり)の影響かな。近々、ミステリ警部の登場を予定しています。

リーグ戦ファンさん「この条件でトドメが 25 桂と予想できる人はどれだけいるんですかね？私は問題を一読した段階でトドメの手を5個くらい予想することをよくやるんですけど、今回は駒が限定されているのにカスリもせず。いい味すぎます。」

■条件を見た瞬間に、△73 桂と△33 桂が見えなければ△25 桂は予想できないでしょうね。

D J カートンさん「普通に考えると「桂頭」は 88 しか思いつかない。」

■桂頭が空いたのは 88 ですから、普通はそう思うでしょうね。

はなさかしろうさん「まさに本格、正統派。ミニベロさんの新作を解けるのが幸せです。」

■三捨利警部の難問に乞うご期待！

津久井康雄さん「45 桂ばかり考えてました。25 桂がトボけた味ですね。」

■45 桂は先手玉に迫る手なので自然な流れです。成れるのなら角との連携で 57 桂成の詰みがありますが、そうは問屋が卸さなかった。

諏訪冬葉さん「条件を満たして詰んでいるのですが、最後に王手をかけているのが角なので「凶器は桂馬」という気がしません。(実はこの手順は 66-2「大駒を超えて」と同一です)」

■あさっての方向へ飛ばした手裏剣の後ろからの一太刀。もしくは変移抜刀霞斬り？柔道なら合わせ技一本というところでしょうか。

\*\*\*\*\*

正解：18名

緑衾さん NAOさん 斧間徳子さん

RINTAROさん 諏訪冬葉さん ミニベロさん

ほっとさん S.Kimuraさん 原岡望さん

神在月生さん 占魚亭さん 飯山修さん 変寝

夢さん 波多野賢太郎さん リーグ戦ファンさん

DJカートンさん はなさかしろうさん

津久井康雄さん

\*\*\*\*\*

126-3 上級 緑陰 作

ゾロ目のマス 12手×2

「2局とも 12 手目に持ち駒の角を打たず、盤上の駒移動で駒を取る 2 度目の王手で詰ませてたよ」

「どんな将棋だったの？」

「共通点はやっぱり後手が最初と最後の手以外をゾロ目のマスへ指してた点だね。

それと 11 手目が 6 筋の手で駒成と金の手がなかった点かな」

「ゾロ目のマスって 1-1 や 8-8 のような筋と段の数が同じマスのことだね。じゃあ違う点は？」

「1 局目は初手に 5 八飛と指してたけど 2 局目は 3 手目に指してたよ。詰めあがりも違ってた」

(条件)

・2局どちらも 12 手目に持ち駒の角を打たず、盤上の駒移動で駒を取る 2 度目の王手で詰んだ

・どちらも後手は最初と最後の手以外を筋と段の数が同じマスへ指した

・どちらも 11 手目が 6 筋の手で駒成と金の手がなかった

・1 局目は初手に 2 局目は 3 手目に 5 八飛と指して詰めあがりも違った

\*\*\*\*\*

出題のことば (担当 Pontamon)

最終手はゾロ目マスにある駒をゾロ目マス以外へ動かして駒を取ることにになりますが、打てる駒を持っている必要があります。

締め切り前ヒント

1 局目：△67 桂不成の桂単騎の詰み上がりなので 11 手目は▲68 角です。 2 局目：最終手は△47 桂不成ですが、桂を取った角がそのまま玉の退路をカバーします。

下記の余詰修正をおこないましたが、実際には余詰んでいませんでした。

画面を汚してしまい、作者の緑衾さんには申し訳ないことをしました。申し訳ありませんでした。

会話

修正前 「2局とも 12 手目の駒打ちをせず駒取りにする 2 度目の王手で詰ませてたよ」

修正後 「2局とも 12 手目に持ち駒の角を打たず、盤上の駒移動で駒を取る 2 度目の王手で詰ませてたよ」

条件

修正前 ・2局どちらも 12 手目の駒打ちをせず駒取りにする 2 度目の王手で詰んだ

修正後 ・2局どちらも 12 手目に持ち駒の角を打たず、盤上の駒移動で駒を取る 2 度目の王手で詰んだ

\*\*\*\*\*

推理将棋 126-3 解答 担当 Pontamon

1 局目

▲58 飛、△34 歩、▲48 銀、△77 角不成、▲68 銀、△88 角不成、▲77 桂、△同角不成、▲同銀、△55 桂、▲68 角、△67 桂不成

2 局目

▲76 歩、△34 歩、▲58 飛、△33 桂、▲同角不成、△同角、▲66 桂、△同角、▲56 歩、△55 桂、▲68 銀、△47 桂不成

(条件)

・ 2局どちらも 12 手目の駒打ちをせず駒取りにする 2 度目の王手で詰んだ

(1 局目： 4 手目△77 角不成、12 手目△67 桂不成、2 局目： 5 手目▲33 同角不成、12 手目△47 桂不成)

・ どちらも後手は最初と最後の手以外を筋と段の数が同じマスへ指した

(1 局目： △77 角不成、△88 角不成、△77 同角不成、△55 桂、2 局目： △33 桂、△33 同角、△66 同角、△55 桂)

・ どちらも 11 手目が 6 筋の手で駒成と金の手がなかった

(1 局目▲68 角、2 局目▲68 銀)

・ 1 局目は初手に 2 局目は 3 手目に 5 八飛と指して詰めあがりも違った

(1 局目：初手▲58 飛、2 局目： 3 手目▲58 飛)

1 局目詰上り図

後手の持駒：角歩2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	王	銀	科	皇		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
									六
歩	歩	銀	科	歩	歩	歩	歩	歩	七
			角	飛	銀				八
香			金	玉	金		桂	香	九

持駒 なし

2 局目詰上り図

後手の持駒：角歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	王	銀	科	皇		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
		歩	角	歩					六
歩	歩		歩		科	歩	歩	歩	七
			銀	飛					八
香	桂		金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

攻め方の後手着手がゾロ目マスばかりなら、主役は角で、先手の角を取って 2 枚の角で仕留める手順が浮かんできます。参考 1 図がその例になります。最終手の△88 角引不成が駒取りではないし、ゾロ目マスになっているので条件をクリアできていません。

参考 1 図

後手の持駒：香

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	王	銀	科	皇		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
		歩	歩						六
歩	歩	銀		歩	歩	歩	歩	歩	七
	銀						飛		八
	桂	玉	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

参考 1 図の手順：▲76 歩、△34 歩、▲55 角、△同角、▲78 銀、△99 角不成、▲68 玉、△22 角打、▲79 玉、△77 角上不成、▲66 歩、△88 角引不成

後手はゾロ目マスへの角着手が多くなるはずですが、角以外だと△22 銀や△22 飛も可能だが詰みには貢献できそうにありません。△33 桂の後最終手を△45 桂にするのはどうだろうか。参考 2 図で 11 手目が▲68 銀ではなく▲48 銀なら△45 桂で詰んでいるのですが、この手順でも最終手は駒取りになっていないので失敗。

参考 2 図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	王	銀	科	皇		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
				角	科				五
		歩		歩					六
歩	歩	銀	歩	玉	歩	歩	歩	歩	七
			銀	飛					八
香	桂		金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

参考 2 図の手順：▲58 飛、△34 歩、▲76 歩、△88 角不成、▲48 玉、△77 角不成、▲56 歩、△55 角打、▲57 玉、△33 桂、▲68 銀、△45 桂

後手の自陣の駒を活用することが出来ず、角 2 枚で詰めることができないのであれば、先手の駒を取って利用するしかありません。参考 3 図では、99 の香を取って 55 へ打ち、最終手では 56 の歩を取って詰める手順です。

参考 3 図

後手の持駒：角歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
二		▲								
三	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲
四							▲			
五										
六			▲	▲	▲					
七	▲	▲		▲		▲	▲	▲	▲	▲
八			▲	▲						
九		▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲

持駒 なし

参考 3 図の手順：▲58 飛、△34 歩、▲76 歩、△88 角不成、▲78 飛、△99 角不成、▲58 玉、△66 角不成、▲56 歩、△55 香、▲68 飛、△56 香

この手順だと、初手が 58 飛の 1 局目の手順に見えますが初手の 3 手目の手順前後が可能なので、もしかするとこの手順は 3 手目が 58 飛の 2 局目なのかもしれません。その場合は初手が 58 飛にしかならない 1 局目の手順が存在するはずですが、参考 3 図の手順の初手と 3 手目を入れ替えた手順を確認してみると、王手は最終手の 1 回だけでした。つまり、この手順は 1 局目でも 2 局目でもなかったのです。

香が駄目なので次は桂を取って使う手順を考えます。銀や金を取ってゾロ目マスへ打った場合、その金銀がゾロ目以外へ動いたり角が不成で動いても最終手を支えることができません。その点、桂だと吊るし桂の筋があって、支えの駒が不要な場合もあるので有力な候補になります。

桂を打って、その利きのマスへ角を動かすこと

はできませんので、桂を打った場合は最終手は桂移動の手になります。桂を 6 段目のゾロ目マスの 66 へ打つと最終手は桂成になるので条件をクリアできません。

4 段目の 44 へ桂を打った場合、6 段目の歩を取るようになるので、△56 桂の場合は 57 地点を抑えるための△66 角が必要になるので玉は角が当たっていない 68 に居ることになります。同様に△36 桂の場合は 37 地点を抑える△55 角が居て玉は 48 です。どちらの場合も玉の退路を塞ぐ手が足りません。

消去法により、桂を打つ場所は△55 桂に確定されます。

△55 桂からは△67 桂不成と△47 桂不成が可能です。どちらも居玉を吊るし桂の手筋で詰める形が手数足りそうです。

したがって、それぞれの桂不成で詰む形を考えれば自ずと手順が見えてくるはずですが。

59 に玉、58 に飛が居るので、48 や 68 に頭の丸い桂か角があれば、その筋の 7 段目への桂不成が吊るし桂の形になるはずですが。反対側の 8 段目は銀を上ることになりそうです。

頭の丸い駒と言っても先手が桂を手に入れるのは難しそうですので角になりますが、48 も 68 も筋違いなので先手の角移動ではなく後手の角を取る必要があります。後手は角で桂を取る必要があるため、早い時点で後手の角を取ることは避ける必要がありそうです。また、先手の 11 手目は 6 筋着手の条件があるので、角を入手した先手が 11 手目に▲68 角と打つ展開になりそうです。

初手から、▲58 飛、△34 歩の後、先手は▲48 銀で玉の退路を塞ぎ、次の△77 角不成で 1 回目の王手をさせます。3 手目から▲48 銀、△77 角不成、▲68 銀。後手は桂を取る必要がありますが先手の協力手▲77 桂が必要なため、77 地点を空けますが、最終手で駒を打てる状況にする必要があるため、ここで 88 の角を取ります。▲77 桂に△同角不成で後手は桂を入手し、先手は 11 手目に▲68 角を指せるように▲77 同銀で角を取ります。6 手目から△88 角不成、▲77 桂、△同角不成、▲同銀、△55 桂、▲68 角、△67 桂不成 で詰みになります。

この手順は手順前後が無く初手 58 飛ですので 1 局目の手順になります。

参考 4 図は 1 局目と同様に▲77 桂の協力手を△同角不成で取って最初の王手をした 10 手目までの展開です。後手は次の△47 桂不成で詰ますることができますが、11 手目の先手の 6 筋着手が問題になります。▲66 歩で後手の角を取ってしまうと 48 に玉の退路が出来てしまいます。

参考 4 図

後手の持駒：角

											9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	駒	王	駒	科	皇					皇	科	駒	王	駒	科	皇			一
	歩											歩								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩			歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩		三
							歩										歩			四
				科											科					五
		歩	歩	歩									歩	歩	歩					六
歩	歩		歩		歩	歩	歩	歩			歩	歩		歩		歩	歩	歩		七
			銀	飛										銀	飛					八
香			金	玉	金	銀	桂	香			香			金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

参考 4 図の手順：▲76 歩、△34 歩、▲58 飛、△88 角不成、▲77 桂、△同角不成、▲68 銀、△66 角不成、▲56 歩、△55 桂

11 手目に▲68 銀ができるように▲48 角を指しておくとして下記手順で最終手△47 桂不成で詰めることができますが、最終手の時点で後手には打てるような持ち駒がないので条件を満たせません。(持ち駒の歩は打てる筋がありません)

▲76 歩、△34 歩、▲58 飛、△33 角、▲77 桂、△同角不成、▲同角、△55 桂、▲48 角、△22 銀、▲68 銀、△47 桂不成

参考 4 図の手順では 77 で桂を取った角を 66 へ移動させる手が必要でしたが、桂を取る手が王手になっていなければ▲68 銀を 11 手目に指すことができます。そうすると王手回数が足りなくなるのですが、王手回数の条件のときに出てくる手筋として、▲33 角不成で後手の玉に王手を掛ける手がありました。初手から▲76 歩、△34 歩、▲58 飛、△33 桂、▲同角不成、△同角として、王手 1 回を達成すれば△77 角不成で王

手をする必要がなくなります。しかし、後手は桂が必要なのにその時点で桂を持ち駒にしているのは先手です。そこで 7 手目から、▲66 桂、△同角、▲56 歩、△55 桂 とすれば 11 手目に▲68 銀が可能となり、最終手△47 桂不成で詰みとなります。(後手には角の持ち駒があるので最終手で駒打ちが可能)

斧間徳子さんから指摘があった手順は下記の通りです。33 で取った桂を 66 で後手に渡すのではなく▲78 桂と打って最終手の 77 での角成を可能にしています。99 の角を引いても詰みです。

【指摘手順】：▲76 歩、△34 歩、▲58 飛、△33 桂、▲同角不成、△同角、▲78 桂、△99 角不成、▲77 桂、△55 角、▲68 玉、△77 角上不成まで 12 手

▲78 桂の好手に眩暈を起こして、最終手の△77 角上不成が条件をクリアしていないことに気がませんでした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

緑衾さん(作者)「プルーフゲームから着想を得ました。単騎詰の手順は Pontamon さんに指摘されたものです。」

■連立ツインではなく姉妹にされましたが、条件が別々になるので元々の作意の 2 局目だけでの出題でも良かったという感想も届いていました。余詰でなかったのに、後手が角を持っていることを明かすことになり、本当に申し訳ありませんでした。

NAOさん「(初回解答時) 吊し桂を目指したら詰形が三つ以上。

(再解答時) 2 局目の初手と 3 手目入れ替えると 1 局目条件が成立。両局の詰上がり異なることから、各々手順が確定する仕掛けが作意と思われる。元々余詰の 1 局目を救済した感があり、ツインとしては後味が悪い。2 局目単独で十分楽しめると思う。」

■2 局目の解答が 3 つあり、初王手での詰みと後手の持ち駒なしの詰みは条件をクリアできていませんが作意順の解答を取って正解としました。(作意順だけの再解答が担当宛てへ届いてい

ました)

斧間徳子さん「1局目は、後手77角が居座ったままだと先手の11手目が指せないのがミソ。2局目は、7手目と9手目の手順前後が効き、また10手目の角打ち場所も非限定なので余詰め手順でしょうか？」

■余詰めでは無かったのですが、「余詰めでした」と連絡させていただいた責任上、正解扱いといたしました。

RINTAROさん「1は容易。2に悩まされた。どれもきわどく詰まない。4手目が88角不成しかなないように見えるからだ。先入観を捨て、33桂の時間差攻撃に気付いたが、どうもすっきりしない。なぜなら、条件が非常に分かりにくいからだ。仮にこれが正解だとするならば、1回目は先手の王手も可というのが、条件からは読み取れない。広義ではそうなのかもしれないが、私自身は、これは叙述トリックではなく、条件の瑕疵だと思っている。ときどき、陳腐な叙述トリックによるミステリーを見かけるが、こんなところで遭遇するとは思わなかった。1回目も後手の王手で成立してほしかった。解後感是最悪でした。」

■推理将棋では先手や後手の指定がなければ、成や不成の回数とか王手回数、着手する駒(大駒とか駒種の指定)など全てはその対局中の手が対象になっています。

ミニベロさん「1解目に初手58飛を使ってしまい、2解目が行方不明。際どい紛れが満載で、余詰つぶしが大変だったと思う。おかげでたっぷり楽しめたが、条件はやや煩雑。」

■3手目58飛の条件の2局目の単品で良かったのかもしれない。

ほっとさん「11手目6筋、という条件がいろいろな余詰筋を消している。2解の対比も綺麗で見事。それだけに会話文はもっと推敲してほしい。

「盤上の駒移動で駒を取る」は単に「駒を取る」でいいし、

「駒成と金の手がなかった」のような、「と」「金」が続くのは避けるべき。」

■11手目6筋だけだと、▲68金、▲78銀、▲69銀の筋があるので金着手なしになりました。

S.Kimuraさん「(1局目)67桂成の収束は考えたのですが、77角が必要と思いついていました。桂馬なので単騎詰を思いつくべきでした。(2局目)後手の桂馬で詰ますという発想が全く思いつきませんでした。」

■最終手はゾロ目マス以外なので桂跳ねができました。

原岡望さん「(1局目)またもトーチカ(2局目)桂の取引とはトリッキー

条件修正の意味がいまいちよく分かりません。駒取りならば動かすに決まっているのでは？

また初手58飛で2解の方がすっきりするのは？

2と3とはまたもヒントさまさま」

■作者からは2解の希望がありましたが、おもちゃ箱では姉妹ツインと連立ツインの出題しかないらしいのでツインにいただきました。紹介した連立ではなく姉妹ツインになったので2局目の単品だけで良かったですね。条件修正は不要で、担当の失策でした。申し訳ありません。

神在月生さん「一つだけの条件違いでうまくツインにしましたね。二局目は、後手の桂を活用するところと、王手が後手へのものがあるということ、がポイントでした。」

■先手の桂を取って使うのではなく、後手の桂を取ってから渡すやり取りがあっても12手でおさまっています。

占魚亭さん「詰み形の予想は容易で、角と桂を手持ちにする手段が考え所。なかなか上手いツインでした。」

■駒成なしの条件でゾロ目マスの着手指定があるので、玉に迫るのが難しいので吊るし桂が浮かびます。

諏訪冬葉さん「(1局目)ヒントを見るまで角を取らせる手は見えてませんでした。(2局目)角でふさげる退路は48だけだとすると桂馬を66で取らせる・・・」

■後手は最終手の時点で駒打ちできる駒を持っている必要がありますが、1局目は11手目の6筋着手のために頭の丸い角を取っておく必要がありました。

飯山修さん「頭が固くて桂は77で取る事から抜け出せず、今回は余詰順で解答しようと考えた。ところが66角56香で詰ます筋がうまくいかない。4手目で1手パスの順を考えていると突然33桂が出てきた。イヤー情けない。結局余詰順わからず」

■すみません、余詰ではなかったのに余詰手順探索に時間を使わせてしまったようですね。

波多野賢太郎さん「(1局目)こちらの方が先にわかりました。ただ、7七の角に6七の桂での詰みだと思ったので少し悩みました。(2局目)こちらは相当悩みました。2度目の王手で詰み、というのは先手の初王手後の後手の初王手でも良いんだと思うのですが…。この詰上がりももちろん見えてはいたのですが、7七桂を後手角で取る筋ばかりを考えてしまいました。」

■桂を33で取って66で渡すというやり取りが気づき難い。

リーグ戦ファンさん「(1局目)「11手目が6筋、12手目は駒取り」これだけで相当沢山の余詰を消してます。サスガ。(2局目)2局目、たしかに「王手2回」ですね…大好きな叙述トリックに、見事に振り返りにあいました。」

■最終手の駒取り条件では△55香からの最終手△56香で歩を取る筋がありますが王手は1回。王手回数条件が必要でした。

DJカートンさん(1局目のみ)「3-2は5分で(11手目6筋の手が)見えなかったのでリタイア。」

■後手が2回王手する筋で考えると11手目6筋の着手が困難になります。△77角に▲68銀を指していることになるので。

はなさかしろうさん「本問はいろいろたいへんそうだったので素直にヒント待ちしました。」

■余詰手順も探ってたのでしょうか。

津久井康雄さん(1局目のみ)「(2局目)ギブアップです」

■2局目は皆さん苦労されたようです。

\*\*\*\*\*

両問正解：15名

緑衾さん NAOさん 斧間徳子さん

RINTAROさん ミニベロさん ほっとさん

S.Kimuraさん 原岡望さん 神在月生さん

占魚亭さん 諏訪冬葉さん 飯山修さん

波多野賢太郎さん リーグ戦ファンさん はな

さかしろうさん

\*\*\*\*\*

1問正解：2名

DJカートンさん 津久井康雄さん

\*\*\*\*\*

総評

緑衾さん「今回はすぐ解けました。前回とはかかった時間が確実に2桁以上違っているはずですよ。」

■難問だったとの感想が多かった上級の作者なので、初級と中級だけなら解図に必要な時間は前回とは雲泥の差だったことでしょう。

斧間徳子さん「今回は類作や余詰作があり、ちょっとすっきりしない印象でした。」

■短手数のおいしい手順は殆どが既出なので条件違いの作になりがちです。

RINTAROさん「以前、条件が複雑で理解不能な問題がありましたが(99-2)、その問題を思い出しました。私は、詰将棋と同じように推理将棋も数学的に考えているので、条件の曖昧さは排除していただきたいと思っています。条件の曖昧さで勝負する作品は嫌いです。詰将棋にも無駄合等の曖昧な部分はありますが、それは出題時に明示されます。それどころか、その曖昧さを作者はできる限り排除しようと努めます。曖昧さが残る作品は、作品として認められなくなってきました。その部分も含めて、推理将棋なのかもしれませんが、感嘆できる叙述トリックばかりではないということをお伝えしたい

です。」

■誤解釈されないような表現を心掛けて行きたいと思います。

S.Kimura さん「初級と中級は自力で解けましたが、上級は直球のヒントに助けられました。」

■考え処は残してあるのですが甘過ぎましたか。出題中の127回は予定しているヒントを変更して辛目にしようかな。

原岡望さん「詰パラ苦戦中」

■担当は、詰パラを通勤時間に解いていたのに在宅勤務になって解くのも解答送付も忘れてました。

神在月生さん「振り返って見れば、3作共に桂が主役だった。」

■投稿が少し増えて来たので、担当作を補填して裏テーマの選題ができる時もありそうです。

占魚亭さん「久しぶりの全解。復調の兆しだといいのけど……。」

■出題中の127回も全解を期待しています。

諏訪冬葉さん「上級は完全にヒント待ちでした。」

■上級のヒント待ちで初級と中級は解答送付済みと勘違いされたのでしょうか。上級の解答しかなかったようです。

※TETSU の見落としで、初級と中級の解答も届いていました。すみません。

飯山修さん「外に出歩けない環境だからこそ詰将棋を解くには絶好なのになぜか推理将棋に時間を使う日々です」

■在宅勤務で推理将棋に時間を使えると思ったのですが、起床即仕事のパターンになってしまってます。

変寝夢さん「2問解けてホッとしました。締め切り前ヒントに感謝。」

■ヒントを活用してください。ヒント投入後は初級程度になるように心がけています。

波多野賢太郎さん「今回は初級、中級はスイスイ解けたのですが、最後で大いにハマりました。上級はちょっと条件がややこしかったですが、ゾロ目の手というのはなかなか面白かったです。」

■条件数が多くなっても簡潔表現が良いですね。ゾロ目着手は余詰が出易い印象があります。

リーグ戦ファンさん「今回桂跳ね・叙述トリック・意外なトドメ、実に私好みでした。」

■意外なトドメには、詰上がりの形も含まれているかと思います。多くの作者の最大の関心事は意外性でしょうね。

\*\*\*\*\*

推理将棋第126回出題全解答者： 19名

緑衾さん NAOさん 斧間徳子さん

RINTAROさん ミニベロさん ほっとさん

S.Kimuraさん 原岡望さん ベベ&ペペさん

神在月生さん 占魚亭さん 諏訪冬葉さん

飯山修さん 変寝夢さん 波多野賢太郎さん

リーグ戦ファンさん DJカートンさん はな

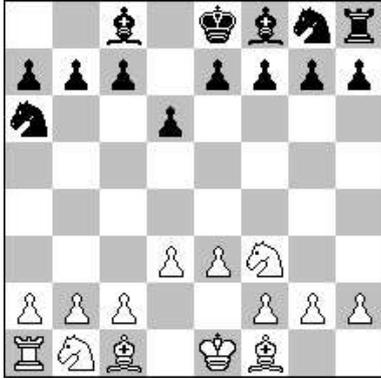
さかしろうさん 津久井康雄さん

\*\*\*\*\*

# レトロプロブレム入門(5)

高坂 研

(13) Martin Wolfgang Hoffmann  
(Die Schwalbe 122 04/1990)



Proof Game in 8.0 moves (14+14)

なくなった駒は双方とも Q と R。特に R は自陣から出られないので、何かで取りに行く必要があります。となると、R を Q で取るのが最も効率が良く、その為には B が邪魔なので移動して貰わないといけませんね。

ここまで分かれば、後は簡単な試行錯誤で解決する筈。作意は 1.e3 d6 2.Ba6 Bh3 3.Qg4 Qd7 4.Sf3 Qb5 5.Rf1 Qxf1+ 6.Bxf1 Sa6 7.d3 Rc8 8.Qxc8+ Bxc8 です。作者の狙いは勿論、双方 B の最遠 switchback。短手数で無駄な装飾もない簡潔な表現には好感が持てます。

2 枚の駒による switchback の作例を、もう一つ紹介しておきましょう。

(13-a) Roberto Osorio  
(StrateGems 10-12/2007)

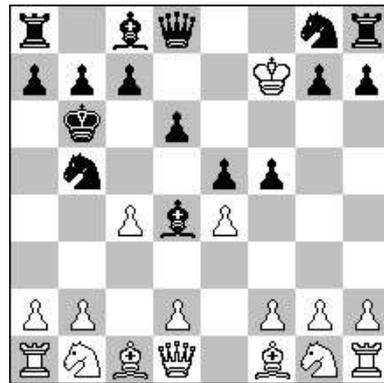


Proof Game in 12.0 moves (16+14)

作意は 1.Sc3 c6 2.Sd5 Qa5 3.Sxe7 Qa3 4.Sd5 Bb4 5.Sf3 Se7 6.Se5 0-0 7.Sxd7 Rd8 8.Se5 Be6 9.Sc3 Rd4 10.Sb1 Bc3 11.Sf3 Ra4 12.Sg1 Bc4 というもの。

白は S しか動いていないことが明らかですが、こちらにも 2 枚の switchback が明快に表現されていますね。

(14) Michel Caillaud  
(Problemesis 1998, 4<sup>th</sup> Com.)



Proof Game in 11.5 moves (16+16)

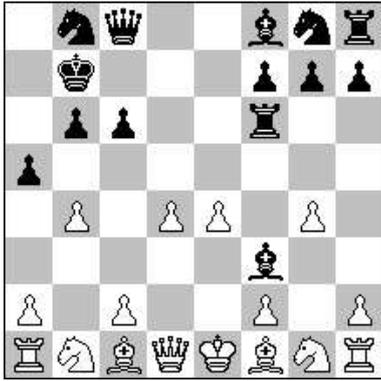
手数計算をすると、盤面に配置されている駒だけで白は 8 手、黒は 11 手指したことが分かります。白 K は明らかに d5-e6-f7 と侵入していますから、黒 Bc8 の利きを止める駒が必要です。しかし黒には 1 手の余裕もありませんから、白は d7 に何か自分の駒を置かねばなりません。白に 4 手の余裕があることを考慮すれば、それが Q か B であることは明らかですね。ここまで考えたら、後は実際に駒を動かしてみた方が早いでしょう。

作意は 1.e4 e5 2.Ke2 Bc5 3.Kd3 d6 4.Kc4 Kd7 5.Qg4+ Kc6 6.Qd7+ Kb6 7.Kd5 f5 8.Ke6 Sc6 9.Kf7 Sd4 10.Qa4 Sb5 11.c4 Bd4 12.Qd1 となります。

白 Q によって盤上に描かれた正方形の軌跡(g4-d7-a4-d1)が、実に鮮やかですね。

このように、幾何学模様の軌跡を描いて初形位置に戻ることを **Rundlauf** と呼び、これまた Proof Game では頻出のテーマです。特に、本作のように駒取りなしでの Rundlauf は Quiet Geometrical Circuit とも呼ばれているようです。(勿論、駒取りなしだと創作難度がぐっと上がります)

(15) James Soliman  
(StrateGems 49 01-03/2010)



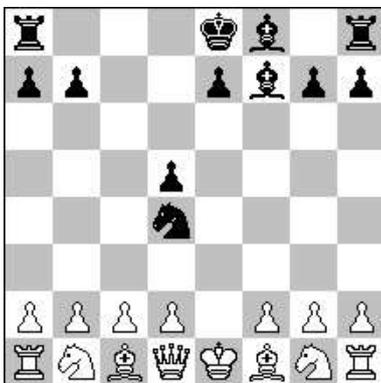
Proof Game in 11.5 moves (16+14)

黒の手はちょうど 11 手で、1 手の余裕もありません。よって Pd7,e7 はいずれも不動のまま取られています。一方白の手は P による 4 手のみ。残り 8 手で 2 枚の黒 P を取る為には…？

勿論、使うのは一番足が長い B です (Q だとチェックがかかる為不可)。後はどちらの黒 P を先に取りのべきか考えることとなりますが、黒 Q が d8 にいたままでは d7 の黒 P は取れませんね。よってまずは、Pe7 を取り除くこととなります。後は実際に駒を動かせば、作意が見えてくるでしょう。作意は、1.d4 a5 2.Bg5 Ra6 3.Bxe7 Rf6 4.Ba3 b6 5.b4 Bb7 6.Bc1 Bf3 7.e4 Qc8 8. Bb5 Kd8 9.Bxd7 c6 10.Bh3 Kc7 11.g4 Kb7 12.Bf1 となります。

単純な意味付けで、嫌味なく 2 枚の B による Rundlauf を実現していますね。

(16) Michel Caillaud  
(Probleemblad 06/2000)



Proof Game in 7.0 moves (15+12)  
2sols.

なくなった駒は白が P のみで、黒は

QSPP の 4 枚。また、黒の方は盤面配置だけで最低でも 5 手指しています。しばらく眺めていると、e 筋の白 P が駒取りをしてからプロモーションし、最後にそれが黒に取られたというシナリオが見えてきますね。

なるべく多く白 P で駒取りしようとするれば、e5-d6-c7-b8 というルートが浮かんできます。この場合、Qd6 で 1 手、また Sd4 が g8 にいたものだとすれば 3 手かかりますから、手数もぴったりです。よって、最初の手順は 1.e4 d5 2.e5 Qd6 3.xd6 Sh6 4.xc7 Sf5 5.xb8=Q Sd4 6.Qf4 Be6 7.Qxf7+ Bxf7 となりますね。では、これと対になる手順はどういうものでしょう？

白 P が e6-f7-g8 と進んで g8 の S を取るのは、途中でチェックがかかるので無理のようです。そうすると、やはりこの黒 S に出てきてもらう必要があります。黒 Sd4 が b8 のものだった場合、黒には 2 手の猶予がありますから、g8 にいた黒 S が取られた場所は d5 に確定です。すると、白 P が d5-d6-c7-d8 と進む順が浮かんできます。黒 S を d4 で取る為に白 P は single step する必要がありますが、d8 で S に成れば f7 へは 1 手で行けますので、ちゃんと帳尻が合っています。よって、2 番目の手順は 1.e3 Sf6 2.e4 Sd5 3.xd5 Sc6 4.d6 Sd4 5.xc7 d5 6.xd8=S Be6 7.Sxf7 Bxf7 となります。

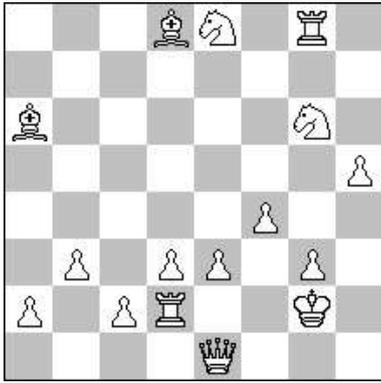
白 P や黒 S の動きに対照性があり、短手数の複数解としてはほぼ理想的な仕上がりと言えるでしょう。流石は Caillaud ですね。

このように、途中で成駒が発生したが、それが手順中に取られてしまっているというテーマを **Ceriani-Frolkin theme** と呼びます。様々なバリエーションがあり、これまた Proof Game では頻出のテーマです。



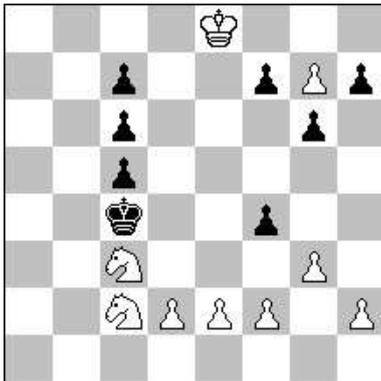
では、今月の出題です。

(17) Filip S. Bondarenko  
(Rex Multiplex 20, 1987?)



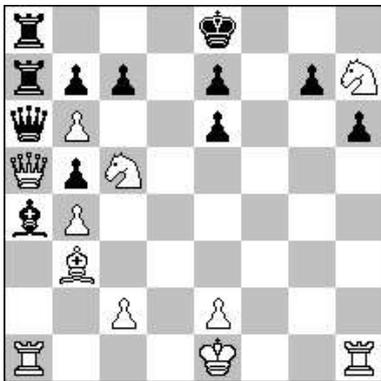
どの駒も取られることがないように、黒駒を 16 枚追加せよ(16+0)

(18) Luigi Ceriani  
(Chess Amateur 1929, HM.)



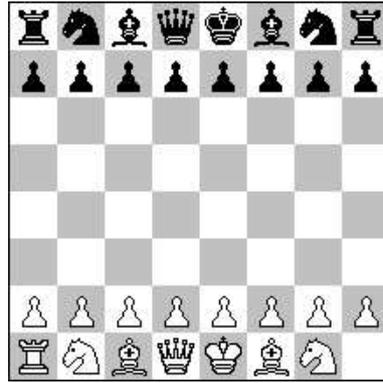
白 B を 1 枚加えて、#1 にせよ(9+8)  
b/c)全ての配置を 1 筋/2 筋左にずらしてから、白 B を 1 枚加えて#1 にせよ

(19) Henry Anthony Adamson (The  
Problemist Fairy Chess Supplement 1932)



#2 (11+12)

(20) Thomas Rayner Dawson  
(The Chess Amateur 02/1927)



現在黒番である。黒が必ず指している手は何か？(15+16)

<余談その1>

新型コロナウイルス、なかなか収まりませんね。観戦予定していた音楽イベント、スポーツイベントがことごとく中止、延期になって残念です。9月に福岡で開催予定の詰将棋全国大会にも参加するつもりですが、大丈夫でしょうか。

<余談その2>

黒色または白色に塗られるマスが縦3横3の合計9個並んだ盤面を用意する。初期盤面はすべてのマスが白色である。操作として、任意のマスを指定すると、そのマスとそのマスの縦横に隣接するマスの色が反転する（黒色であれば白色に、白色であれば黒色になる）。初期盤面から始めて順にマスを指定することで、512通りのすべての盤面を作成できるか？

問題編で言及した上記「反転マスの問題」に関連して、あれこれ調べた結果をまとめてみました。

興味がある方はここを見てください。

<http://cavesfairy.g1.xrea.com/pvt/rev/>

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【自玉詰】

攻方は自玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

【スタイルメイト】

王手は掛かっているが合法手のない状態にする。

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。このImitatorが駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

[補足]

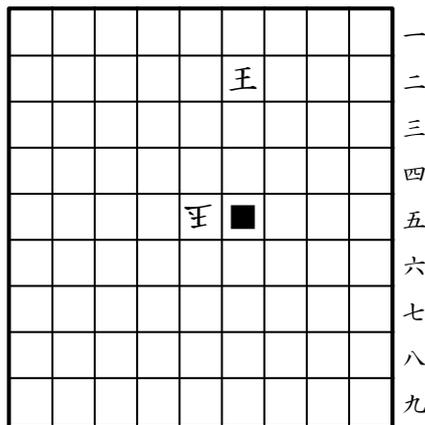
駒を打ったときは動かない。

<問題>

【5-1】

協力自玉スタイルメイト6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂

47 桂 53 桂 同王[I56] 64 飛 67 桂 44 飛  
 まで 6 手

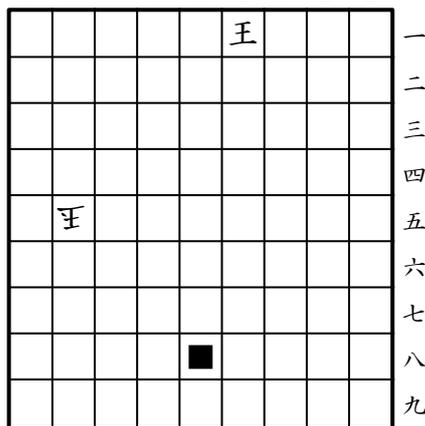
占魚亭  
 綺麗な最終図。

※実は「第50回神無一族の氾濫」(お題は「対称性」)に応募して落選した作です。

【5-2】

協力自玉スタイルメイト6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 角

76 角 67 角 同角[I49] 58 飛 96 角 38 飛  
 まで 6 手

占魚亭  
 飛車の使い勝手のよさが分かる。

※大駒総出動がちょっといいかなと。

【5-3】

協力自玉スタイルメイト 8手

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							王		八
■						王			九

持駒 桂

39 王[I89] 17 玉[I78] 29 桂 66 角  
 49 王[I88] 28 玉[I99] 39 王[I89] 37 玉[I98]  
 まで 8手

占魚亭

37 玉[I98]で STM にするための下準備。今回のベスト。

※王のダンスは楽しいと思います。

<余談その3>

大分スペースが余っているのでさらに余談を。「反転マスの問題」と同じ 3×3 のマスを使った問題に「駒の入れ替えパズル」があります。今は懐かしい NIFTY-Serve というパソコン通信の詰将棋関係の会議室でも話題になりました。

3	2	1	
金	玉	金	一
銀		銀	二
歩	歩	歩	三

3	2	1	
歩	歩	歩	一
銀		銀	二
金	玉	金	三

上の左図の状態から駒を動かして最短手数で右図の状態にするという問題です。これは一例で様々な使用駒や駒配置が考えられますが、当時すでに加藤徹さんが一定条件下で全検されていて、その成果は Onsite Fairy Mate の資料集で公開されています。

NIFTY-Serve の会議室のログを見ると、加藤さんは「完全検討するプログラムでは時間がか

かりすぎるので、最短手数だけを高速に求めるプログラムを作ってみました。」と書かれています。当時は「手順は分からないが最短手数は分かる」というのはどういうことなのか分からなかったのですが、先日これらプログラムを自作してみてもやっと理解できました。

以下、私の「完全検討するプログラム」の実行例です。手順は空マスの位置(右図参照)で表しています。この仕様も NIFTY-Serve の会議室でのものをマネしています。なお、私の「最短手数だけを高速

3	2	1	
0	1	2	一
3	4	5	二
6	7	8	三

に求めるプログラム」の実行結果も加藤さんの結果と一致しています。(ただし「騎」未使用の範囲)

piece exchange problem 0.7 - pep 3 0 3 4 9  
 4 6 6 6 10[delta]

+-----+	+-----+
金玉金	歩歩歩
銀・銀	→  銀・銀
歩歩歩	金玉金
+-----+	+-----+

depth = 10  
 solutions = 0  
 tested nodes = 1140  
 processing time = 0:00:00

depth = 20  
 solutions = 0  
 tested nodes = 257984  
 processing time = 0:00:00

depth = 30  
 4 1 0 3 6 4 1 5 4 0 3 1 5 8 4 1 2 5 4 1 3  
 4 8 5 1 4 7 6 3 1 4 in 30 moves  
 4 7 3 0 1 4 7 5 2 4 3 7 4 5 8 7 4 2 5 7 3  
 6 4 5 7 4 0 3 6 7 4 in 30 moves  
 least moves = 30  
 solutions = 2  
 tested nodes = 59664632  
 processing time = 0:00:03

processing time = 0:00:03 in total

「第52回神無一族の氾濫」(お題は「ルールの回避」)に応募した作品群です。他の応募作が採用されたので(つまりこれらの作品は落選したので)ここでお披露目する次第です。

どこかで見たことがあるなあ、というような作品群なので落選はある意味当然なのですが、これだけ並べるとそれなりに意味が生じるかもしれません。

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【マドラシ】

同種の敵駒の利きに入ると、利きがなくなる。ただし、玉は除く。

[補足]

- ・玉にもこの規則を適用する場合は「Kマドラシ」と表す。
- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する。
- ・利きが消えるかどうかは「本来の利き」に入るかどうかだけで判断する。例えばAとBが互いに利きを消していて、新たなCがその本来の利きに入っても、利きは消える。「すでにABの利きが消えているからCの利きは消えない」とは解釈しない。

<問題>

【r1-1】

マドラシ協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							香	王	一
									二
							龍		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【r1-2】

マドラシ協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
							金		五
								王	六
							香		七
									八
									九

持駒 香

【r1-3】

マドラシ協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一	
									二	
									三	
									四	
							銀	銀	王	五
										六
										七
										八
										九

持駒 香

【r1-4】

マドラシ協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	王	一
								香		二
								龍		三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

# Fairy TopIX2019投票結果

2019年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、高坂研、青木裕一、神無太郎、変寝夢、橋本孝治、縫田光司、占魚亭、ミニペロ、はなさかしろう、上谷直希、酒井博久、NAO、一乗谷酔象、たくぼん（敬称略）以上14名でした。昨年は10名でしたので微増となりました。投票頂いた方々にはお礼申し上げます。

2019年にネット上で発表された候補作は、短編132作（前年99作）、中編20作（前年18作）、長編20作（前年16作）、推理将棋（短中長）32作（前年21作）、の計204作（前年154作）でした。総数は昨年より50作増。部門別ではフェアリー作品短編、推理将棋が特に増加しました。推理将棋は詰将棋メモ出題が復活したのが大きいですね。

では各部門別に発表します。申し訳けありませんが敬称は略させていただきますのでご了承下さい。

## 【短編部門】

投票者：高坂研、橋本孝治、変寝夢、占魚亭、縫田光司、青木裕一、酒井博久、一乗谷酔象、上谷直希、たくぼん 計10名

短編部門、1位は上谷直希さんの透明駒入り協力詰が入りました。3位にも同氏の透明駒入り協力詰が入り作者の充実ぶりが窺えます。2位には青木裕一さんの最善詰が入りました。目先のちょっと異なる作品で目新しさが光りました。

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題年月、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は一覧の番号順に記載しています。



🌸 1位 短 94 上谷直希 2019/11  
第117回 WFP 作品展 117-11

17pt

協力詰 5手

								王	銀	
								銀		

持駒 なし

※透明駒：攻方2枚、受方2枚

31 銀生 41 玉 22 銀生 32 玉 31 銀成 まで 5手

(詰上り)

								全	X	X
								王		X
								銀		

持駒 なし

※12は飛(龍)、11飛(龍)または21飛

## 受賞コメント 上谷直希

1位とは望外の結果です。皆様ご投票ありがとうございました。だいぶ前から手元にあった素材です。年単位で放つたらかしにしていたかもしれません。はじめは欲張って盤面2枚でできる構図を探して延々とこねくり回したように記憶しています。いよいよ無理だと諦め盤面3枚の構図を考え始めるとすぐこの図に至りました。欲張りすぎはいけませんね。

マイブームというやつでしょうか、最近の私は透明駒のことばかり考えています。また新作を出せるように頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。

★ 例年短編部門は、投票者の好みで票が割れる傾向にありますが、本作には1位票3名を獲得し17ptでトップとなりました。はやりすっきりとした初形から論理もですが銀の生と成という動きも十二分に魅せた作品となっています。

**高坂研 1位**

銀が不成でスイッチバックすることで、2枚の透明飛が現れる。去年見た透明駒の中で、一番センスが良いと感じた。

**橋本孝治 1位**

銀が往復するだけでなぜか詰む不思議。私は透明駒を使った作品でも「論理」より「駒の動き」に惹きつけられます。

**たくぼん 1位**

手順だけを見ると銀が31へ不成と成の競演という不思議な作品。これぞ透明駒の真髄！

**一乗谷酔象 3位**

開き王手で攻方透明駒2枚を可視化し両王手で決める。受方透明駒2枚は見えないままで両王手を強要させるのが面白い。

**🌀 2位 短16 青木裕一 2019/2 第109回 WFP 作品展 109-6**

13pt

最善詰 11手

			歩	歩	歩					
			と			王	歩	銀		
				王				桂		
							桂			
							香			

持駒 なし  
※同手数駒余りを劣位変化とする

45桂 37歩 同香 36角 同香 35角  
33歩 42玉 53角 同角 32歩成 まで 11手

(詰上り)

				歩	歩	歩				
				と		王	と	歩	銀	
					馬					
					王				桂	
						桂				
							香			

持駒 なし

**受賞コメント 青木裕一**

本作の構想は詰将棋と最善詰のツイン(96-9)より前にありましたが、同手数駒余りが解決できず、お蔵入りしてました。その後、同手数駒余りなしをあきらめ、この形になりました。本作の構想が同手数駒余りなしで本当にできないかをベテランの方々に聞いてみたいところです。

★ 2位には青木さんの最善詰。普通の詰将棋の様なルール、形からまさにフェアリーといった手順が繰り広げられます。皆さんの感想もそういった所に集中しました。新しい世界が見えてきたようです。

**一乗谷酔象 1位**

普通詰将棋とほぼ近いのに無駄合い概念の差で全く異なる手順となる奇妙さを楽しめる。攻方、受方の双方が最善を尽くすとは何か考えさせられ、特に駒を余らせない手順の謎解きが秀逸。

**橋本孝治 2位**

「最善詰」は普通詰将棋と近縁ルールのはずなのに、手順は異質で「フェアリー」そのもの。WFP109-7と共に、フェアリーとしての「最善詰」の可能性を示す重要な作品だと思います。

**上谷直希 2位**

普通詰将棋とほぼ違いがないはずの最善詰。その印象がいい意味で壊されました。派手にやってくれますね！

**縫田光司 3位**

手数の絶妙なバランスで連続合駒が成立していて面白いと思いました。

🌀 3位 短66 上谷直希 2019/8  
第114回 WFP 作品展 114-7

9pt

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							王		三
									四
								王	五
							ス	ス	六
			飛						七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし  
※透明駒：攻方 0枚、受方 2枚

55 飛 —X —X —X 35 飛(受方持駒飛) 25 飛  
—X(24 銀) まで 7手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							王		三
							銀		四
						飛	王	王	五
							ス	ス	六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

受賞コメント 上谷直希

昨年度に投稿した透明駒作品が2作とも受賞とのことでとても嬉しく思います。透明駒の領域の発展に少しでも寄与できていたとすれば何よりです。本作もずいぶん昔から考えていた狙いですね……。結局この構図に決めるまでどれぐらい時間がかかっているのでしょうか。一回余詰を出してしまったのも痛恨でした。大変失礼いたしました。

皆様ご存知の通り、透明駒は機械検討のできないルールです。「何をもって作品の完成を判断するか？」は作者によりけり、作品によりけ

りな悩みですが、透明駒使用の作品では特にこの判断が難しい。色々な図を試してその中から一番良いものを選ぶという手法は、検討面のことを考えても非現実的と思われます。

「最もシンプルなワンハンドオンリーな構図を狙う」というのが、結局は一番良い考え方なのかと思い始めました。検討力の乏しい私はそうやって創作していくしかなさそうです。

★ 3位にも上谷さんの透明駒作品が入りました。こちらは1位の作品に比べるとはるかに論理的です。しっかり読み込まないと解けない作品。(私も解けませんでした)

青木裕一 1位

駒種判明の理屈がすごい。

たくぼん 2位

あれだけ散々考えて解けなかったんだから投票しますよ。

変寝夢 次点

連続—Xはもっと長手数で出来そうな気がするのだが、途中で確定されてはダメなので無理なんだろうな

4位 短70 神無太郎 2019/9

第105回 WFP 作品展 115-4

8pt

点鏡協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香3

58 香 52 玉 56 香打 54 玉 55 香打 まで 5手

青木裕一 2位

点鏡ルールを紹介するときの例題として、ちょうどよさそう。

高坂研 2位

点鏡ならではの珍妙な手順。55が点鏡における特異点であることを明快に表現できてい

て、なかなか面白い。

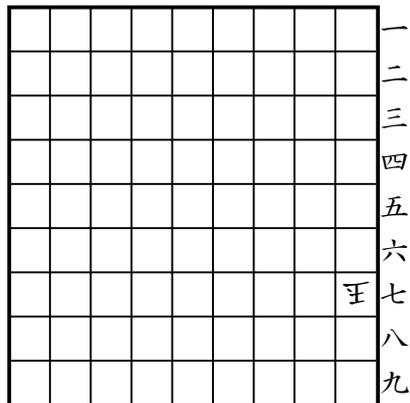
たくぼん 3位

裸玉に持駒が香3枚で詰む。そして唯一解ですから文句ありません。

5位 短71 神無太郎 2019/9  
第105回 WFP 作品展 105-5

点鏡協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 歩3

18歩 28玉 29歩 81角 92歩成 同角 29歩  
81角打 同歩生 29玉 18角 まで 11手

上谷直希 1位

この形、この持駒でここまでのことができるとは。手順中の対比など、付加価値がたくさん。

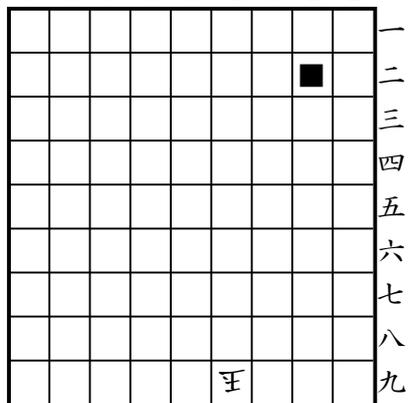
変寝夢 次点

左上での折衝がよい

6位 短31 神無太郎 2019/4  
第111回 WFP 作品展 111-3

協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 n銀2

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

58n 銀 47n 銀成[I11] 38n 銀 22n 香 48n 全  
[I12] 29n 香生[I19] 21n 香成[I11] まで 7手

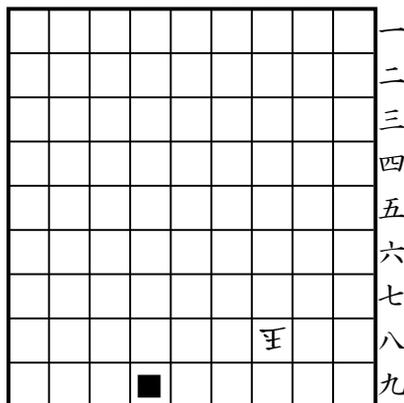
占魚亭 1位

2019年のベスト短編。n香の往復がほんとうに素晴らしかったです。

6位 短42 神無太郎 2019/5  
第112回 WFP 作品展 112-3

協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 n角n金

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

49n 角 58n 飛 28n 金 88n 飛成[I99]  
48n 龍[I59] 69n 香 63n 香成[I53] まで 7手

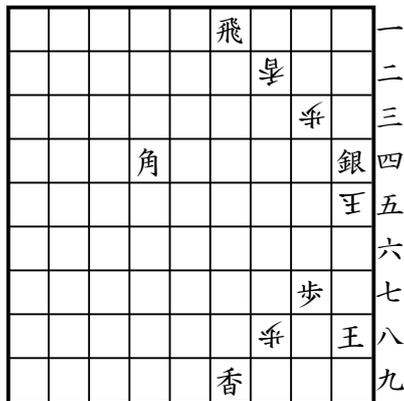
変寝夢 1位

最終手もだが至るまでの手順もいい感触

6位 短65 尾形充 2019/8  
第114回 WFP 作品展 114-6

最悪詰 15手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

6pt

5pt

5pt

5pt

37角 26香 同角 16玉 25銀 同玉  
 45飛成 35飛 34龍 16玉 14龍 15飛  
 25龍 同飛 17香 まで 15手

**縫田光司 1位**

合駒の種類によって変わる繊細な手順の綾がよいですね。読みごたえのある好作と思います。

**9位 短 54 神無太郎 2019/7  
 第113回 WFP 作品展 113-5**

4pt

8×8盤成禁協力詰 5手

8 7 6 5 4 3 2 1

								一
								二
						▲		三
					♁			四
								五
								六
								七
								八

持駒 飛2角  
 ※素:Torus-Prime-Leaper王

14角 68素 64飛 67角 58飛 まで 5手

**一乗谷酔象 2位**

複雑な“素”駒の効きを解き、更に詰手順を求める二段階のパズル。5手に限定打と移動合もあり謎解き要素が凝縮されている。

**橋本孝治 次点**

神無太郎氏の「数学+詰将棋」シリーズは、意欲的ではあるものの、数学パートと詰将棋パートが分離しているという弱点がありました。そんな作品群の中で詰将棋パートが比較的充実していたのがこの作品。いずれ「数学+詰将棋」で、もっと洗練された作品が生まれることを期待します。



**9位 短 91 高坂研 2019/11  
 第117回 WFP 作品展 117-8**

4pt

協力詰 1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
									六	
							角	王	歩	七
								銀		八
							歩	王		九

持駒 なし  
 ※透明駒：攻方1枚、受方0枚  
 逆算可能であることを仮定

— X まで 1手

**縫田光司 2位**

個人的に非常に好きなタイプの作品です。「証明」の細部を忘れていたので今回解き直して、2回楽しめました。

**上谷直希 次点**

1手詰ながら考えさせられた（レトロなのだから当然と言われればそうなのですが）。

**11位 短 29 神無太郎 2019/4  
 第111回 WFP 作品展 111-1**

3pt

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								王	二
									三
						■			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 n飛  
 ※■:Imitator  
 玉以外はすべて中立駒

14n 飛 13n 角 22n 角生 [I33] 32n 飛 88n 角成 [I99] まで 5 手

**変寝夢 2 位**

最終手が良い。理屈よりこういう大きな表現が好み

11 位 短 47 占魚亭 2019/5  
第 106 回 WFP 作品展 106-1

点鏡協力詰 4 手 (受先、2 解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
						王		四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 桂香

- a) 58 飛 57 香 53 玉 52 桂 まで 4 手
- b) 45 銀 46 桂 64 玉 65 香 まで 4 手

**高坂研 3 位**

複数解では、やはり 2 解の間に対照性が欲しい。本作では桂と香を打つ順が入れ替わっていると、軽い対称性は感じられるが、全体として対照性が鮮明に表現されているという所までは至っていないように見受けられる。

**たくぼん 次点**

a) の手順には感心しました。唯一解だったとは思いました。



copyright / Tabuki Masahiro

13 位 短 55 占魚亭 2019/7  
第 113 回 WFP 作品展 113-7

2pt

**成禁 AntiAndernach**

協力自玉スタイルメイト 6 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
	王		王					二
								三
								四
						■		五
								六
								七
								八
								九

持駒 金

※ ■: Imitator

42 金 55 角 83 王 [I46] 82 角転 [I73] 28 角転 [I19] 29 角 まで 6 手

**変寝夢 3 位**

最終 3 手は妙手感あり

13 位 短 56 占魚亭 2019/7  
第 113 回 WFP 作品展 113-8

2pt

All-in-Shogi 協力自玉詰 6 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
						王	王	六
								七
								八
								九

持駒 飛

31 飛 35 角 13v 角 32 飛 12v 飛 35 角 まで 6 手

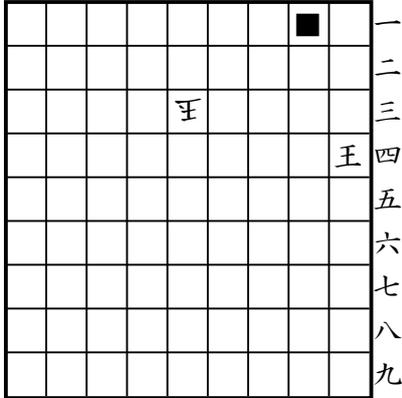
**上谷直希 3 位**

シンプルさが逆に良い。今後このルールがより人気を博したとしたら、古典として残りそうですね。

13位 短89 神無太郎 2019/11  
第117回 WFP 作品展 117-6

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛  
※■:Imitator

52 飛 22 桂 24 王[I31] 32 桂 34 王[I41] 42 桂  
まで 6手

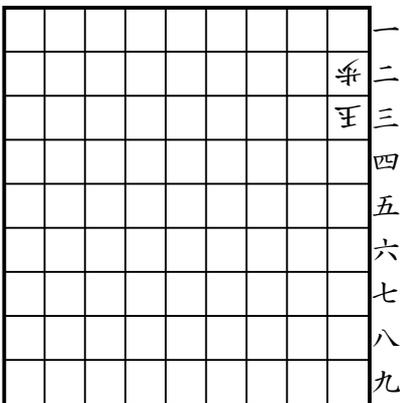
橋本孝治 3位

神無太郎氏の「Imitator&中立駒」作品群で最も印象に残ったのがこの作品。WFP111-4、WFP111-5 の桂の三段跳ねとか、WFP110-3 の三重王手のような大技が派手に飛び交う作品より、桂が横に並ぶだけのこの作品の方に投票したくなるのは「好み」としか言いようがありません。

16位 短4 高坂研 2019/1  
第108回 WFP 作品展 108-8

点鏡協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛角

2pt

1pt

79 角 22 玉 31 飛 11 玉 77 角 まで 5手

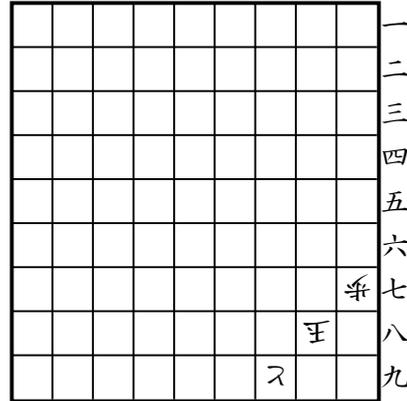
上谷直希 次点

点鏡特有の両王手の筋を端的に表現。

16位 短5 高坂研 2019/1  
第108回 WFP 作品展 108-9

点鏡協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 角2桂

91 角 19 玉 82 角打 28 玉 19 桂 まで 5手

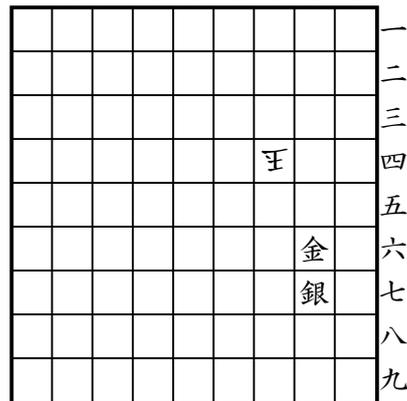
変寝夢 次点

スマートな表現だとは思う

16位 短37 変寝夢 2019/4  
第111回 WFP 作品展 111-14

All-in-Shogi協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

35v 玉 15v 金 26v 玉 17 玉 16 金 26v 金  
16v 玉 まで 7手

縫田光司 次点

攻方の包囲網を悠々と突破する 26 玉→17 玉

1pt

1pt

の手順が味わい深いと思います。解いているときにはこの手が中々浮かばずに苦労しました。

**16位 短 53 神無太郎 2019/7**  
**第 113 回 WFP 作品展 113-4**

1pt

左下無限盤成禁 Isardam 二玉協力詰 3手  
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
				王			王			五
				d						六
				歩						七
										八
										九

攻方持駒 なし  
 受方持駒 残り全部+P3  
 ※P:Prime-Leaper

56歩 54歩 75P まで 3手

**縫田光司 次点**

整数論シリーズ(?)の中では本作が簡明で好みます。Isardam ルールを解く練習もできて一石二鳥でした。

**16位 短 59 変寝夢 2019/7**  
**第 113 回 WFP 作品展 113-13**

1pt

リパブリカン協力白玉詰 4手 (※2解)  
 9 8 7 6 5 4 3 2 1

								飛		一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
				王						九
								王		九

攻方持駒 なし  
 受方持駒 n香  
 ※受方持駒香は中立駒

a)38 飛成 57 玉 48 龍 同銀成(+49 王) まで 4手

b)38 飛生 48n 香 41n 香生 28 銀生(+48 王) まで 4手

**縫田光司 次点**

凝っている方の手順だけでも十分に面白かったのですが、もう一方のフツの手順がなぜか中々見えずに苦労したのです。

**16位 短 63 変寝夢 2019/7**  
**第 114 回 WFP 作品展 114-4**

1pt

協力白玉詰 4手

										9
										8
										7
										6
										5
										4
										3
										2
									歩	1
									王	一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 飛香  
 ※透明駒：攻方 0 枚、受方 2 枚

99 香 同 X 22 飛(92 玉) 同 X(22 馬) まで 4手

**縫田光司 次点**

うまく限定できているものですねえ。面白かったです。



16位 短 92 高坂研 2019/11  
第117回 WFP 作品展 117-9

1pt

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
						香	角	王
								八
							馬	九

持駒 なし  
※透明駒：攻方 1枚、受方 1枚

-X -X -X -(26)X 18馬 まで 5手

たくぼん 次点

何で解けなかったんでしょうね。白旗ということ  
ことで1票。

16位 短 99 たくぼん 2019/11  
Fairy of the Forest #61-01

1pt

協力詰 11手

持駒 なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
						と		三
								四
								五
								六
								七
						銀	ス	八
								九

持駒 なし

78銀 68玉 77銀 67玉 76銀 56玉 65銀  
55玉 54銀 64玉 63銀成 まで 11手

酒井博久 次点

銀の滝登り。

16位 短 103 たくぼん 2019/5  
祝改元（令和）記念作品展⑤

1pt

強欲協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
				銀	皇			四
				歩		銀		五
				香	歩			六
				王		銀		七
				香		飛		八
								九

持駒 なし

67飛 同玉 66金 同玉 57銀 65玉 54銀生  
64玉 53銀右生 55玉 56香 まで 11手

縫田光司 次点

このタイミングならではの立体曲詰、お見事  
です。

16位 短 119 神無太郎 2019/10  
第2回神無太郎の氾濫 2-2

1pt

点鏡協力自玉スタイルメイト 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
王								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
							王	九

持駒 飛

99飛 92香 11王 99香生 まで 4手

上谷直希 次点

たくぼんさんの短評にある通り、手順にスピ  
ード感がある。

16位 短 122 占魚亭 2019/11  
第1回不詰展示会 その1

1pt

点鏡All-in-Shogi協力自玉スタイルメイト 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				玉					一
									二
									三
									四
									五
				玉					六
									七
									八
									九

持駒なし

59v 飛 55 角 19v 角生 (99v 角) 91v 王 (11v 王) まで 4手

橋本孝治 次点

一見すると誤植としか思えない攻方「持駒なし」の双裸玉。「点鏡」と「All-in-Shogi」を組み合わせた意味が明確な作品でした。「自玉スタイルメイト」でなく「自玉詰」のルールで作ってれば、ルール上の問題もなかったの、少し勿体なかったと思います。

【短編部門 総評】

橋本孝治

短編はとにかく数が多く、目移りしてしまうので、感性と好みで、「えいやっ」と決めてしまうしかありません。この部門はどの作が「票を集めるか」ではなく、どれだけ「票がばらけるか」が、いつも楽しみです。

変寝夢

Imitator は動きの大きさを評価ポイントにしました。今年も Imitator が幅を利かせるのだろうか。

上谷直希

お初のルールが多く、とても全ての作品を理解したとは言えない状況で恐縮ですが、投票いたしました。ルール初心者の気持ちで、普及によさそう、ルールの魅力が端的に分かるのはどれかと考えながら選びました。こんな投票者もいていい!?

青木裕一

去年は裸玉かそれに近い作品が多かった印象

です。

縫田光司

今年はずっとよりさらに、票を入れたくなる作品が多かった気がしました。

一乗谷酔象

Imitator 入りの作品や点鏡詰などほとんど解けてませんし、結果稿を見ても理解が追いつかない作品がほとんどです。好作の候補が多く激戦と思いますが、解図できたものから投票します。

【中編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、青木裕一、占魚亭、酒井博久、一乗谷酔象、神無太郎、縫田光司、たくぼん 計9名

中編部門の投票者は9名でした。2018年は18作でしたが2019年は20作と発表作が微増。最近はある程度このラインできています。1位は青木裕一氏の All-in-Shogi 協力詰。2位以下をぶっちぎりで離す独走でした。2位以下は混戦でしたが、神無七郎氏の協力詰と変寝夢氏の対面協力詰が同ポイントで2位となりました。

🌀 1位 中 5 青木裕一 2019/8  
第114回 WFP 作品展 114-8

23pt

All-in-Shogi協力詰 35手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
歩				爵					八
	金	金	金	金		王		歩	九
飛	銀							王	

攻方持駒なし  
受方持駒なし

98 銀 59v 金 48 金 69v 金 58 金上 79v 金  
68 金上 89v 銀 78 銀 89v 金 98 金 89v 銀  
88 銀 69v 金 78 金 79v 銀 68 銀 79v 金  
88 金上 79v 銀 78 銀 59v 金 68 金 69v 銀  
58 銀 69v 金 78 金上 69v 銀 68 銀 49v 金



★ 2位には変寝夢さんのG入り対面協力詰が入りました。1位とはポイントでかなり離されていますが、4名の方から票を獲得したということは広く好感を持たれる作品だという証でしょう。

**一乗谷酔象 2位**

楽しい作品。単純な単騎Gの追い趣向の中、折り返しの仕掛けが軽い謎解きになっている。

**神無太郎 3位**

簡素な仕掛けからのダイナミックな趣向がいい。

**縫田光司 次点**

(多分)リアルタイムで解いていないのでちょっと気が引けますが、手順だけ見ても楽しめますし、折り返しの箇所が凝っていてよいですね。

**たくぼん 次点**

2方向という展開が素晴らしいですね。

**🌀 2位 中 11 神無七郎 2019/8  
Fairy of the Forest #60-01**

7pt

受方持駒：桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						皇	皇		三
				飛	飛			玉	四
				糸	と				五
				ス		玉	ス		六
				ス		桂	ス		七
								ス	八
						歩	桂	桂	九

持駒 なし

- 24 飛 25 桂 同と 36 玉 28 桂 同と 寄
- 34 飛 35 桂 同と 26 玉 38 桂 同と 寄
- 24 飛 25 桂 同と 36 玉 48 桂 同と 寄
- 34 飛 35 桂 同と 26 玉 18 桂 同と
- 24 飛 25 桂 同と 36 玉 28 桂 同と
- 34 飛 35 桂 同と 26 玉 38 桂 同と 左
- 24 飛 25 桂 同と 36 玉 34 飛 同香
- 35 と 26 玉 18 桂 まで 45 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							皇		二
					皇	皇		玉	三
					糸	と			四
					ス		玉	ス	五
					ス		桂		六
					ス	ス		桂	七
						歩	桂	桂	八
									九

持駒 なし

**受賞コメント 神無七郎**

本作に投票してくださった皆様、ありがとうございます。この作品の狙いは、「28 桂 同と上」の1ステップで済むと金の移動を、「18 桂 同と」「28 桂 同と」の2ステップ掛けて行うことです。いわゆる「偶奇性」を利用した構想なのですが、表現が地味なので、投票をいただけるとは思っていませんでした。投稿時のコメントに書いたように、本作は原理図に近いので、同様の構想をもっと目立つように表現した作品を作ることを、今後の宿題にしたいと思います。

★ 同じく2位には七郎さんの協力詰。単なる協力詰で新味を出そうとするのはなかなか難しいと思うのですが、本作も偶奇性を利用した構想と言うことでやはり一味違うなという事でしょう。

**たくぼん 1位**

シンプルでかつ完成度が高い。これはまさに私好みです。

**酒井博久 次点**

まとまりの良さ。

**青木裕一 次点**

私は解図力が低いので、易しくて楽しい作品は助かります。



4位 中7 尾形充 2019/10  
第106回 WFP 作品展 106-10

最悪詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
			科					二
			馬					三
								四
							皇	五
								六
						香	王	七
					王			八
				銀			歩	九

持駒 なし

28 銀 16 玉 52 馬 25 桂 17 銀 同玉  
18 歩 16 玉 17 歩 同玉 53 馬 44 桂  
同馬 16 玉 17 馬 同桂生 28 桂 まで 17 手

一乗谷酔象 1位

ルール独特の駆け引きのある攻防が楽しめる作品。

変寝夢 次点

細かい動きが面白い

5位 中6 神無七郎 2019/11  
第115回 WFP 作品展 115-1 解説例題

All-in-Shogi協力自玉スタイルメイト 28手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
						と	皇	と
							皇	
歩	歩	歩	歩	歩	歩		皇	歩
	歩	歩	歩	桂	桂	桂	桂	王
歩	歩	飛	飛	角	歩	歩	歩	歩
角	銀	銀	銀	銀	金	金	金	金

持駒 なし

85v 玉 96 玉 85v 玉 86 玉 75v 玉 76 玉  
65v 玉 66 玉 55v 玉 56 玉 45v 玉 46 玉  
35v 玉 34 玉 23v 玉 14 玉 15 歩 13 玉  
14 歩 23 玉 13 歩成 12v と 13v 玉 14 玉  
13 と 15 玉 14 と 同香 まで 28 手

6pt

占魚亭 1位

拙作は不詰(酷い見落としをして恥ずかしい)でこのルールを作るのは無理なのではと思っていましたが、解説で本作を見て流石と思いました。玉鋸は全く考えていなかったのので……。

5位 中18 神無七郎 2019/5  
祝改元(令和)記念作品展③

協力詰 19手

持駒 零5

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				零				一
			王					二
		零	飛					三
				王	零			四
				零	零			五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

43 飛生 34 玉 23 飛成 35 玉 33 龍 34 零  
24 龍 45 玉 25 龍 35 零 36 龍 44 玉  
46 龍 45 零 55 龍 43 玉 52 龍 44 玉  
53 龍 まで 19 手

変寝夢 1位

発想が面白い。かしこでもできないか？



5位 中19 神無七郎 2019/5  
祝改元（令和）記念作品展④

5pt

協力自玉スタイルメイト 42手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と	と						一
		と	と						二
		と	と						三
		と	と						四
		と	と		馬	馬			五
		と	と		と				六
		と	と	王	歩				七
		歩	歩						八
				王					九

持駒 n飛

79n 飛 78n 飛生 79n 飛 77n 飛生 79n 飛 76n 飛生 79n 飛 75n 飛生 79n 飛 74n 飛生 79n 飛 73n 飛生 79n 飛生 72n 飛生 79n 飛生 71n 飛生 79n 飛生 69 銀 同 n 飛 68n 飛生 69n 飛 67n 飛生 69n 飛 66n 飛生 69n 飛 65n 飛生 69n 飛 64n 飛生 69n 飛 63n 飛生 69n 飛生 62n 飛生 69n 飛生 61n 飛生 69n 飛生 68n 飛生 48 銀 同 n 飛生 49n 飛 47n 飛生 49n 飛 46n 飛生 まで 42手

神無太郎 2位

飛の徹底した上限移動と抜け目ない横移動がいい。

たくぼん 2位

簡単な趣向と思いきや誤解者が……。私も同様の筋で悩んだだけに思い出の1作です。



8位 中4 青木裕一 2019/5  
第112回 WFP 作品展 112-17

4pt

駒余り禁協力詰 31手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						と	銀	歩	五
			角	飛	歩	香		入	六
									七
						王		王	八
				歩		歩			九

攻方持駒 歩2  
受方持駒 なし

19歩 17玉 18歩 同玉 19歩 17玉 57飛 47歩 同飛 26玉 27歩 17玉 26歩 同玉 48角 37歩 同角 17玉 18歩 同玉 19歩 17玉 48角 37歩 同飛 26玉 27歩 17玉 26歩 同玉 27飛 まで 31手

橋本孝治 2位

一步前に進もうとするたびに歩を捨てないといけない、もどかしい手順。「駒余り禁」という条件を上手く利用した遊び心を感じさせる作品。

たくぼん 次点

不思議な感覚を味あわせていただきました。なかなかお目にかからないタイプの作品。



9位 中1 変寝夢 2019/2  
第109回 WFP 作品展 109-11

リパブリカン  
協力自玉スタイルメイト 28手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

							王			一
									皇	二
							歩			三
							歩			四
							歩			五
							桂	歩		六
							歩			七
							歩			八
							金			九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

32歩生 42玉 43歩生 53玉 54歩 64玉  
65歩 75玉 76歩 86玉 87歩 同玉  
78金 76玉 67金 65玉 56金 54玉  
45金 43玉 34金 32玉 23金 21玉  
12金 同玉 15香 34金(+14王) まで 28手

縫田光司 2位

単純明快な軽趣向と、簡潔にしてちゃんとルールの味わいを持った収束で、楽しい作品です。

9位 中10 たくぼん 2019/5  
Fairy of the Forest #59-02

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
飛									飛	四
角	銀	銀	銀	銀	金	金	金	金		五
歩	香	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		六
王	皇									七
	入	入	角	入		皇	皇			八
入					入					九

持駒 桂4歩

89桂 同と直 79角 88杏 同角 同と引

3pt

89桂 同と寄 99香 98角 同香 同と  
79角 87玉 88歩 77玉 68角 88玉  
79角 77玉 88角 67玉 59桂 57玉  
79角 68香 同角 48玉 57角 37玉  
48角 27玉 39桂 同杏左 29香 17玉  
39角 28杏 同角 27玉 17角 同玉  
19香 18角 同香 同玉 27角 17玉 18香  
まで 49手

変寝夢 2位

結果発表時は無理矢理感があったが、個々の手をよく見ると、理にかなった作りになっている

11位 中2 尾形充 2019/4  
第111回 WFP 作品展 111-17

2pt

最善自玉詰 24手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
						料				三
						銀			皇	四
										五
						角		王	皇	六
						馬			香	七
						銀	龍			八
							入		王	九

持駒 金

37銀 17玉 26銀 同玉 37角 17玉  
28角 26玉 25金 同龍 37角 17玉  
26角 同玉 48馬 37角 同馬 17玉  
27龍 同龍 26角 同龍 28馬 同龍 まで 24手

3pt

橋本孝治 3位

銀の消去、角の消去が絡む伏線的な手順と複雑な駆け引き。収束に登場する角の捨合とその返し技。中編らしい重量感を心ゆくまで堪能できる作品。



1 1 位 中 3 変寝夢 2019/5  
第 112 回 WFP 作品展 112-15

レトロ協力詰 -20+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
金									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

89 玉 98 金 99 玉 88 金 89 玉 78 金  
79 玉 68 金 69 玉 58 金 59 玉 48 金  
49 玉 38 金 39 玉 28 金 29 玉 28 金持  
18 玉 28 銀 / 19 金 まで -20+1 手

縫田光司 3 位

レトロでこれだけの長手数ということで最初はびっくりしましたが、解いてみると単純明快で楽しめました。

1 3 位 中 13 小林看空 2019/11  
Fairy of the Forest #61-02

協力詰 35手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩			五
									六
	ス	ス							七
王	ス	ス		ス	歩	香			八
			歩			歩			九

持駒 桂4歩8

99 歩 97 玉 98 歩 同と上 89 桂 同と右  
98 歩 96 玉 97 歩 86 玉 87 歩 同と寄  
98 桂 76 玉 77 歩 66 玉 67 歩 57 玉

2pt

49 桂 同と 58 歩 同玉 59 歩 67 玉  
68 歩 66 玉 58 桂 同馬 67 歩 57 玉  
58 歩 46 玉 13 角 56 玉 57 角成 まで 35 手

橋本孝治 次点

桂と歩の打ち方、取らせ方しか選択肢がないのに、ずいぶん悩まされました。心理的な盲点や不利感のように、言語化・数値化しにくいところにも、フェアリー詰将棋の価値があることを再認識させてくれる作品です。

1 3 位 中 16 神無太郎 2019/1

フェアリー版くるくる作品展 9 くるくる 17  
1pt

Isardamばか自殺スタイルメイト 36 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
と	と	と	と	と	と	と	と	と	四
									五
								王	六
									七
	桂								八
									九

持駒 歩9

15 と 同玉 16 歩 14 歩 25 と 同玉  
26 歩 24 歩 35 と 同玉 36 歩 34 歩  
45 と 同玉 46 歩 44 歩 55 と 同玉  
56 歩 54 歩 65 と 同玉 66 歩 64 歩  
75 と 同玉 76 歩 74 歩 85 と 同玉  
86 歩 84 歩 95 と 同玉 96 歩 94 歩  
まで 36 手

橋本孝治 次点

絵に描いたような「一発芸」の手順ですが、妙に印象に残っています。凝った作品を見過ぎてちょっと疲れていたのかも。

【中編部門 総評】

橋本孝治

中編部門は作品数 20 でほぼ例年通り。数は決して多いとは言えませんが、内容的には充実していたと思います。

変寝夢

個性的な作品が多かったように思いました

青木裕一

見てすぐに良さが分かる作品が少ないですね。解けば良さが分かるかもしれませんが、解けない……。

長編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、青木裕一、占魚亭、神無太郎、縫田光司、一乗谷酔象、上谷直希、酒井博久、たくぼん 計10名

長編部門の投票者は10名でした。1位はくろねこ氏の協力白玉詰。2位には青木裕一氏の点鏡協力詰、3位には変寝夢さんのボカスカ協力白玉詰が入りました。

🌀 1位 長 14 くろねこ 2019/8  
第114回 WFP 作品展 114-10

協力白玉詰 832手

			銀							一
	糸			金						二
	金	香		金						三
	銀			香						四
		桂	王	角						五
				香						六
桂		王								七
金			桂							八
			鬮	鬮						九

持駒 飛歩17

「62飛 63角 同飛生 74玉 96角 85銀 65飛成 同玉 87角 76飛 同角 74玉 85角 65玉 76角 74玉 65角 同玉 62飛 63角 同飛成 64桂 74龍 同玉 85銀 65玉 87角 76桂 同銀 74玉 96角 85飛 65銀 同玉 87角 74玉 86桂 同飛 96角 65玉 66歩 同飛 87角 76飛 同角 74玉 65角 同玉」×17  
62飛 63角 同飛生 74玉 96角 85香 65飛成 同玉 87角 76桂 同角 74玉 65角 同玉 57桂

同龍 まで 832手

(詰上り)

			銀							一
	糸			金						二
	金	香		金						三
	銀			香						四
	皇	桂	王	角						五
				香						六
桂		王		鬮						七
金			桂							八
			鬮							九

持駒 なし

受賞コメント くろねこ

受賞ありがとうございます。本作品に関しては可動域2ヶ所でどれだけ1サイクルの手数を伸ばせるか、が創作の出発地点となっております。色々試す中で持駒増幅機構を組み込んでみようとしたのが本作です。収束できずに終わりかと思いましたが香を余らせる事で別収束を用意する事で打開できました。唯一の心残りは18サイクルにならなかった事ですが当初の目標は達成できたので一区切りかと考えました。昨今は、色々なルールの出現もあり、協力詰や協力白玉詰の趣向作が少なくなっているのが残念です。これをきっかけに創作する方が増えれば幸いです。当方は新型コロナの影響もなく、本業が忙しく、解答などもゆっくりする時間がない状況となっております。落ち着けばまた再開しようかと思っています。その折にはよろしくお願ひします。

★ 長編部門は、くろねこさんの協力白玉詰。一昔前にはこのような作品群がたくさん出題されていましたが最近あまりお目にかかれませんでした。2019年に一気に3作披露された作者の作品群はどの作品も見事な構成の作品で解答者を唸らせました。どなたかのペンネームかとも思うのですが、全くのベールに包まれています。また作品を見たい！ですね。

橋本孝治 1位

48手の長大なサイクルに、4種8回の合駒や飛の成・不成の使い分け等、見所をこれでもかと詰め込んだ豪華絢爛たる作品。「持駒消去の中に持駒増幅を組み込む」という構造も

前例が少なく理論面でも大きな価値がある作品だと思います。

**変寝夢 1位**

歩の使いどころが全くわからなかった。

**神無太郎 1位**

伝統的ながら複雑なサイクル構成がいい。

**たくぼん 1位**

受方玉はたった2ヶ所しか動けないのにこの精巧な構造。凄いとしかいいようがない。

**占魚亭 2位**

氏の超長編3作の中で一番好きな作。

**2位 長 11 青木裕一 2019/7  
第113回 WFP 作品展 113-12**

点鏡協力詰 71手

							糸	玉	一
									二
							歩		三
							桂	銀	四
							香	銀	五
							香	銀	六
皇	糸						香	銀	七
科	科	糸						歩	八
玉								玉	九

持駒 なし

- 13 銀成 96 香生 14 全 21 玉 11 全 同玉
- 14 銀 97 香生 13 銀成 96 香生 14 全 95 香
- 15 全 21 玉 11 全 同玉 15 銀 96 香
- 14 銀 97 香生 13 銀成 96 香生 14 全 95 香
- 15 全 94 香 16 全 21 玉 11 全 同玉
- 16 銀 95 香 15 銀 96 香 14 銀 97 香生
- 13 銀成 96 香生 14 全 95 香 15 全 94 香
- 16 全 93 香 17 全 21 玉 11 全 同玉
- 17 歩 94 香 16 歩 95 香 15 歩 96 香
- 14 歩 97 香生 13 歩成 96 香生 14 と 95 香
- 15 と 94 香 16 と 93 香 17 と 92 香
- 18 と 91 香 19 と 21 玉 11 金 まで 71 手



(詰上り)

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇							糸	玉	金										一
																			二
																	歩		三
																	桂		四
																	香		五
																	香		六
																	香		七
	糸																		八
科	科	糸																	九
玉																			と

持駒 なし

13pt

**受賞コメント 青木裕一**

本作の発想元は安南詰最長手数チャレンジでやろうとしていた構想です。その構想はいくつかの創作上の問題を超えられず完成しませんでした。点鏡でやったら案外すんなりいきました。変身と変身解除で構成する趣向作は色々できそうです。

★ 長編部門2位はまたまた青木さんの作品。2019年は短編2位、中編1位、長編2位とまさに八面六臂の大活躍でした。この作品も新しいルールに目新しい趣向。はやり新しいものに解答者は弱いのでしょうか。いい印象を持ちました。変身と変身解除で構成する趣向作が色々出来そうと作者は仰っています。皆さんチャレンジしてみましょう！

**占魚亭 1位**

点鏡らしさのある趣向作で素晴らしかったです。

**橋本孝治 2位**

点鏡による遠隔操作系の趣向作。「縦往復する香」や「玉から遠ざかる成銀」の視覚的インパクトは絶大。「連捨て趣向における捨駒の往復」という構造面での目新しさもあり、感覚と論理の両面で訴求力を持つ作品です。

**たくぼん 2位**

点鏡ルールの面白さを十分に堪能させて頂きました。

**神無太郎 3位**

点鏡空間での銀と香の特性を引き出しているのがいい。

9pt

ボカスカ協力自玉詰 136手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王										一
										二
●	●	●	●	●	●	●	●			三
銀	●	●					●			四
		●		●						五
王	●	●		●	●	●	●	●		六
●	●		●				王			七
		飛								八
									王	九

持駒 なし

※94銀は中立駒

●:石 (着手不可、不透過)

85n 銀 95 玉 96n 銀 94 玉 95n 銀 (92 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (81 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (82 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (71 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (72 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (61 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (62 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (51 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (52 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (41 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (42 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (31 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (32 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (21 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (22 銀,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (11 銀,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (12 銀,96n 銀) 95n 銀 (13 銀,96n 銀) 95n 銀 (14 銀,96n 銀) 85n 銀 (25 銀,96n 銀) 95n 銀 85 玉 94n 銀 96 玉 85n 銀 (34 銀,94n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 94 玉 85n 銀 (45 銀,96n 銀) 95n 銀 85 玉 94n 銀 96 玉 85n 銀 (54 銀,94n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 94 玉 85n 銀 (65 銀,96n 銀) 95n 銀 (66 銀,96n 銀) 85n 銀 (77 銀生,96n 銀) 95n 銀 (78 銀生,96n 銀) 95n 銀 (79 銀生,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (68 銀生,85n 銀) 96n 銀 (57 銀生,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (58 銀生,96n 銀) 95n 銀 (59 銀生,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (48 銀生,85n 銀) 96n 銀 (37 銀生,85n 銀) 96n 銀 94 玉 95n 銀 (38 銀生,96n 銀) 95n 銀 (39 銀生,96n 銀) 85n 銀 95 玉 96n 銀 (28 銀成,85n 銀) まで 136 手

(詰上り)

										一
										二
●	●	●	●	●	●	●	●			三
	●	●						●		四
王	銀	●		●						五
	●	●		●	●	●	●	●		六
●	●		●					王		七
								王		八
									王	九

持駒 なし

**受賞コメント 変寝夢**

拙作が長編の部3位に選ばれたということで大変嬉しく思っています。遠隔操作が目的の繰り返し手順自体は花沢氏の作品ですすでに実現されています。本作では王手を掛ける駒を中立駒にすることで遠隔操作される駒が後手の指し手の時しか動かないといったところが、新しいのではないかと思っています。今後もボカスカの魅力を引き出した作品を作っていきたいなあと考えています。

★ 3位には変寝夢さんのボカスカ協力自玉詰が入りました。投票者のコメントにあります、とにかく「楽しめた」という感想は作者は嬉しいでしょうね。

**青木裕一 1位**

方針がひと目で分かり、紛れも適度にあるので、解いてて楽しめました。

**一乗谷酔象 2位**

ルール独特の遠隔操作によって玉と離れた所で銀鋸が展開する構成。とにかく解いて並べて楽しめる作品。

**縫田光司 次点**

解いたときにも思ったのですが、よくこれだけの配置で手順限定できてますよね…。



7pt

協力白玉詰 392手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						皇			一
				香		料		香	二
				香		王	歩	金	三
								香	四
						香		王	五
									六
							香		七
							桂	桂	八
									九

攻方持駒 飛2 桂 歩17  
受方持駒 香

「17 飛 16 香 25 飛 同玉 27 飛 26 飛 17 桂 同香成 26 飛 15 玉 16 歩 同杏 同飛 25 玉 27 飛 26 桂 同飛寄 15 玉 17 飛 16 歩 25 飛 同玉 27 飛 26 飛 17 桂 同歩成 26 飛 15 玉 16 歩 同と 25 飛 同玉 27 香 26 桂 同香 同と 17 桂 同と 27 飛 26 飛 同飛 15 玉 16 歩 同と 同飛 25 玉 27 飛 26 桂 同飛寄 15 玉」×7  
17 飛 16 香 25 飛 同玉 27 飛 26 飛 17 桂 同香成 26 飛 15 玉 16 歩 同杏 同飛 25 玉 27 飛 26 桂 同飛寄 15 玉 17 飛 16 歩 25 飛 同玉 27 飛 26 飛 17 桂 同歩成 26 飛 15 玉 16 歩 同と 25 飛 同玉 27 香 26 飛 同香 同と 15 飛 同玉 16 歩 25 玉 24 飛 同桂 まで 392 手

一乗谷酔象 1位

玉の可動域二つだけで複雑な持駒消去を表現。2歩消去の1サイクル50手が歩を香に代える18手と香歩を消費する32手で構成されるロジックの不思議さが魅力です。収束の変化球も面白い。フェアリーでは比較的メジャーな協力白玉詰の奥深さを改めて感じさせてくれる力作と思います。

たくぼん 3位

持駒消去の方法がなかなか分らなかった。



7pt

協力白玉詰 690手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									飛
金	金					香			二
桂	桂	金						皇	三
								王	四
桂	王	皇							五
香		桂	銀						六
		角	銀						七
香	銀								八
									九

持駒 香 歩18

88 香 87 飛 同香 同杏

「16 飛 26 金 同飛 95 玉 86 金 同杏 25 飛 35 金 同飛 85 杏 86 金 同玉 36 飛 46 金 同飛 56 香 76 金 同杏 87 歩 同杏 56 飛 66 金 同飛 95 玉 86 金 同杏 65 飛 75 金 同飛 85 杏 86 金 同玉 76 飛 同杏 88 香 87 飛 同香 同杏」×18

26 飛 36 角 まで 690 手

神無太郎 2位

伝統的ながら複雑なサイクル構成がいい。

橋本孝治 3位

歩を1枚消去するたびに成香が2回転する不思議な作品。結果稿でも書きましたが、サイクルごとに飛の遠打と成香の2回転が詠えたようにピッタリ填まるのは天の配剤としか思えません。

縫田光司 3位

手順の機構をちゃんと理解できていないのであれなのですが、何と云うかすごいなあと思いました。(長14の方が手数は長いですが、収束があっさりしていて個人的にはこちらの方が好みます。)



6位 長5 青木裕一 2019/2  
第109回 WFP 作品展 109-7

6pt

最善詰 69手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇		一
						香		と	二
						歩	歩		三
			と	銀					四
		ス	ス	科	歩			馬	五
			科			王			六
			歩		皇		科		七
									八
									九

持駒 角香

38 香 46 玉 24 馬 35 桂 同馬 56 玉  
46 馬 同玉 13 角 24 歩 同角成 35 角  
同馬 56 玉 46 馬 同玉 13 角 24 歩  
同角成 35 角 同馬 56 玉 46 馬 同玉  
13 角 24 歩 同角成 35 角 同馬 56 玉  
46 馬 同玉 13 角 24 歩 同角成 35 角  
同馬 56 玉 46 馬 同玉 13 角 24 歩  
同角生 56 玉 65 銀 同と 57 歩 45 玉  
46 歩 44 玉 35 角 34 玉 13 角成 25 玉  
35 馬 14 玉 15 歩 同玉 16 歩 同玉  
28 桂 15 玉 16 歩 14 玉 13 馬 25 玉  
26 歩 同玉 35 馬 まで 69 手

縫田光司 1位

打診中合での持駒稼ぎプラス「持駒何枚あれば詰むでしょうか」クイズ、というわけですね。良くできた作品だと思います。

橋本孝治 次点

普通詰将棋では不可能な持駒増幅が、その近縁ルールである「最善詰」で実現可能であることを示した作品。それを態度打診の中合で実現したのも洒落ています。普通詰将棋では純粋な持駒増幅は不可能なので、擬似持駒増幅を目指すしかないのですが、その分野はまだまだ未開拓の状態です。この作品がこの状態を変える一つのきっかけになればと思います。



7位 長13 青木裕一 2019/8  
第114回 WFP 作品展 114-9

4pt

All-in-Shogi協力詰 111手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
									六	
						龍	香	王	爵	七
						桂				八
						桂		王		九

攻方持駒 歩18  
受方持駒 なし

38 龍 19 玉

「39 龍 29v 歩 28 龍 38v 龍 29v 玉 19 玉」× 18

39 龍 まで 111 手

縫田光司 2位

わかってしまえば単純とはいえ、ルールの味も生きていて楽しい作品ですね。

変寝夢 次点

悩んだあげく解けず、結果稿を見た瞬間にやられたと思った。

7位 長15 たくぼん 2019/11  
第117回 WFP 作品展 117-14

4pt

協力自玉詰 132手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							歩		二
					●	●	●		三
				●	●		●	●	四
				●	王	角			五
			●	●		●	●		六
			●					飛	七
			●		歩		王		八
			●	●	●		桂	●	九

攻方持駒 なし  
受方持駒 歩  
※●:着手不可、不通過

47 飛 46 歩 同飛 35 玉 45 飛 34 玉  
 35 歩 25 玉 34 歩 35 角 同飛 同玉  
 57 角 46 飛 同角 同玉 47 歩 同玉  
 17 飛 27 歩 同飛 37 角 同飛 58 玉  
 57 飛 同玉 39 角 48 飛 同角 47 玉  
 17 飛 46 玉 37 角 35 玉 46 角 45 玉  
 37 桂 46 玉 47 歩 同玉 45 桂 27 歩  
 同飛 37 角 同飛 46 玉 47 歩 45 玉  
 46 歩 同玉 47 飛 同玉 29 角 38 飛  
 同角 57 玉 17 飛 27 歩 同飛 37 桂  
 同飛 46 玉 58 桂 45 玉 47 飛 34 玉  
 46 桂 45 玉 34 桂 46 歩 同飛 34 玉  
 16 角 25 桂 同角 同玉 45 飛 35 角  
 同飛 16 玉 15 飛 同玉 16 歩 同玉  
 38 角 27 飛 同角 15 玉 18 飛 25 玉  
 17 桂 34 玉 16 角 25 歩 同角 45 玉  
 34 角 46 玉 47 歩 57 玉 58 歩 同玉  
 39 玉 47 玉 48 飛 37 玉 38 飛 27 玉  
 16 角 17 玉 37 飛 18 玉 27 角 17 玉  
 18 角 27 桂 同飛 18 玉 28 飛 17 玉  
 18 飛 27 玉 28 飛 37 玉 38 飛 46 玉  
 48 飛 47 角 58 桂 37 玉 38 飛 同角成  
 まで 132 手

**変寝夢 2位**

桂の動きが印象的

**橋本孝治 次点**

作者の「石囲いシリーズ」の中で、最も好みの作品。狭い回廊で、桂を巧みに操り、局面を打開していく展開は快感すら覚えます。出口の見えない迷路の中でも、粘り強く答えを求めて前進していけるかどうか。解答者の根性を試す物差しにもなりそうな作品です。



9位 長 17 神無七郎 2019/5

Fairy of the Forest #59-03

3pt

受方の持駒：なし

										一
										二
										三
					銀	歩	金	銀		四
			歩	桂	桂	香	香	歩		五
				入	玉			と		六
			香	桂						七
			金	歩			玉	角		八
				入		香	桂			九

持駒 歩5

47 歩 同玉 36 角 48 玉 49 歩 同玉  
 27 角 48 玉 49 歩 47 玉 48 歩 46 玉  
 47 歩 同玉 38 角 36 玉 26 と 46 玉  
 47 歩 同と 36 と 同玉 16 角 38 と  
 同香 47 玉 48 歩 同玉 49 歩 同玉  
 36 香 27 歩 同角 48 玉 49 歩 47 玉  
 38 角 36 玉 27 角 47 玉 48 歩 56 玉  
 38 角 46 玉 47 歩 56 玉 46 歩 47 香  
 同角 同玉 49 香 48 角 同香 56 玉  
 38 角 47 歩 同角 46 玉 38 角 47 歩  
 同香 56 玉 46 香 同玉 47 歩 56 玉  
 46 歩 47 香 同角 同玉 49 香 48 角  
 同香 56 玉 38 角 47 歩 同角 46 玉  
 38 角 47 歩 同香 56 玉 46 香 同玉  
 47 歩 56 玉 46 歩 47 香 同角 同玉  
 49 香 48 角 同香 56 玉 38 角 47 歩  
 同角 46 玉 38 角 47 歩 同香 56 玉  
 46 香 同玉 47 歩 56 玉 46 歩 47 香  
 同角 同玉 49 香 48 角 同香 56 玉  
 38 角 47 歩 同角 46 玉 38 角 47 歩  
 同香 56 玉 46 香 同玉 47 歩 56 玉  
 46 歩 47 香 同角 同玉 49 香 48 角  
 同香 36 玉 37 歩 26 玉 27 歩 15 玉  
 16 歩 同玉 17 歩 15 玉 26 角 まで 143 手

**変寝夢 3位**

何故こんなに巧くまとまるのだろうか。

**酒井博久 次点**

面白い趣向。序が難解。

10位 長16 青木裕一 2019/2  
Fairy of the Forest #58-03

受方持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
			歩	香	桂	と		四
				と	桂	皇	桂	五
			ス	桂	ス	王	歩	遊
			皇					龍
			糸	香				玉
					ス	ス		九

持駒 歩9

37歩 47玉 48歩 58玉 59歩 57玉  
36歩 47と 58歩 46玉 47歩 36玉  
37歩 47玉 48歩 58玉 59歩 57玉  
36歩 47香 58歩 46玉 47歩 36玉  
38香 37歩 同香 47玉 35香 36玉  
37歩 35玉 36歩 同玉 37歩 47玉  
48歩 58玉 59歩 57玉 36歩 47香  
58歩 46玉 47歩 36玉 37歩 47玉  
36歩 46玉 48香 36玉 37香 まで 53手

酒井博久 次点  
様式美を感じる。

10位 長20 神無七郎 2019/12  
ちょっと早い 2020 年年賀詰作品展 3

AntiAndernach協力詰 53手

持駒 なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
				王	角	駒	銀	六
								七
								八
								九

持駒 歩3

1pt

57歩 67玉 68歩 同玉 56歩転 57歩成転  
66と転 57歩 同角 77玉 66角 76玉  
77歩 87玉 88歩 同玉 76歩転 77歩成転  
86と転 77歩 同角 97玉 86角 87玉  
88歩 76玉 77歩 67玉 68歩 同玉  
76歩転 77歩成転 66と転 77歩 同角 57玉  
66角 47玉 48歩 38玉 39歩 同玉  
47歩転 48歩成転 37と転 28玉 37銀 27玉  
36銀 37玉 38歩 46玉 47銀打 まで 53手

神無太郎 次点

簡素な仕掛けからのダイナミックな趣向がいい。

【長編部門・総評】

橋本孝治

今年度の長編は豊作でした。1位から3位だけだと勿体なかったなので、5作に投票しました。

変寝夢

たくぼんさんの協力自玉詰が目立ちました。

青木裕一

明確な新機軸が少なく複雑な作品は、分からないので評価が難しい……。

1pt



【推理将棋・プルフゲーム 部門】

投票者：ミニベロ、橋本孝治、NAO、はなさかしろう、一乗谷酔象、たくぼん、計6名

投票者は6名。今回の候補作は32作。昨年に比べて増えたのはもちろん詰将棋メモの出題復活のおかげである。しかしながら投票数が少ないのはちょっと問題です。

 1位 推 30 緑衾 2019/11

詰将棋メモ 第122回出題 122-3  
三度目は駒打ち 12手

10pt

(10手目まで進んだ後)

「ほほう、すでに後手は自分が不成で駒取りをしたマスで再び成りで駒取りをしているんだ」  
「先手の方はすでに大駒の手とその直後の手を同じ筋に指しているね」

(さらに手が進んだ後)

「12手目に自分が2回駒取りをしたマスへ今度は駒を打ったよ。後手はよっぽどそのマスが好きなんだな。」  
「その駒打ちが初王手でなんと詰んでいるね」

(条件)

- ・10手目の時点で後手は自分が不成で駒取りをしたマスで再び成りで駒取りをしていた
- ・10手目の時点で先手は大駒の手とその直後の手を同じ筋に指していた
- ・後手は12手目の自分が2回駒取りをしたマスへ駒を打つ初王手で詰ませた

68飛 34歩 66歩 同角 58王 77角不成 66飛 同角不成 77桂 同角成 48銀 66桂 迄 12手



後手の持駒：飛歩2

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	帝	王	帝	爵	科	皇	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六				科						
七	歩	歩	皇		歩	歩	歩	歩	歩	
八		角			玉	銀				
九	香		銀	金		金		桂	香	

持駒 なし

受賞コメント 緑衾

投票していただきありがとうございます。ミスリードだけが取り柄の作品ですがその明快さが評価されたのでしょうか。この類の詰めあがり62銀と62飛の非限定を飛車を取ることで解消しようとしたことが出発点でした。いろいろなアイデアが込められたので気に入っている作品です。ただ、余詰には気づくべきでしたね。

★ 推理将棋部門1位は緑衾さんの「三度目は駒打ち」が選ばれました。ミニベロさんも仰られています「叙述トリック」という言葉がまさにピッタリでやられた～と思った方も多かったのではないのでしょうか。記憶に残る作品です。

ミニベロ 1位

叙述トリックに引っ掛かりました。推理将棋の一つの在り方。

たくぼん 1位

とにかく昨年一番楽しませて頂いたのは本作。巧みな会話で見事にやられました。

 2位 推 17 一乗谷酔象 2019/10

第116回WFP作品展 116-7

不動駒のない熱戦 34手

8pt

「34手目の初王手で詰まされちゃった。初手に歩を突かない作戦がまずかったかな」

「これが投了図か。盤上に不動駒が1枚もない！大熱戦だったね」

「この将棋、不成の手はなかったよ。こっちは金、玉、銀の順に続けて動かして困ったけどよくなかった。相手の金を寄る手がいい手だったな」

「玉の堅さに負けたんだね」

「相手は7回連続で馬を動かし、2回連続で桂を動かしてきた。巧くやられたよ」

[条件]

- 1)34 手目の初王手で詰んだ
- 2)終局盤面に不動駒はなかった
- 3)初手は歩以外の駒を動かした
- 4)先手は金、玉、銀の順に続けて動かした
- 5)後手は金を寄った
- 6)後手は7回連続で馬を動かした
- 7)後手は2回連続で桂を動かした
- 8)不成の手はなかった

18 香 42 銀 76 歩 31 金 33 角成 41 玉  
 43 馬 99 角成 61 馬 89 馬 83 馬 79 馬  
 93 馬 57 馬 79 金 47 馬 68 玉 37 馬  
 48 銀 27 馬 37 桂 49 馬 23 飛成 87 飛成  
 71 馬 97 香成 13 龍 93 桂 53 龍 33 桂  
 63 龍 17 香成 73 龍 67 龍 まで 34 手

(詰上り)

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		馬				王	将												一
						將													二
科		龍						科											三
																			四
																			五
		歩																	六
卒			龍			桂		卒											七
			玉			銀		香											八
		金				金													九

攻方持駒 金 銀 歩9  
 受方持駒 金 銀 桂 香 歩8

**受賞コメント 一乗谷酔象**

最短手数探索問題として久々にいいテーマに巡り会えました。推理将棋PG部門の手数区分がなくなり長手数作品の入賞が難しくなりましたので嬉しく思います。解図に挑戦された方々、投票して下さった皆様に感謝いたします。

★ 2位には一乗谷酔象さんの最短手数探索問題。34 手の推理将棋問題としても質の高い作品になっています。

**橋本孝治 1位**

「34 手で不動駒なし」。この設定だけで解図に挑戦する価値がある作品。本質的には将棋のルールを使ったパズルですが、条件設定も巧く、ちゃんと推理将棋としても成立しているのが良いと思います。

**はなさかしろう 2位**

不動駒なし、は、本問が理論上の最短手数なので設問が明確で解きやすかったです。本問は詰み形を見つけることが鍵ですね。完成度の高い問題でした。



**3位 推 20 Pontamon 2019/8**

詰将棋メモ 第 119 回出題 119-2  
 救急車? 10 手

7pt

「隣から『救急車』とか『もうだめだ』の大声が聞こえたから 119 番するよ」  
 「一体どうしたんだい」  
 「隣の住人が将棋を指してみたいで、対戦後の話だと 3 手目は金だったらいい」  
 「そうか！救急車は 99 飛車の聞き間違えだよ。99 飛車の手があると 10 手で詰むからね」

(条件)

- ・10 手で詰み
- ・3 手目は金の着手
- ・99 飛の着手があった

78 飛 34 歩 48 金 77 角成 68 銀 78 馬 98 香  
 99 飛 77 桂 69 飛成 迄 10 手

後手の持駒：金歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
香	科	銀	金	王	銀	科	香		一	
	飛								二	
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三	
						歩			四	
									五	
									六	
歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七	
香	角	銀	銀		金				八	
			龍	玉		銀	桂	香	九	

持駒 なし

受賞コメント Pontamon

拙作の「救急車？」が3位受賞とのことで喜んでます。投票ありがとうございます。大学時代に住んでいたアパートの状況を思い出して作った作品です。おもちゃ箱推理将棋の担当に名乗り出て再開した時が個展だったので、この投稿済み作品を選題しました。その後は余詰だらけで画面を汚しています。おそらく、応援・同情票も入っていることと想像しています。

★ 3位には Pontamon さんの2条件問題。作者はおもちゃ箱推理将棋担当となられ今後、普及面でも活躍を期待されると思いますが、作品を見る目も確かでこれからも楽しい作品を発表してくれることでしょう。

ミニベロ 2位

密度の高い秀作10手。

はなさかしろう 3位

新しい短編を作るのは容易ではないと思うのですが、本問は Pontamon さんらしい、面白い条件付けの飄々として楽しい問題でした。

たくぼん 3位

これは質が高い手順だと思いました。

4位 推6 はなさかしろう 2018/9  
第111回 WFP 作品展 111-9

5pt

博士「新定跡の研究は進んでいるかな。たまには一局やるか」

助手「はい。私の先手番でお願いします」  
…31手目先手着手の後、32手目後手の手番で…  
博士「初王手。目の薬」  
助手「目には目を。王手には王手を」  
博士「王手！」  
助手「王手！！」  
…60手目後手の手番で…  
博士「王手!!!!!!!!!!!!!!」  
助手「あ。詰みですね。負けました。感想戦をお願いします」  
博士「この将棋、先手は4連続で歩の手を指し、後手は5連続で玉の手を指したな」  
助手「同種の駒の利きへの着手が10回あり、“同”の付く着手が17回ありました。そして、銀の手より後に金の手はありませんでした」  
博士「31手目まで王手がなかったが、次の手から新しい展開になった。29回も王手が続いて、28連続逆王手とは驚いたよ」  
助手「不成の手が20回、両王手が1回、3筋の手が9回でした」  
博士「まさに2019年、平成31年に相応しい対局。平成の逆王手定跡の誕生だ」

[条件]  
①60手目に29回目の王手で詰んだ  
②31手目まで王手はなかった(32手目が初王手)  
③不成の手が20回  
④両王手が1回  
⑤3筋の着手が9回  
⑥先手は4連続で歩の手を指した  
⑦後手は5連続で玉の手を指した  
⑧同種駒の利きへの着手が10回  
⑨“同”の付く手が17回  
⑩銀の手より後に金の手はなかった

76歩 52玉 33角生 51金左 同角生 62金 同角生 99角生 71角生 51香 53角生 同玉 77桂 44玉 66歩 35玉 46歩 同玉 44歩 57玉 43歩成 32飛 44と 37飛生 45と 38飛生 46と 68飛生 38飛 77角生 31飛生 37角 48金打 同飛生 68金打 同飛生 48金 同飛生 68金 同飛生 48銀打 同飛生 68銀打 同飛生 48銀 同飛生 68銀 同飛生 37飛成 47桂 同龍 66玉 55角 同香 56と 同香 57龍 同香生 58桂 同飛成 まで60手

## はなさかしろう 1位

連続逆王手は問題にしにくいかな、と諦めていたので、こんなに濃密で面白いとは思いませんでした。長編は実現が大変ですが、やはり骨子になるアイデアが良いと取り組み甲斐のあるテーマになりますね。スケールの大きな問題でした。

## 4位 推13 はなさかしろう 2019/8 第114回 WFP 作品展 114-3

5pt

最短手数探索 (推理将棋)

各問の n について、最後の n 手が王手で詰む最短手数を求め、その手順を示してください。

問1 n=29 (※早詰 54手)

- ①先後通算 29連続王手で詰み
- ②総手数 55手 (27~55手目は王手)
- ③すべての筋に着手があった
- ④桂の手は 10手目と 23手目と 54手目のみ
- ⑤銀の手は 5回全てが棋譜に「打」のつかない手だった (味方銀の利きへの銀打はなかった)
- ⑥成る手は 36手目と 45手目と 55手目のみ

78 飛 34 歩 68 玉 77 角生 同玉 74 歩 86 玉 75 歩 11 角生 33 桂 75 玉 64 歩 同玉 62 飛 53 玉 67 飛生 72 飛生 69 飛生 42 飛生 49 飛生 33 角生 39 飛生 44 桂 29 飛生 56 香 79 飛生 95 角 62 銀 同飛生 42 金打 同飛生 62 銀 同飛生 42 金打 同飛生 73 飛成 同角生 62 銀 同角生 同金 同飛生 42 角 同角生 同金 同飛成 同銀 64 玉 55 角 同香 54 飛 同香 53 銀 同香生 52 桂 同香成 まで 55 手

54 手解 : 76 歩 42 玉 33 角生 同玉 36 歩 24 玉 35 歩 同玉 46 歩 同玉 48 飛 57 玉 43 飛生 99 角生 41 飛生 42 飛 61 飛生 48 飛生 71 飛生 54 香 31 飛生 37 角 77 桂 92 香 66 歩 77 角生 68 銀 同飛生 48 銀 同飛生 68 銀 同飛生 48 金 同飛生 68 銀 同飛生 48 金 同飛生 68 金打 同角生 同金 同飛生 37 飛成 47 桂 同龍 66 玉 55 角 同香 56 龍 同香 57 角 同香生 58 桂 同飛成 まで 54 手

## 一乗谷酔象 1位

連続王手シリーズは、はなさか氏と波長が合ったようで大いに楽しめました。出題の条件付き推理将棋 55手は完全作でしょうし、n=29の54手解はすばらしい発見。先に出題

した拙作 111-9 の手数 60 手の 6 手短縮には脱帽です。

## 4位 推19 Pontamon 2019/8 詰将棋メモ 第119回出題 119-1 59馬の棋譜 8手

5pt

「これが8手で詰めた時の棋譜だよ」  
「珍しい手の59馬があるね」

(条件)

- ・8手で詰み
  - ・棋譜に59馬があった
- 48王 34歩 59金右 77角成 38銀 59馬  
39王 48金 迄 8手

## NAO 1位

8手詰1条件の佳作。初級でも考えさせるところあり。本作はコーナー再開の1題目。何よりも座礁した推理将棋号を救出し、再び大海原に向け出港してくれた Pontamon さんには感謝しています。おもちゃ箱推理将棋の復活と32候補中17作品の創作活動は実に精力的であり個人的には功労賞を差し上げたい。

## 4位 推23 NAO 2019/9 詰将棋メモ 第120回出題 120-2 右へ倣え 9手

5pt

「9手で詰まして勝ったんだって？」  
「うん。この将棋、右の付く手が3手続いたよ」

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・棋譜表記で右の付く手が3手続いた

26歩 42玉 25歩 32玉 24歩 51金右  
58金右 42金右 23歩成 迄 9手

## たくぼん 2位

思わずにやりとしてしまうユーモア溢れる所がいいですね。

## ミニペロ 3位

1条件9手は貴重品です。

## 8位 推4 はなさかしろう 2019/3

詰将棋メモ 第120回出題 120-2  
将棋×中立駒 全着手駒取り(a) 6手

3pt

中立駒にした駒と詰みまでの手順を推理してください。

- ・初形配置のうち4枚を中立駒にした合法局面から6手で詰んだ
- ・6枚の駒が取られた
- ・不成2回

中立駒：51玉、71銀、81桂、88角  
61n玉、97n角生、53n角成、81飛、93香生、  
71飛まで6手

一乗谷酔象 2位

推理将棋と中立駒のハイブリッドは奇抜な発明であり、4枚の中立駒の6手解は珍発見。わずか6手で二玉両取りが成立するのは驚きです。

8位 推32 渡辺秀行 2019/12  
詰将棋メモ 第123回出題 123-2  
いち、に、さん 11手

3pt

「いち、に、さん、いち、に、さん」  
「何を言っているんだい？」  
「隣の将棋が6手目から1筋、2筋、3筋、1筋、2筋、3筋、の順に指して詰んだよ」  
「そんなこともあるんだね」  
「最後の11手目は駒の利きのない地点に指していたよ」

(条件)

- ・11手で詰み
- ・6手目～11手目は、1筋、2筋、3筋、1筋、2筋、3筋への着手
- ・最終手は駒の利きのない地点への着手

76歩 42玉 33角不成 32玉 22角不成 14歩  
24角 33桂 11角成 25桂 34香 迄 11手

NAO 2位

123回に関連させた1-2-3筋着手できれいに決めている。6手目14歩の遊び手は好み。

。

【推理将棋・PG部門 総評】

橋本孝治

例によってWFP誌発表作しかみていないので、その範囲からの投票です。「詰将棋メモ」出題作の作者の皆さんにはご容赦いただきたいと思います。

はなさかしろう

投票とは少し違いますが、今回の期間で大きかったのはPontamonさんによる推理将棋メモ推理将棋欄の新装開店です。こちらもいつも楽しく拝読させていただいております。Pontamonさんにはこの場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。

【総評】

変寝夢

コロナでえらいことになってますね。仕事が干ですから全て出勤ですが、普段ずぼらな私でもマスクは必ずするようになりました。先が全然見えないですね。

はなさかしろう

WFPをいつも楽しく拝読しています。Fairyの森の入り口で遊んでいる身としては、解けそうな作品以外は吟味することもできないので割とよく取り組んだ推理将棋・プルーフゲーム部門のみの投票としたいと思います。

縫田光司

改めて見直してみると、やっぱり自分でリアルタイムで解いた(か、少なくとも解こうと試みた)作品の方が価値判断がしやすいなあ、ということ再認識しました。最近あまり関わっていないので今から来年の投票が心配です。

★ FairyTopIX2019のお気に入り投票頂きました皆様ありがとうございました。毎年投票が少なかったらどうしようとドキドキするのですが、今年もたくさんの方に投票いただき感謝に堪えません。ありがとうございました。

また来年も、FairyTopIXが盛り上がりますよう、作品の投稿、解答、お気に入り投票等よろしく願い致します。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2020年6月10日(水)

#### 推理将棋第 1 2 8 回出題

推理将棋 3 題

### 2020年6月15日(月)

#### 第 121 回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 2 題

#### Fairy of the Forest # 63

協力詰 5 題

### 2020年8月15日(土)

#### 第 122 回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 0 題

#### 【あとがき】

最近 twitter で話題になっているのが煙協力詰というルール。詰上りが攻方 2 枚、受方玉、持駒なしという条件付の協力詰です。1 作勝手に紹介します。(この図は余詰があるようです)

#### 詰将棋指し作 煙協力詰 73 手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	王									
二		香	香	歩	歩	歩	歩	歩	香	
三		と	歩				と			
四		と	桂					桂		
五		と	桂		角			桂	歩	
六		と						と		
七		と		銀	銀			と	と	
八		飛	香	銀	銀				と	
九		金	角			金	金	金	飛	と

持駒 なし

単玉全駒で創ると、手順で必ず駒一枚（持駒含む）消さないといけないので強欲協力詰と同様になる。違うのは余詰み難いという事だろうか。並べてみると難しくはありませんので解は考えてみてください。

逆に全駒で無い作品の方が良い味の手順が出来そうな気がします。それを感じる 1 作。

#### Problem Paradise 作 煙協力詰 35 手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六					馬					
七					銀					
八							角	銀	銀	
九					王			玉		

持駒 飛

これは少し頭を使う必要がありそうです。先手玉が居る関係で詰上り先手の駒はあと 1 枚。29 玉の位置が悪くこれをどうするか・・・。考えてみてください。

追記：持駒の飛が脱落していましたので図を差し替えました。またこの図だと 33 手で詰む順がありました（七郎さん指摘）

今現在、f mでの検討は無理みたいですので自力検討となります。今後流行すれば f m 対応もあるかもしれませんね。

たくぼん

2020 年 第 143 号

### Web Fairy Paradise

非売品

令和二年五月号

令和二年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp